

平成27年度版

市川市の教育



市川市教育委員会



いつも新しい流れがある いちかわ

目 次

市川市の概要	1
市川市教育振興基本計画	3
第1章 教育行財政	35
第1節 教育委員会	36
第2節 組織及び事務分掌	42
第3節 教育財政	46
第2章 学校教育	47
平成27年度学校教育の指導方針	
第1節 幼稚園 編	49
第2節 小中学校 編	52
第3節 特別支援学校 編	57
第4節 千葉県教育委員会 平成27年度 指導の重点	60
第3章 生涯学習	65
第1節 生涯学習の推進	67
第2節 地域教育の推進	69
第3節 学校施設の開放	73
第4節 青少年の健全育成の推進	74
第5節 文化財の保護と活用	82
第4章 教育機関	83
1 市川市生涯学習センター（メディアパーク市川）	85
2 市川市教育センター	87
3 市川市立図書館	89
4 市川市公民館（社会教育課）	96
5 市川考古博物館	98
6 市川歴史博物館	100
7 市川自然博物館	102
8 市川市少年自然の家	104
資料編	107
I 学校施設関係	109
II 学校教育関係	125
III 生涯学習関係	140
IV 各種審議会等委員	144

市川市の概要

1 市川市の沿革

市川の地域に人々が住みはじめたのは今から約2万年前にさかのぼるといわれる。当時の市川は海と陸地に二分され、前者は現在の市川、八幡、中山、行徳、南行徳など市の南側の地域や低地が相当し、後者は貝塚などの遺跡の多い北側の台地すなわち須和田、国分、中国分、北国分、曾谷、大柏等が相当する。縄文時代、人々は海辺に近い場所に住居を構え、海と陸地からそれぞれの幸を食糧として生活し、相当大きな集落を形成していたと思われる。これら祖先の歴史は、堀之内、曾谷及び、姥山といった大貝塚をはじめ数多くの貝塚やその他の遺跡により知ることができる。

7世紀、大化の改新の後、今の国府台周辺に下総国を統治するために国府が設けられ、その後聖武天皇の代（天平14年）に国分寺が全国60余カ国に建立されることになり、下総国の国分寺は現在の市川市国分に建てられ、国分、国府台周辺を中心に非常に発展したものと考えられる。

江戸時代になると、幕府直轄の所領は寺社領等に属したが、廃藩置県後の明治6年、千葉県所管となった。同22年市制、町村制の施行により、市川町、八幡町、中山村及び国分村に分立したが、大正13年に至り中山村が町制を施し、昭和9年11月3日、市川町、八幡町、中山町及び国分村とが合併して市制を施行した。千葉県では、千葉市、銚子市について3番目の市、当時の人口は約4万だった。更に昭和24年11月3日大柏村、昭和30年3月31日行徳町、昭和31年10月1日南行徳町をそれぞれ合併した。

また、京葉工業地帯開発の一環として昭和32年以降51年1月まで公有水面埋立事業を行い、二俣新町、高谷新町、千鳥町、高浜町、塩浜、東浜、新浜3丁目がそれぞれ市域に編入され、現在（平成26年10月1日）市の面積56.39km²、人口472,338人となっている。

2 位置・地勢

市川市は、千葉県の北西部に位置し、北は松戸市、東は船橋市、鎌ヶ谷市、南は浦安市及び東京湾に各々面し、西は江戸川を隔てて東京都江戸川区及び葛飾区と相對している。都心部と県内各地域を結ぶ広域交通網の集中する位置にあり、東西方向はJR総武線をはじめとする7路線の鉄道や、京葉道路、国道14号などの都市計画道路が整備されている。

市川市の地形は、北部から南部に向かってやや傾斜しているが概して平坦であり、北部は標高20m程度の台地、南部は標高2m程度の低地帯を形成している。台地は粘質壤土、低地は砂質壤土である。

北部には梨栽培などの農業が盛んで屋敷林などの緑も多く、また私立の幼稚園、小・中・高等学校、短大、大学なども多い文教・住宅都市である。南部は東京湾に臨み、京葉工業地帯の一翼を担っているとともに、新しい都会的な住宅都市が形成されている。



3 世帯数および人口の推移（各年10月1日現在）

年	世帯数	人 口			人口 増加率 (%)	人口密度 〔 1Km ² 当たり〕	世帯人員 〔 1世帯 当たり〕	性比 〔 女=100〕	備考
		総数	男	女					
大正 9年	3,217	17,921	9,717	8,204	-	781	5.57	118.4 国勢調査(第1回)	
	14	6,003	29,528	15,351	14,177	64.8	1,287	4.92	108 " (第2回)
昭和 5年	7,467	37,789	19,067	18,722	28.0	1,647	5.06	101.8 国勢調査(第3回)	
	9	8,347	40,869	19,376	21,493	8.2	1,781	4.90	90.2 推計人口(市制施行11.3)
	10	8,895	46,711	22,637	24,074	14.3	2,035	5.25	94.0 国勢調査(第4回)
	15	11,706	58,060	28,324	29,736	24.3	2,530	4.96	95.3 " (第5回)
	19	15,691	69,711	32,073	37,638	20.1	3,038	4.44	85.2 人口調査(2.22)
	20	16,876	74,522	35,828	38,694	6.9	3,247	4.42	92.6 " (11.1)
	21	18,483	84,855	40,790	44,065	13.9	3,697	4.59	92.6 " (4.26)
	22	20,275	92,719	44,874	47,845	9.3	4,040	4.57	93.8 臨時国勢調査(第6回)
	23	20,710	95,091	46,422	48,669	2.6	4,143	4.59	95.4 常住人口調査(8.1)
	24 ※	21,738	100,252	48,974	51,278	5.4	3,039	4.61	95.5 大柏村合併(11.1)
	25	22,199	102,506	49,675	52,831	2.2	3,107	4.62	94.0 国勢調査(第7回)
	30 ※	26,851	126,959	62,095	64,864	23.9	2,772	4.73	95.7 行徳町合併(3.31)
	30	27,559	129,700	63,598	66,102	2.2	2,832	4.71	96.2 国勢調査(第8回)
	31 ※	29,917	141,528	69,280	72,248	9.1	2,752	4.73	95.9 南行徳町合併(10.1)
	32	31,314	145,175	71,349	73,826	2.6	2,823	4.64	96.6
	33	32,476	148,352	73,104	75,248	2.2	2,885	4.57	97.2
	34	34,048	151,299	74,514	76,785	2.0	2,942	4.44	97.0
	35	37,647	157,301	78,220	79,081	4.0	3,059	4.18	98.9 国勢調査(第9回)
	36	40,150	160,195	79,745	80,450	1.8	3,115	3.99	99.1
	37	45,356	168,914	84,311	84,603	5.4	3,285	3.72	99.7
	38	49,515	179,233	89,376	89,857	6.1	3,381	3.62	99.5
	39	54,650	191,256	95,990	95,266	6.7	3,608	3.50	100.8
	40	56,549	207,988	105,731	102,257	8.7	3,923	3.68	103.4 国勢調査(第10回)
	41	58,770	215,338	109,887	105,451	3.5	4,062	3.66	104.2
	42	63,935	228,446	116,381	112,065	6.1	4,276	3.57	103.9
	43	67,487	238,580	121,457	117,123	4.4	4,448	3.54	103.7
44	70,765	247,700	126,073	121,627	3.8	4,608	3.50	103.7	
45	77,618	261,055	132,787	128,268	5.4	4,856	3.36	103.5 国勢調査(第11回)	
46	81,610	271,094	137,894	133,200	3.8	5,043	3.32	103.5	
47	86,024	280,603	142,723	137,880	3.5	5,219	3.26	103.5	
48	90,647	290,484	147,726	142,758	3.5	5,350	3.20	103.5	
49	95,174	301,952	153,680	148,272	3.9	5,464	3.17	103.6	
50	102,678	319,291	163,179	156,112	5.7	5,730	3.11	104.5 国勢調査(第12回)	
51	106,991	331,019	169,113	161,906	3.7	5,917	3.09	104.5	
52	110,451	341,387	174,176	167,211	3.1	6,103	3.09	104.2	
53	114,004	351,618	179,252	172,366	3.0	6,280	3.08	104.0	
54	115,869	356,925	181,893	175,032	1.5	6,380	3.08	103.9	
55	127,775	364,244	184,969	179,275	2.1	6,469	2.85	103.2 国勢調査(第13回)	
56	131,026	372,478	189,287	183,191	2.3	6,615	2.84	103.3	
57	134,635	380,126	193,095	187,031	2.1	6,751	2.82	103.2	
58	138,166	386,823	196,722	190,101	1.8	6,870	2.80	103.5	
59	141,452	393,748	200,458	193,290	1.8	6,993	2.78	103.7	
60	141,437	397,822	202,454	195,368	1.0	7,055	2.81	103.6 国勢調査(第14回)	
61	146,710	407,548	208,131	199,417	2.4	7,227	2.78	104.4	
62	151,294	415,073	212,333	202,740	1.8	7,361	2.74	104.7	
63	157,169	422,577	216,671	205,906	1.8	7,494	2.69	105.2	
平成 元年	162,022	428,709	220,337	208,372	1.5	7,603	2.65	105.7	
	2	169,836	436,596	225,177	211,419	1.8	7,742	2.57	106.5 国勢調査(第15回)
	3	175,340	443,378	228,909	214,469	1.6	7,863	2.53	106.7
	4	179,741	446,897	231,204	215,693	0.8	7,925	2.49	107.2
	5	181,576	447,165	231,457	215,708	0.1	7,930	2.46	107.3
	6	181,568	444,468	230,034	214,434	△ 0.6	7,882	2.45	107.3
	7	181,213	440,555	227,873	212,682	△ 0.9	7,813	2.43	107.1 国勢調査(第16回)
	8	183,081	440,627	228,077	212,550	0.0	7,814	2.41	107.3
	9	185,683	441,893	228,870	213,023	0.3	7,836	2.38	107.4
	10	189,031	444,575	230,184	214,391	0.6	7,884	2.35	107.4
	11	191,932	447,335	231,551	215,784	0.6	7,933	2.33	107.3
	12	193,582	448,642	232,473	216,169	0.3	7,956	2.32	107.5 国勢調査(第17回)
	13	198,203	454,858	235,556	219,302	1.4	8,066	2.29	107.4
	14	203,210	461,603	238,796	222,807	1.5	8,186	2.27	107.2
	15	205,024	463,103	239,192	223,911	0.3	8,213	2.26	106.8
	16	206,963	464,873	240,050	224,823	0.4	8,244	2.25	106.8
17	208,168	466,608	239,659	226,949	0.4	8,275	2.24	105.6 国勢調査(第18回)	
18	210,519	468,113	240,213	227,900	0.3	8,301	2.22	105.4	
19	213,411	470,074	241,009	229,065	0.4	8,336	2.20	105.2	
20	216,655	473,064	242,477	230,587	0.6	8,389	2.18	105.2	
21	219,184	475,751	243,836	231,915	0.6	8,437	2.17	105.1	
22	220,582	473,919	239,222	234,697	△ 0.4	8,404	2.15	101.9 国勢調査(第19回)	
23	220,782	471,694	237,515	234,179	△ 0.5	8,365	2.14	101.4	
24	219,645	469,224	235,766	233,458	△ 0.5	8,321	2.14	101.0	
25	220,993	469,523	235,810	233,713	0.1	8,326	2.12	100.9	
26	224,124	472,338	237,092	235,246	0.6	8,376	2.11	100.8	

注：大正9年から昭和5年までの国勢調査人口は、昭和9年11月3日市制施行時の市域（市川町、八幡町、中山町、国分村）をもって合算したものを示したものの。

資料 総務部総務課

年次欄の※印は町村合併。国勢調査年以外は、国勢調査の結果にその後の毎月の出生、死亡、転入、転出を加減したものである。

市川市教育振興基本計画

第2期【平成26年度～30年度】

序 章

1 計画策定の趣旨

市川市教育委員会は、戦後約60年ぶりに改正された教育基本法の基本理念をふまえ、平成21年3月に市川市教育振興基本計画（以下「第1期計画」といいます。）を策定しました。

第1期計画は、社会の変化に伴って生じた解決すべき多くの教育課題に対応し、市川市における教育の一層の振興を図るため、平成21年度から25年度までの5年間にわたり、市川市の実情に応じた教育の振興に関する施策を総合的かつ計画的に推進してきたものです。

これまで、第1期計画に基づき、「人と関わる力を身に付ける活動の充実」、「家庭・学校・地域の連携を図る取り組み」、「生涯学習機会の充実」など、さまざまな施策を展開してきました。

一方、確実かつ急速に進行する社会の変化に対応するため、教育政策は不断の見直しが求められており、各施策の所期の目的が達成されているかどうかを十分に評価した上で今後の改善につなげ、さらに新たな施策を実施する必要があるところです。

そこで、近年の少子高齢化、東日本大震災などの社会情勢の急速な変化をふまえ、第1期計画の評価に基づく施策の改善を図るとともに、新たな施策を実施するため、第2期市川市教育振興基本計画（以下「第2期計画」といいます。）を策定するものです。

2 計画のねらい

この計画は、市川市の教育が目指す基本的な方向と目標を明確にして、その実現に必要な施策を計画的・総合的に実施することをねらいとしています。

一方、教育の振興を図るためには、家庭・学校・地域・行政がそれぞれの役割を担いながら、たがいに連携・協力することが不可欠になっていることから、この計画を教育関係者はもとより、広く市民に示すことにより、市民の理解と協力を得ることとしています。

3 計画の位置付け

この計画は、国の第2期教育振興基本計画に照らし合わせて、市川市の教育振興に関する基本的な計画として策定するものであるとともに、市川市総合計画の「教育」に関する分野を担うものです。

また、「学校教育3カ年計画」、「生涯学習推進計画」などは、この計画の部門別計画となるものです。

4 計画の対象、期間及び構成

(1) 計画の対象

この計画では、現在の市川市の教育を取り巻く環境をふまえた施策展開を効果的に進めていくため、計画の対象範囲を教育委員会が実施する市立学校における教育・育成に関する施策及び生涯学習全般における学びの支援に関する施策としています。

(2) 計画の期間

平成26年度から平成30年度までの5年間とします。

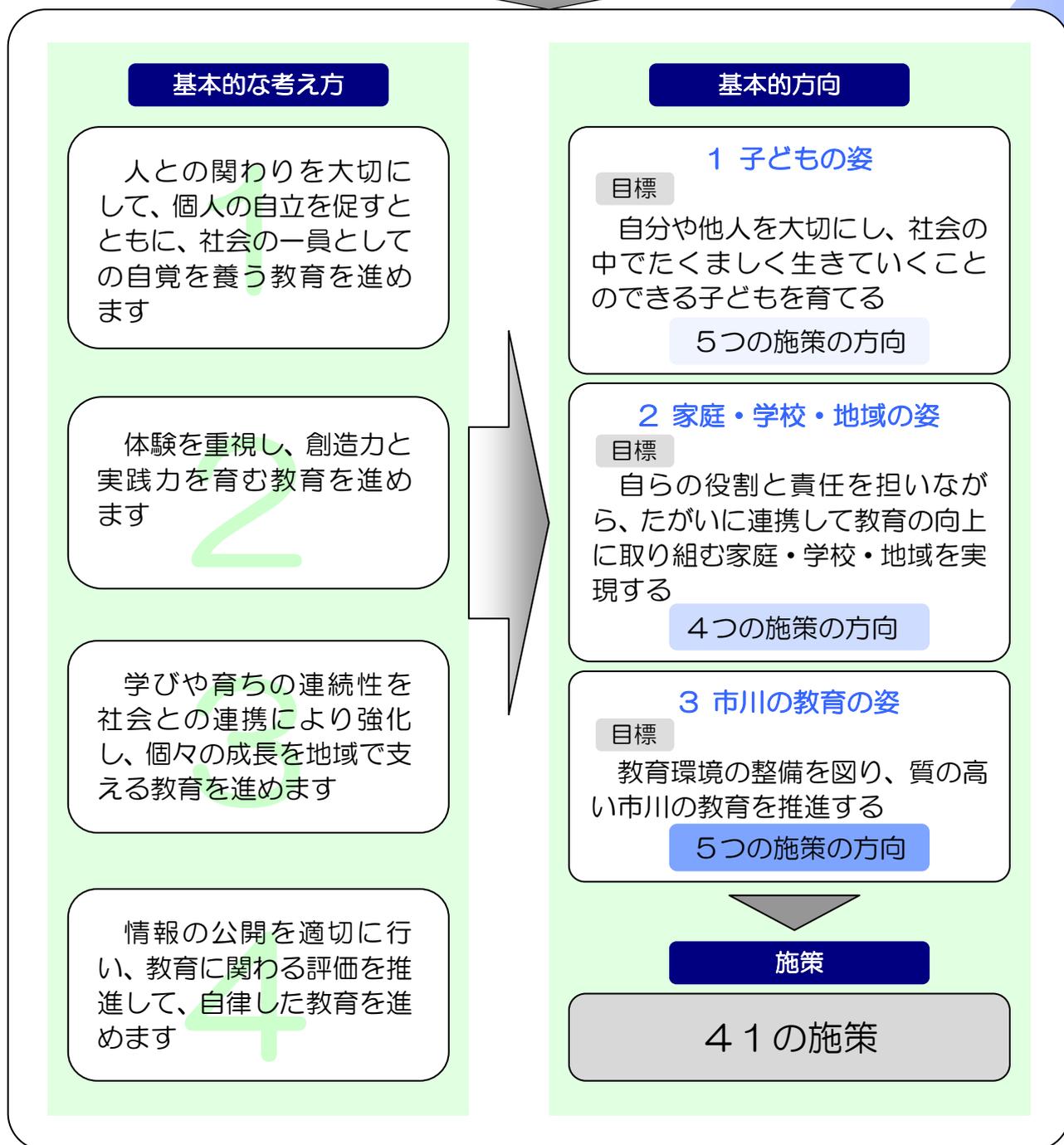
(3) 計画の構成

この計画は、市川市の教育の現状と課題を整理し（第1章）、その課題に対応するため、基本理念を定めるとともに（第2章）、市川市の教育が目指す基本的な考え方を示した上（第3章）、今後5年間を通して実施する施策の目標や方向などの基本的な方向を示し、その実現に必要な施策を定めています（第4章）。

また、施策ごとに、目標達成度を直接的又は間接的に測定するための成果指標を明確に設定し（第4章）、成果を客観的に検証し、そこで明らかとなった課題などをフィードバックし、施策に反映させる検証改善サイクル（PDCAサイクル）を実践することとしています（第5章）。

なお、「成果指標」は、施策の受益者に対する成果（アウトカム）に係る目標を設定しています。ただし、施策のアウトカムによる設定が困難である場合に限り、施策の実施により直接的に発現する結果（アウトプット）に係る目標を設定しています。

【計画の全体像】



【基本的方向と施策の体系】

基 本 的 方 向		目 標	施 策 の 方 向	施 策
1 子 と も の 姿	自分や他人を大切に し、社会の中でたくま しく生きていくこと のできる子どもを育てる	1-1 自分を大切にし、他人を思いやる気持ちを養い、豊かな心を育む P15	◎人と関わる力を身に付ける活動の充実 ◎命を大切にする教育の推進 ◎道徳教育の充実 ◎体験活動の充実 ◎読書教育の推進	
		1-2 基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図り、活用する力を育成する P18	◎確かな学力を育成する取り組みの推進	
		1-3 健康に関する意識を高め、健やかな体を育成する P20	◎望ましい生活習慣を身に付ける取り組みの推進 ◎食育の推進 ◎体力向上の取り組みの推進	
		1-4 社会的な問題に関する認識を深め、意欲と実践力を育む P23	◎環境学習の充実 ◎情報教育の推進 ◎キャリア教育の推進 ◎防災教育の推進	
		1-5 日本や郷土市川の歴史や文化を学び、国際社会の中で生きる力を育む P26	◎歴史や文化に関する教育の推進 ◎外国語教育・国際理解教育の推進	
2 家 庭 ・ 学 校 ・ 地 域 の 姿	自らの役割と責任を担いながら、たがいに連携して教育の向上に取り組む家庭・学校・地域を実現する	2-1 家族の心のつながりを大切にし、心身の成長を育む家庭の教育力の充実を目指す P29	◎家庭教育の充実に向けた取り組みの推進 ◎子育てに関する学習機会や相談機会の提供	
		2-2 子どもと教職員とのつながりを大切にし、子ども一人一人の夢を育む学校の教育力の向上を目指す P31	◎教職員の指導力の向上 ◎学校間の連携の推進 ◎学校評価の推進とその結果に基づく学校運営の改善 ◎教職員が子どもと向き合う時間の拡大 ◎特色ある学校運営を支援する環境整備の充実	
		2-3 人とのつながりを大切にし、子どもの成長を支える地域の教育力の向上を目指す P34	◎地域を支える人材の育成と地域活動を支援するシステムの充実	
		2-4 家庭・学校・地域のつながりを大切にし、市川の教育力の向上を目指す P36	◎家庭・学校・地域の連携を図る取り組みの推進 ◎家庭・地域と連携した学校の活性化	
3 市 川 の 教 育 の 姿	教育環境の整備を図り、質の高い市川の教育を推進する	3-1 幼児期の教育を推進するための環境を整える P39	◎生きる力の基礎を育む教育の推進 ◎子育て支援の充実	
		3-2 一人一人に応じた教育的支援を推進する P41	◎特別支援教育の推進 ◎子どもや保護者を支援する体制の充実 ◎教育機会均等の確保	
		3-3 安全・安心で充実した教育環境を実現する P43	◎子どもの安全・安心を確保する家庭・学校・地域の取り組みの推進 ◎放課後の子どもの居場所づくりの推進 ◎学校の危機管理体制の充実 ◎いじめ、暴力行為などへの対応の強化 ◎安全で質の高い教育環境の整備	
		3-4 生涯を通して学び続けられる学習環境を実現する P46	◎生涯学習機会の充実 ◎図書館機能を活用した学習活動の充実 ◎博物館などの活用を通じた学習活動の推進 ◎公民館を活用した地域の学習拠点づくり ◎文化財の保護と活用	
		3-5 責任ある教育行政を確立する P49	◎教育委員会機能の充実に向けた取り組み	

第1章 市川市の教育の現状と課題

市川市では、平成21年3月策定の第1期計画に示された47の教育施策と、それに伴う202の事業（後期実施計画編）を通して、第1期計画の基本理念である「人をつなぐ 未来へつなぐ 市川の教育」の具現化を図ってきました。

「人をつなぐ教育」とは、家庭・学校・地域・行政が一体となって子どもを育てていく教育であり、「教育の共有化」という理念のもと、コミュニティサポート^{※1}やコミュニティクラブ^{※2}などの地域教育力の組織化を図る施策も定着し機能しています。

一方、「未来へつなぐ教育」とは、学びと育ちの連続性を大事にして、個性の伸長を図り、子どもの夢や思いを実現する教育であり、「教育の接続化」という理念のもと、中学校ブロック単位における指導の一貫化などの取り組みを通して、進級・進学時の滑らかな接続と適切な段差の設定を図り、長期的な視野に立った教育、そして生涯学習の実現を目指しています。

昨年実施した「平成24年度の教育に関する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価等」では、対象となる202の実施事業の内、187の事業（92.6%）がA評価（「計画どおり進められた」）となっており、また、施策の効果を測る指標の評価においても、計画が開始された平成21年度（一部平成23年度）と比較して、106項目中77項目（72.6%）で結果の向上が見られます。

こうしたことから、第1期計画の基本理念及び基本的方向については、正しい方向を示しており、一定の評価をすることができるものであると考えています。

しかしながら、「児童生徒の自己肯定感」「教職員の多忙感解消」「地域ぐるみでの道德教育の推進」「早寝・早起きなどの正しい生活リズム」「体力・運動能力の向上」「PTA活動の活性化」「不登校・いじめの解消」「教育委員会の施策・活動の認知」「生涯学習機会の認知」といった項目については評

●市川市の教育の現状と課題●

価が伸び悩んでおり、第1期計画のねらいの達成はいまだ途上にあると考えられます。

一方、第1期計画期間中における市川市や社会の変化・出来事などにより、以下のような新たな教育課題も浮上しています。

- 東日本大震災の教訓を生かした防災教育、「人の絆」の大切さについての教育
- 完全実施された新学習指導要領の趣旨の実現に向けた教育活動の充実
- コンピューターシステムの全面更新に伴う、学校教育のICT^{※3}活用の推進
- いじめ問題の解消・根絶を目指す、「豊かな心」を育てる教育の充実
- 部活動や授業など、指導の場における体罰の根絶
- いじめ、体罰による自殺など、学校教育に起因するさまざまな事件・事故に対する、学校・教育委員会の適切・迅速な対応力の向上、信頼回復
- 子ども・子育て支援新制度の導入に伴う、幼児教育システムの再構築

以上の点から、第2期計画の策定及び実施にあたっては、第1期計画における基本理念及び基本的方向を継続した上で、さまざまな検証結果により明らかになった、いまだ達成が不十分な項目や、新たに浮上してきた教育課題などをふまえ、施策の見直し・改善を図ることとしました。

※1 コミュニティサポート・・・家庭・学校・地域の連携を一層推進し、子どもの教育・育成に関して、情報や意見を交換し、協議などを行う場

※2 コミュニティクラブ・・・「あそび」をキーワードに自然体験・社会体験などを子ども向けに実施している地域のボランティア団体

※3 ICT・・・情報通信技術、ITとほぼ同意

第2章 基本理念

市川市では

「人をつなぐ 未来へつなぐ 市川の教育」

を基本理念として教育の振興を図ります。

人は、多くの人と関わりながら生活をしています。また、自然との共存や、文化的な利益の享受は、人として生きていくために欠かせないものとなっています。

このようなさまざまな関わりを通して、自らの思考や感情、興味や関心を育み、心を豊かなものとしています。

その中で教育は、人と自然、人と社会との成り立ちを教え、自らの生き方について考え、実践する力を養う重要な役割を担っています。

そして、未来の可能性を信じ、今の努力を大切にして、夢の実現につなげる先見的な教育と、生涯を通して学び続けることのできる環境の実現は、人間形成において普遍的なものです。

これらのことから市川市では、人をつなぐ教育、未来へつなぐ教育を基本理念とするとともに、市川市の基本構想である「ともに築く 自然とやさしさがあふれる 文化のまち いちかわ」の具現化を教育からも推し進め、教育の振興を図ります。

第3章 基本的な4つの考え方

基本理念をふまえて、今後5年間を通して実施するさまざまな施策の実現にあたっては、次の4つの考え方を重視します。

1 人との関わりを大切にして、個人の自立を促すとともに、社会の一員としての自覚を養う教育を進めます

人は多くの人と出会う中で、相手の意見を聞き、自らの考えを深めるとともに、他人を思いやり敬う気持ちを培います。

また、時には競うことによって自らの力を高め、その一方で他を認めることを学びます。

このように人は、質の高い関わりをもつ中で自立を図り、社会を支える一員へと成長します。そして健全な社会は、一人一人がたがいに認め合い、尊重し合う中で構築されます。

このことから教育においては、人との関わりを基本とし、自らの責任と役割についての自覚を促すとともに、規範意識を養い、ともに行動し協力する姿勢を育むことに重点をおきます。

これまでも市川市では、読書などを通して豊かな人間性を育む取り組みを行ってきました。さらに、家庭・学校・地域の中でのさまざまな関わりを大切にした施策を進め、個人の自立を促すとともに、社会の一員としての自覚を養う教育を進めます。

2 体験を重視し、創造力と実践力を育む教育を進めます

人の成長は、学んだことを自分の考えや行動に生かすことにより遂げられるものであり、ここに学びの重要性があります。また、確かな知識や技能を習得し、自ら考え自ら行動する積極的な学びの態度を身に付けることは、斬新な発想や知恵の創造の基となるものであり、このことが社会を豊かにしてきているともいえます。

本来、学びの成果は地道な努力の積み重ねにより得られるものであります。すなわち、多くの体験や経験を通して物事の本質をとらえるとともに、自ら検証を繰り返すことで、はじめて学んだことが生きてくるといえます。

このことから教育においては、実際に見て知り、手にとって感じ、動いて実感するなどといった直接体験を通して論理を確かめ、自らの考えや行動を一層確かなものとすることに重点をおきます。

これまでも市川市では、学校や図書館、博物館などで豊かな体験ができるように取り組んできました。これからも、発達段階や個々の実態に応じたさまざまな体験を重視した施策を進め、創造力と実践力を育む教育を進めます。

3 学びや育ちの連続性を社会との連携により強化し、個々の成長を地域で支える教育を進めます

生涯学習社会の到来は、平均寿命の延びと相まって、個人の自己実現への意欲が高まってきていることが背景にあります。

このことから、学校教育を終えた後まで、自らの必要に応じてさまざまな形で学習活動が続ける人が多くなってきており、人は一生を通して学び続け、成長するといっても過言ではありません。

このような時代にあって、個人のもつ能力を伸ばすためには、学習の基礎の力を身に付けるとき、応用力を培うとき、さらには学習の成果を社会に生かすときなど、その人のライフステージに応じた教育を展開することが望まれます。

また、一人一人の成長を確かなものにするためには、実践的な教育を進めることが大切ですが、多くの人と一緒に手を携え、多くの手で支え合うことによって、その効果は一層高まります。

このため教育においては、それぞれのライフステージにおける学びの成果が、次のステップに生きる実践的な教育を、家庭・学校・地域が自分の役割と責任を担いながら一体となって進めることに重点をおきます。

これまでも市川市では、家庭・学校・地域が一体となって子どもの健全な育成について話し合う場をもつなど、地域全体で教育に関わる取り組みを行ってきました。さらに、一層の連携の強化を図り、個々の成長を地域全体で支える教育を進めます。

4 情報の公開を適切に行い、教育に関わる評価を推進して、自律した教育を進めます

国際化や高度情報化の進展などにより、人々の価値観が多様化しており、この価値観の多様化に対応することが今日的な課題ともなっています。

教育の分野においても、公正性・透明性を確保する上で、情報公開や説明責任を果たすことが求められており、教育基本法をはじめとする教育関係法令の改正において、教育委員会の責任体制の明確化や体制の充実、さらには教育の点検・評価などが新たに規定されました。

もとより教育には変えてはならないものと、変えていかなければならないものがあります。このため、法改正の趣旨をふまえつつ、「不易」と「流行」を見誤らず、教育に関わる取り組みが時代や地域の要請に適合しているかどうかを常に見極め、主体的に取り組みの改善と充実を図ることが大切です。

これらのことから教育においては、目標を明確にし、自己点検及び評価を通してその成果を検証するとともに、その結果を取り組みの改善と充実に反映させることに重点をおきます。また、情報の公開を適切に行い、学校や行政が市民への説明責任を果たすとともに、家庭・学校・地域で情報の共有化を図り、教育への信頼を高めることに努めます。

これまでも市川市では、学校評価の取り組みをはじめとして、教育委員会が進める事業の評価を年度ごとに行い、教育施策の改善と充実に努めてきました。さらに、教育に関わる評価の推進に努めるとともに、多くの人の教育への参加を求め、自律した教育を進めます。

第4章 基本的方向と施策

基本理念と基本的な考え方をふまえて、今後5年間を通して市川市が取り組む施策の基本的方向を、次の3つの「姿」に整理しました。

基本的方向1 子どもの姿

基本的方向2 家庭・学校・地域の姿

基本的方向3 市川の教育の姿

3つの基本的方向において、それぞれ、目標と施策の方向を示した上、具体的な施策を示すとともに、目標達成度を直接的又は間接的に測定するための成果指標を示しました。

多くの分野にまたがる施策は、重点をおくべき施策の方向に位置付けました。

基本的方向 1 子どもの姿



目 標

自分や他人を大切にし、社会の中でたくましく生きていくことのできる子どもを育てる

未来へ向かって成長し、未来を担う子どもに、これからの社会をよりよく生きていく力を育むことは、とても重要なことです。

将来の予測が明確にならない現在の社会にあっては、自らの生涯を切り拓く力強さと、他人と協働してよりよい社会を築こうとする頼もしさが必要です。このため、強い意志をもって主体的に考え行動する力と、他と協調しつつともに社会を支える力を育み、社会の中でたくましく生きていくことのできる子どもを育てます。

◇施策の方向 1-1 自分を大切にし、他人を思いやる気持ちを養い、豊かな心を育む

《施策一覧》

1-1 自分を大切にし、他人を思いやる気持ちを養い、豊かな心を育む

◎ 人と関わる力を身に付ける活動の充実

◎ 命を大切にする教育の推進

◎ 道徳教育の充実

◎ 体験活動の充実

◎ 読書教育の推進

人と人が支え合う社会の中で、自分の能力を見つけ生かしつつ、周囲と協調しながらともに生きていくためには、自分を大切にする気持ちとともに、他人を思いやる気持ちが必要です。近年、子どもを取り巻く環境の変化などから、規範意識や人間関係を形成する力の低下、さらには命を軽んじる風潮などが子どもの中に見られるようになりました。

市川市では、人と関わる活動をはじめ、命を大切にする教育の推進や道徳教育を充実させることにより、社会で生きていく上で大切な豊かな心をもつ子どもの育成を目指します。また、これまでも豊かな心を育成するために取り組んできた読書教育の一層の充実を図ります。

◇施策の方向 1-2 基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図り、活用する力を育成する

《施策一覧》

1-2 基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図り、活用する力を育成する

◎ 確かな学力を育成する取り組みの推進

社会において自立的に生きるためには、基礎的・基本的な知識及び技能を習得し、それらを活用する力を身に付けることが大切です。

市川市では、一人一人の実態に応じたきめ細かな学習を推進することにより、基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図ります。また、身に付けた知識や技能を学習や生活に活用していく力を高めるために、課題を解決する学習や体験的な学習などを充実させていきます。

◇施策の方向 1-3 健康に関する意識を高め、健やかな体を育成する

《施策一覧》

1-3 健康に関する意識を高め、健やかな体を育成する

◎ 望ましい生活習慣を身に付ける取り組みの推進

◎ 食育の推進

◎ 体力向上の取り組みの推進

健康意識の高まりにより、子どもから大人まで、健康の維持・増進に向けた取り組みが活発になっています。人が充実した生涯を過ごすためには、子どもの頃から望ましい生活習慣を身に付け、健康な体をつくることが大切です。

市川市では、食を含めた望ましい生活習慣を身に付けるために、健康に関する正しい知識や情報に基づいて、自らの健康について判断できる能力を育てます。また、運動やスポーツに親しむ機会を充実することにより、生涯にわたり健康な生活が続けられる健やかな体を育成します。

◇施策の方向 1-4 社会的な問題に関する認識を深め、意欲と実践力を育む

《施策一覧》

1-4 社会的な問題に関する認識を深め、意欲と実践力を育む

◎ 環境学習の充実

◎ 情報教育の推進

◎ キャリア教育^{*}の推進

◎ 防災教育の推進

東日本大震災後、社会の変化に伴い、解決しなければならない社会問題が新たに生じてきており、子どもにも大きな影響を及ぼしています。このため、社会問題を身近なものとしてとらえ、自分で考え、判断し、解決に向けて実践する力を身に付けることが、社会の中でたくましく生きていくためには必要となってきました。

市川市では、環境の悪化、情報モラルの低下、勤労観や職業観の変化などの社会問題に対応する教育に力を入れることにより、自らの生活や将来を考える力を高め、意欲と実践力をもった子どもの育成を目指します。

※ キャリア教育・・・子ども一人一人の勤労観、職業観を育てる教育

◇施策の方向 1-5 日本や郷土市川の歴史や文化を学び、国際社会の中で生きる力を育む

《施策一覧》

1-5 日本や郷土市川の歴史や文化を学び、国際社会の中で生きる力を育む

◎ 歴史や文化に関する教育の推進

◎ 外国語教育・国際理解教育の推進

国際化の進展に対応するためには、外国語を学び、言語能力を高めることはもちろんのこと、外国の歴史・文化・生活習慣などを理解することが大切です。そして何より、日本や郷土市川の歴史・文化などの幅広い見識を身に付けることにより、国籍や言語の違いを超えて、人と人とがたがいに深く理解し合い、協調していく力を育むことが大切です。

市川市では、日本や郷土市川に古くから根付いて伝えられている伝統・文化を学ぶ機会の充実を図るとともに、外国の歴史・文化の学習を大切にします。また、日本語の教育の充実と、外国語能力の向上を図ります。さらに、自分自身の意見をしっかりともてる能力や態度を育てることにより、国際社会の中で生きる力を育みます。

基本的方向 2 家庭・学校・地域の姿



目 標

自らの役割と責任を担いながら、たがいに連携して教育の向上に取り組む家庭・学校・地域を実現する

教育は家庭・学校・地域の相互の取り組みによって担われるものであり、子どもは社会全体で育まれます。

市川市の進める教育を確かなものにするとともに、社会の中でたくましく生きていく子どもを育てるためには、より多くの人の教育への参画が必要です。このため、家庭や学校、地域が自らの役割と責任を果たし、十分に連携・協力をして、幅広い教育機能の活性化を図ります。

◇施策の方向 2-1 家族の心のつながりを大切にし、心身の成長を育む
家庭の教育力の充実を目指す

《施策一覧》

2-1 家族の心のつながりを大切にし、心身の成長を育む家庭の教育力の
充実を目指す

◎ 家庭教育の充実に向けた取り組みの推進

◎ 子育てに関する学習機会や相談機会の提供

近年、核家族化が進み、地域社会と家庭とのつながりが薄れてきたことや、個人意識の高まりなどにより、規範意識が乏しく、集団活動になじめない子どもが増加する傾向が見られます。このことから、子どもの健やかな成長には、幼児期からの家庭教育が非常に重要であり、家庭の教育力を高めることに積極的に取り組む必要があります。

市川市では、子どもの成長に合わせた生活習慣などについての家庭の意識を高めるため、子育てに関する学習・相談機会の提供や啓発活動に取り組み、子どもの心身の成長を育む家庭の教育力の充実を目指します。

◇施策の方向 2-2 子どもと教職員とのつながりを大切にし、子ども一人一人の夢を育む学校の教育力の向上を目指す

《施策一覧》

2-2 子どもと教職員とのつながりを大切にし、子ども一人一人の夢を育む学校の教育力の向上を目指す

- ◎ 教職員の指導力の向上
- ◎ 学校間の連携の推進
- ◎ 学校評価の推進とその結果に基づく学校運営の改善
- ◎ 教職員が子どもと向き合う時間の拡大
- ◎ 特色ある学校運営を支援する環境整備の充実

子ども一人一人の夢を育むためには、教職員が自己研さんに励み、指導力の向上に努めるとともに、教職員の力を結集し、学校全体の力を高めることが大切です。

市川市では、教科などの専門性を高めるための研究や研修の充実を図るほか、世代交代を想定して次代を担う教職員の育成に取り組みます。また、各学校の特色ある学校づくりを支援するとともに、子どもの学びや発達の連続性を強化するために、学校間の連携を推進します。さらに、教職員が子どもと向き合う時間を拡大するとともに、学校評価の適切な運用や学校事務の効率化などを図り、学校運営の改善に努め、学校の教育力の向上を目指します。

◇施策の方向 2-3 人とのつながりを大切にし、子どもの成長を支える地域の教育力の向上を目指す

《施策一覧》

2-3 人とのつながりを大切にし、子どもの成長を支える地域の教育力の向上を目指す

◎ 地域を支える人材の育成と地域活動を支援するシステムの充実

子どもの成長には、世代を超えた多くの人たちとのふれあいが大切です。しかし、近年、地域での人とのつながりの希薄化や指導的な役割を担える人材が減少していることから、地域の教育力の向上が重要となっています。

市川市では、家庭、学校とともに地域社会は子どもの成長に欠かせない場として、地域の指導者の協力を得て、さまざまな地域活動を行ってきました。今後も、さらに充実するために、地域住民、企業、NPO、ボランティア団体などが連携して、より多くの人々が地域活動に関わる仕組みづくりを推進し、子どもの成長を支える地域の教育力の向上を目指します。

◇施策の方向 2-4 家庭・学校・地域のつながりを大切にし、市川の教育力の向上を目指す

《施策一覧》

2-4 家庭・学校・地域のつながりを大切にし、市川の教育力の向上を目指す

◎ 家庭・学校・地域の連携を図る取り組みの推進

◎ 家庭・地域と連携した学校の活性化

家庭・学校・地域のつながりを大切にし、相互に連携・協力して一体感のある教育を展開することにより、社会全体で子どもを育む環境が整います。

市川市では、地域の教育力を学校の教育力向上に生かす取り組みや、家庭・学校・地域が連携して子どもの健全育成を推進する取り組みをさらに進めていきます。また、情報の共有化を進めることにより、家庭・学校・地域のつながりを強め、市川の教育力の向上を目指します。

基本的方向 3 市川の教育の姿



目 標

教育環境の整備を図り、質の高い市川の教育を
推進する

教育の質を高めるための条件整備は、教育の振興にとって不可欠なものです。社会全体の教育機能の活性化を図り、市川の教育の質を向上させていくには、充実した教育環境を整えていくことが必要です。

このため、家庭や学校、地域における教育環境の整備・充実を図り、それぞれの実情に合わせた最適な状態の中で、計画的・総合的に教育を進めていきます。

◇施策の方向 3-1 幼児期の教育を推進するための環境を整える

《施策一覧》

3-1 幼児期の教育を推進するための環境を整える

◎ 生きる力の基礎を育む教育の推進

◎ 子育て支援の充実

幼児期は、人間形成の基礎が培われる重要な時期であるため、遊びや生活を充実させ、調和のとれた心や体を育成することが大切です。近年、核家族化などの進展により、家庭の教育力の低下が指摘されるなど、子どもの成長を取り巻く環境は大きく変わってきており、社会全体として子育てを行う家庭を支援していく必要があります。

市川市では、心豊かな子どもを育てることができるよう教育環境を整えます。

◇施策の方向 3-2 一人一人に応じた教育的支援を推進する

《施策一覧》

3-2 一人一人に応じた教育的支援を推進する

◎ 特別支援教育の推進

◎ 子どもや保護者を支援する体制の充実

◎ 教育機会均等の確保

子どもの障害の重複や多様さに応じて、一人一人に応じた適切な教育の実施が求められています。また、不登校をはじめ、さまざまな悩みを抱える子どもへの支援など、教育に関わるニーズが多様化しています。そのため、支援が必要な子どもの成長を促す個に応じた支援体制の整備が必要です。

市川市では、特別支援学校や特別支援学級の教育環境・教育活動の質を一層高めるとともに、発達障害のある子どもへの指導・支援の充実を図ります。また、不登校などの悩みを抱える子どもや海外からの子どもへの指導・支援など、一人一人の子どもや保護者に応じた教育的支援を推進します。

◇施策の方向 3-3 安全・安心で充実した教育環境を実現する

《施策一覧》

3-3 安全・安心で充実した教育環境を実現する

- ◎ 子どもの安全・安心を確保する家庭・学校・地域の取り組みの推進
- ◎ 放課後の子どもの居場所づくりの推進
- ◎ 学校の危機管理体制の充実
- ◎ いじめ、暴力行為などへの対応の強化
- ◎ 安全で質の高い教育環境の整備

子どもが、学校の登下校中を含め、事件・事故にあう被害が起きています。このことから、学校の教育環境の安全性を高めるとともに、地域全体で子どもの安全を確保することが重要です。また、子どもが安心して学校生活を過ごすためには、いじめの根絶が不可欠ですが、陰湿ないじめにより、発見が遅れる傾向も見られます。

市川市では、安全で質の高い教育環境の整備や子どもが安心して遊べる環境づくりを推進します。また、いじめの防止及び早期発見に向けて、家庭・学校・地域が一体となって取り組み、安全・安心で充実した教育環境を実現します。

◇施策の方向 3-4 生涯を通して学び続けられる学習環境を実現する

《施策一覧》

3-4 生涯を通して学び続けられる学習環境を実現する

- ◎ 生涯学習機会の充実
- ◎ 図書館機能を活用した学習活動の充実
- ◎ 博物館などの活用を通じた学習活動の推進
- ◎ 公民館を活用した地域の学習拠点づくり
- ◎ 文化財の保護と活用

子どもから大人まで、一人一人がそれぞれのライフステージに応じて、自主的、主体的に活動できるように、多様な学習ニーズにも的確に応えられる体制づくりが必要です。また、学んだ成果を地域社会に還元することができるように努め、地域の教育力の向上を図ることも大切です。

市川市では、多様な学習ニーズに応えるサービスの充実を一層進めるとともに、図書館や博物館、公民館などの社会教育施設を情報の発信源や学びの拠点として有効に活用し、誰もが生涯を通して学び続けることのできる学習環境の実現を目指します。

◇施策の方向 3-5 責任ある教育行政を確立する

《施策一覧》

3-5 責任ある教育行政を確立する

◎ 教育委員会機能の充実に向けた取り組み

これまで教育委員会は、教育水準の向上と地域の実情に応じた教育の振興に努めてきました。多様化してきている家庭・学校・地域のニーズに応えるためには、教育委員会のもつ機能を強化することが重要となっています。

市川市では、子ども・家庭・学校・地域の実態やニーズをふまえ、教育行政における基本方針の決定、施策の立案を行うとともに、その実施状況を点検・評価し、改善と充実に努め、教育委員会としての責任と役割を果たします。また、積極的な情報発信に取り組み、信頼される教育行政を実現します。

第1章 教育行財政	35
第1節 教育委員会.....	36
1 教育委員会の沿革	
2 教育委員会	
第2節 組織及び事務分掌.....	42
1 平成27年度 事務局組織図	
2 事務分掌	
3 職員配置状況	
第3節 教育財政.....	46
1 市予算と教育費の推移	
2 一般会計（平成27年度当初予算）	
3 教育費の割合（目的別・性質別）	
4 教育費の単位	

第1章 教育行財政

第1節 教育委員会

1 教育委員会の沿革

昭和

- 27. 11 教育委員会法（昭和23年法律第170号）
により市川市教育委員会設置
事務局 市役所内（旧庁舎）庶務課、学
校教育課、図書館、公民館をもって発足
委員長 内田安右衛門
教育長 島津新治
公選委員 山越亮治、広瀬安之、岩間
義定、大原留吉
議会選出委員 内田安右衛門
- 28. 4 平田小学校開校
4 事務局八幡小学校内へ移転
第1回市川市美術展覧会開催（公民館）
11 委員長 岩間義定就任
- 29. 11 委員長 山越亮治就任
- 30. 4 事務局 八幡2丁目地先へ移転
7 市川市公民館運営審議会設置
9 行徳小学校校舎落成
11 委員長 広瀬安之就任
- 31. 1 第1回成人式式典挙行（和洋女子大）
4 鬼高小学校開校
4 稻荷木小学校開校
5 委員長 大原留吉就任
10 地方教育行政の組織及び運営に関する法
律（昭和31.6.30公布）により教育委員
が任命制となる
委員長・越田穰、教育長・島津新治
- 32. 4 菅野小学校開校
4 養護学校（中学部）開校
5 八幡宮境内に図書館新築・移転、同時に事
務局図書館内に移転
- 33. 7 市内各小学校のプール設置はじまる
（中山小、富貴島小、菅野小）
- 34. 4 第六中学校開校
7 市庁舎（現庁舎）落成、同時に事務局移転
10 委員長 伊東教順就任
- 35. 1 市民会館開館
4 市川市文化財審議会設置
6 機構改革により指導課設置
- 36. 4 機構改革により教育研究所設置
- 37. 4 第七中学校開校
6 市川市スポーツ振興審議会設置
- 38. 4 機構改革により保健体育課設置
4 言語治療教室はじまる（八幡小）
7 委員長 神納木与志雄就任
- 39. 6 市立図書館行徳分館開館
7 教育次長制実施
- 40. 4 情緒障害学級はじまる（国府台小）
7 教育長 富田英夫就任
- 41. 4 留守家庭児童会（現保育クラブ）発足（市川小
10 内）
委員長 吉田真就任
- 42. 4
4 第八中学校開校
7 鶴指小学校開校
新舞子に市立海の家開設
- 43. 4 機構改革により青少年補導センター設置
4 宮久保小学校開校
5 市立図書館新館開館
12 共同調理場方式による学校給食開始（鶴指
小、第八中）
- 44. 3 市川市青少年補導センター運営協議会設置
4 機構改革により青少年課設置
7 市川市奨学生選考委員会設置
- 45. 4 二俣小学校開校
- 46. 4 二俣、信篤、稻荷木各幼稚園開園
10 機構改革により施設課設置
- 47. 4 中国分、曾谷各小学校開校
4 養護学校（高等部）開校
4 難聴学級はじまる（稻荷木小）
11 市立博物館開館
11 市立市川博物館協議会設置
12 委員長 渋谷寿光就任
- 48. 4 大町小学校開校
4 養護学校（小学部）開校
4 鬼越・鬼高青少年館開館
9 国府台公園に市民体育館開館、同時に名称
をスポーツセンターと改称
- 49. 4 北方小学校開校
4 宮田青少年館開館
4 市川市中心身障害児就学指導委員会設置

第1章 教育行財政

- 9 大洲幼稚園開園
- 10 機構改革により企画調査課設置
- 10 機構改革により市民会館が市長部局総務部へ移管される
- 11 西部公民館設置、同時に従来の公民館を中央公民館と改称

- 50. 4 市川青少年館開館
- 4 新浜小学校開校
- 4 委員長 甲田義男就任
- 4 南行徳幼稚園開園
- 4 平田青少年館開館
- 4 市川市幼児教育振興審議会設置
- 7 百合台幼稚園開園
- 9 移動図書館みどり号開設
- 10 宮久保青少年館開館

- 51. 11 湊青少年館開館
- 12 長野県菅平に菅平高原いちかわ村(林間施設)開設

- 52. 2 委員長 富山新一就任
- 4 百合台小学校開校

- 53. 1 社会教育会館開館
- 4 機構改革により部制実施(学校教育部、社会教育部設置) 社会体育課及び文化課設置、企画調査課廃止
- 4 富美浜小学校開校
- 4 新浜幼稚園開園
- 7 信篤小学校、原木2-16-1へ移転
- 9 行徳公民館開館(行徳支所に併設2、3階)
- 10 鬼高公民館開館

- 54. 2 信篤図書館開館(信篤小跡地)
- 2 市立図書館行徳分館を行徳図書館に改称
- 2 八幡青少年館開館
- 2 富美浜青少年館開館
- 4 柏井、大洲、幸小学校開校
- 4 下貝塚、高谷、福栄中学校開校
- 4 東部公民館開館
- 5 機構改革により管理部設置(二部制より三部制へ)
- 8 教育長 山口重直就任

- 55. 3 柏井公民館開館
- 4 機構改革により管理部内に企画調整課設置
- 4 大野、南新浜、新井小学校開校
- 4 東国分中学校開校
- 4 本行徳公民館開館
- 4 行徳図書館・移動図書館を本行徳公民館図書館に移転
- 行徳、新井青少年館開館

- 4 コミュニティスクール モデル校5校指定
- 56. 4 稲越、塩焼、塩浜小学校開校
- 4 市川市立小・中学校通学区区域審議会設置
- 5 委員長 前川峯雄就任
- 5 市川駅南公民館開館
- 9 大野公民館開館(大柏出張所に併設1階の一部、2階)
- 10 市立行徳図書館新館開館(行徳支所に併設4、5階)
- 10 委員長 富山新一就任
- 10 稲越、塩焼小学校に市民図書室開設

- 57. 4 信篤公民館開館
- 4 大洲、塩浜中学校開校
- 4 大洲中学校内に夜間学級開設
- 4 塩焼幼稚園開園
- 4 本八幡、奉免青少年館開館
- 7 市民プール開設
- 7 少年自然の家開所
- 10 委員長 伊藤一郎就任
- 11 歴史博物館開館(従来の博物館が考古博物館となる)

- 58. 4 大和田小学校開校
- 5 曾谷公民館開館
- 10 市立南行徳図書館開館
- 11 教育研究所が市川市教育センターと改称、南八幡5丁目へ移転

- 60. 4 福栄小学校開校
- 4 南行徳中学校開校
- 4 香取青少年館開館
- 5 信篤市民体育館開館
- 10 福栄小学校に市民図書室開設

- 61. 4 妙典中学校開校
- 10 文化振興基金設置

- 62. 4 自然博物館開館準備室開設
- 5 若宮公民館開館
- 6 市民プールに太陽熱利用プールハウス設置
- 10 平田図書室開館
- 12 青少年教育国際交流基金設置

- 63. 4 妙典中学校新校舎落成

平成

- 元. 3 大畑・教育基金設置
- 4 行徳図書館移転(行徳支所隣)
- 4 全校コミュニティスクール実施
- 5 幸公民館開館
- 7 中央図書館等建設準備室開設

第1章 教育行財政

- | | | | |
|-------|--|-------|--|
| 10 | 市川自然博物館開館（市川市動植物園内） | | を生涯学習部青少年課に所属替え |
| 10 | 塩浜市民体育館開館 | 4 | 「市川市生涯学習推進計画」策定 |
| 2. 4 | スクールコンサルタント室開設 | 12. 3 | 石井秋蔵教育振興基金設置 |
| 5 | 南行徳公民館開館 | 4 | 機構改革により就学支援課を新設 |
| 7 | 機構改革により文化スポーツ部設置（三部制より四部制へ）文化課、社会体育課を移管 | 4 | 学校評議員制度 |
| | | 4 | 給食民間委託化 |
| 3. 4 | 大柏小学校に市民図書室開設 | 13. 1 | 「市川市教育計画」策定 |
| 5 | 市川公民館開館 | 4 | 機構改革により七中建設担当室、公民館センターを新設 |
| 5. 4 | 教育長 最首輝夫就任 | 8 | 教育長 西垣惇吉就任 |
| 6. 4 | 委員長 多田實就任 | 14. 4 | 機構改革により七中建設担当室を七中建設担当とし教育施設課の所管へ |
| 4 | 青少年補導センターが少年センターに改称 | | 青少年課を廃止し、地域教育課を新設 |
| 7 | 機構改革により社会教育部を生涯学習部に、社会教育課を生涯学習課に改称 | | 少年センター、少年自然の家を地域教育課に所属替え |
| | 管理部中央図書館等建設準備室を中央図書館等開設準備室と改称し生涯学習部へ、図書館を生涯学習部へ移管 | 4 | 委員長 大熊徹就任 |
| 11 | 市川市生涯学習センター「メディアパーク市川」開館 | 7 | 市川市教育改革懇話会設置 |
| | 中央図書館、映像文化センター、教育センター、中央こども館（児童福祉部）を設置 | 9 | 教育委員会事務局が市役所本庁舎へ移転 |
| | 機構改革により中央図書館等開設準備室を廃止し、映像文化センターを設置 | 15. 4 | 全国高校総体推進担当室を設置 |
| | 市立図書館を廃止し、中央図書館を設置 | | コミュニティサポートシステムの発足 |
| 7. 3 | 教育委員会事務局が東大和田1-2-10に移転 | 16. 4 | 組織改正により全国高校総体推進担当室を全国高校総体推進担当としスポーツ振興課の所管へ |
| 4 | 委員長 長谷川千代就任 | 6 | 中央公民館菅野分館開館 |
| 4 | ライフカウンセラー配置 | 9 | PFIにより七中建替工事完了 |
| 10 | 「市川市余裕教室活用基本方針」策定 | 17. 4 | 委員長 五十嵐芙美子就任 |
| 10 | 公共図書館と学校図書館とを結ぶネットワーク事業を本格実施 | | 妙典小学校区改編実施 |
| 8. 8 | 「市川市生涯学習振興指針」策定 | | 中国分スポーツ広場開設 |
| | | | ヘルシースクール事業本格開始 |
| 9. 1 | 宮久保青少年館閉館 | 8 | 全国高等学校総合体育大会 女子ハンドボール競技大会開催 |
| 4 | ナーチャリングコミュニティ事業の実施 | 18. 4 | 市川の学校教育3ヵ年計画策定・実施 |
| 4 | 通学区の弾力化開始 | | 総合型地域スポーツクラブ設立（国府台） |
| 9 | 今後の地方教育行政の在り方について、創意と活力のある学校づくり事業開始 | 19. 4 | 組織改正によりスポーツ振興課、映像文化センターを市長部局に移管 |
| 10. 4 | 委員長 緑谷一雄就任 | | 青少年育成課を市長部局から移管 |
| 6 | 国府台小学校に「国府台デイサービスセンター」開所 | 19. 4 | 新井小学校区改編実施 |
| 11. 4 | 妙典小学校開校 | 7 | 少年自然の家をリニューアル |
| 4 | 機構改革により文化スポーツ部廃止（四部制より三部制へ）管理部を教育総務部に、庶務課を教育総務課に、学校施設課を教育施設課に、学務課を義務教育課に、生涯学習課を生涯学習振興課に、社会体育課をスポーツ振興課に改称 | 20. 4 | 組織改正により企画調整課と教育総務課を統合し、教育政策課に。 |
| | 文化スポーツ部を生涯学習部に統合 | 4 | 特別支援学校小学部を稲越小学校内に移転するとともに、校名を須和田の丘支援学校（本校）、須和田の丘支援学校稲越校舎（分校）に改称。 |
| | 文化課を市長部局に移管 | 4 | 市川市教育振興会議を設置 |
| | 少年センター | 7 | 幼児教育振興プログラム策定 |

第1章 教育行財政

- 21. 3 市川市教育振興基本計画策定
 - 4 教育長 田中庸恵就任
 - 4 委員長 宇田川進就任
 - 4 市川駅南口図書館開館

- 22. 8 第三次生涯学習推進計画策定

- 23. 4 教育長 田中庸恵再任
 - 4 委員長 宇田川進再任
 - 4 市川市立図書館中期計画策定
 - 4 市川市教育振興審議会を設置

- 25. 4 地域教育課を廃止し生涯学習振興課と青少年育成課へ事務移管
 - 4 公民館センターを社会教育課に名称変更し、生涯学習振興課より一部事務移管
 - 4 自然学習課を新設し自然博物館と少年自然の家を所管
 - 4 少年センターが青少年育成課所管へ

- 26. 1 市川市教育振興基本計画（第2期）策定
 - 2 教育行政運営方針の策定開始
 - 3 稲荷木幼稚園閉園
 - 3 菅平高原いちかわ村閉村
 - 4 「校内塾・まなびくらぶ」開始
 - 5 教育委員会が南八幡仮設庁舎へ移転
 - 11 中央図書館開館二十周年記念行事開催

- 27. 3 市川市立図書館運営基本計画策定
- 27. 4 教育長 田中庸恵再任
 - 4 市長が市川市総合教育会議を設置
 - 4 塩浜小・中学校において小中一貫教育を開始
 - 4 第四次生涯学習推進計画策定
 - 4 市川市立幼稚園は特定教育・保育施設となる
 - 4 組織改正により教育委員会が三部（教育総務部・学校教育部・生涯学習部）から二部一室（生涯学習部・学校教育部・教育政策室）へ
 - 4 少年自然の家が青少年育成課所管へ
- 10 市長が「市川市教育振興大綱」を策定

2 教育委員会

教育委員会は、教育長及び5人の教育委員をもって組織している合議制の執行機関である。
 教育長及び教育委員は、市長が市議会の同意を得て任命し、任期は教育長は3年、教育委員は4年である。

(1) 教育委員会の会議（平成26年度）

① 開催状況

定例会 12回 臨時会 1回 計 13回

② 議決内訳

(件)

件名	議案等			議決結果等			
	議案	報告	計	原案可決	審議未了	その他	計
1 教育行政の運営に関する基本的方針を定めること	13	0	13	13	0		13
2 教育委員会の規則及び訓令を制定、改廃すること	9	3	12	9	0		9
3 予算・条例等議会の議決を要する議案について市長に意見を申出ること	20	3	23	20	0		20
4 教育機関を設置または廃止すること	0	0	0	0	0		0
5 教育機関の敷地を設置し、または変更すること	5	0	5	5	0		5
6 教育機関の施設の整備計画を定めること	0	0	0	0	0		0
7 教育委員会事務局・学校以外の教育機関・他の施設の職員を任免すること	0	1	1	0	0		0
8 県費負担教職員の校長・教頭の任免他進退に関する内申に関すること	0	1	1	0	0		0
9 附属機関の委員を任命し、または委嘱すること	11	0	11	11	0		11
10 教育功労者を表彰すること	1	0	1	1	0		1
11 学校の通学区域に関すること	0	0	0	0	0		0
12 教科書の採択に関すること	4	0	4	4	0		4
13 その他	4	0	4	4	0		4
合計	67	8	75	67	0	0	67

(2) 教育長及び教育委員



教育長 田中 庸恵



教育委員 五十嵐 芙美子



教育委員 内田 茂男



教育委員 小林 正貫



教育委員 平田 信江



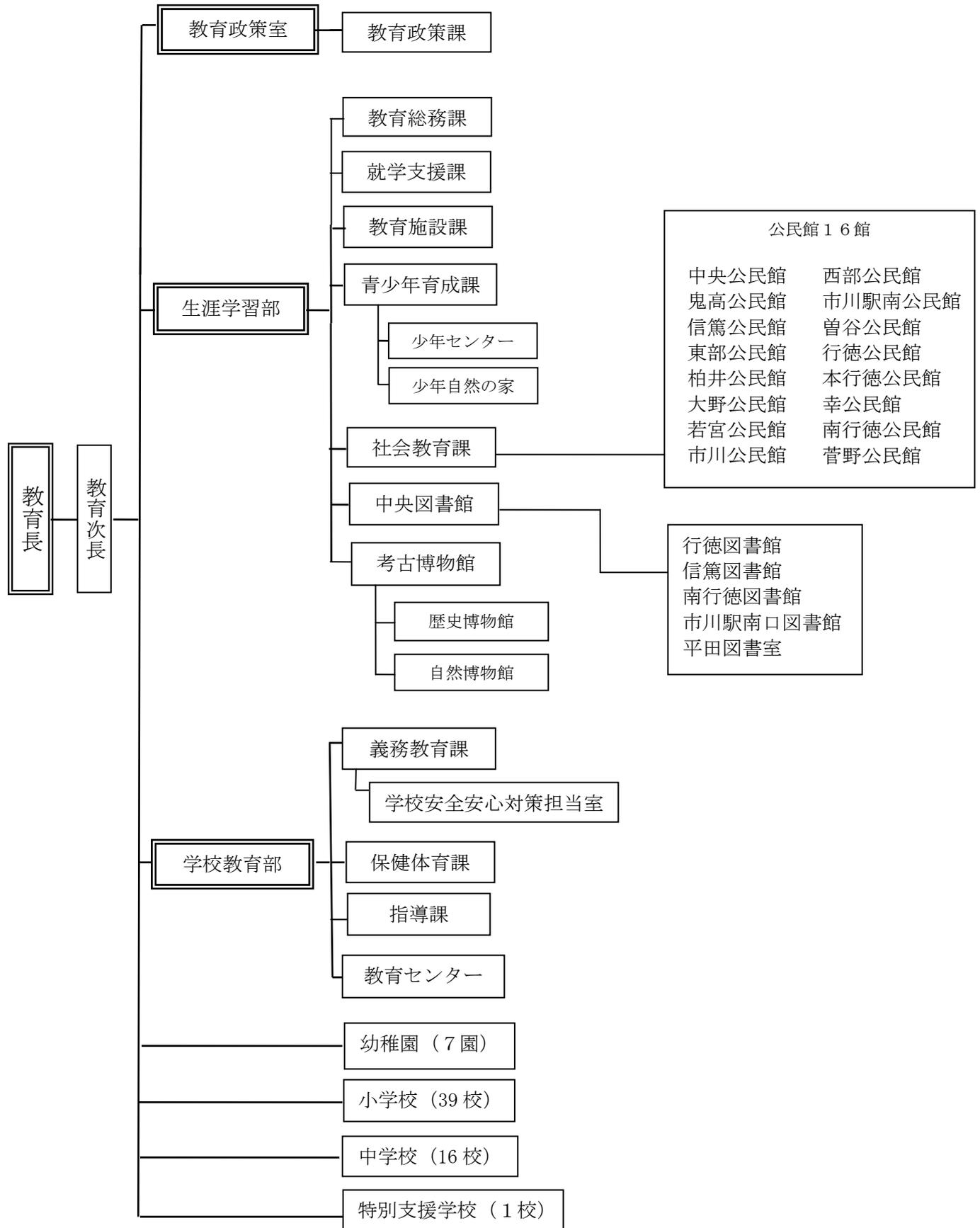
教育委員 平田 史郎

平成27年4月1日現在

職名	氏名	任期	主な経歴
教育長	田中 庸恵	H21. 4. 1～H23. 3. 31 H23. 4. 1 再任～H27. 3. 31 H27. 4. 1 再任～H30. 3. 31	
教育委員	五十嵐 芙美子	H14. 4. 1 H18. 4. 1 再任～H22. 3. 31 H22. 4. 1 再任～H26. 3. 31 H26. 4. 1 再任～H30. 3. 31	元特別支援学校長
教育委員	内田 茂男	H21. 10. 1～H24. 3. 31 H24. 4. 1 再任～H28. 3. 31	学校法人千葉学園常務理事 千葉商科大学名誉教授
教育委員	小林 正貫	H25. 4. 1～H25. 6. 30 H25. 7. 1 再任～H29. 6. 30	医師
教育委員	平田 信江	H25. 8. 2～H29. 8. 1	保護者
教育委員	平田 史郎	H27. 4. 1～H31. 3. 31	学校法人平田学園理事長 国府台女子学院学院長

第2節 組織及び事務分掌

1 平成27年度 事務局組織図



2 事務分掌

【教育政策室】

《教育政策課》

- (1) 課の庶務に関する事。
- (2) 教育振興基本計画に関する事。
- (3) 委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等に関する事。
- (4) 教育行政の重要施策の調整に関する事。
- (5) 教育振興審議会に関する事。
- (6) 幼児教育振興審議会に関する事。

【生涯学習部】

《教育総務課》

- (1) 課の庶務に関する事。
- (2) 委員会の組織及び定員の管理に関する事。
- (3) 委員会の予算の調整に関する事。
- (4) 委員会の会議に関する事。
- (5) 儀式及び表彰に関する事。
- (6) 教育長の秘書に関する事。
- (7) 教育行政に関する相談窓口に関する事。
- (8) 職員の任免及び給与に関する事。
- (9) 職員の服務に関する事。
- (10) 職員の研修及び福利厚生に関する事。
- (11) 生涯学習施策の調整に関する事。
- (12) 生涯学習推進の企画立案に関する事。
- (13) 生涯学習部の所管に係る事務事業の連絡調整に関する事。
- (14) 部内他の課の所掌に属しない事項に関する事。
- (15) 他の部の所掌に属しない事項に関する事。

《就学支援課》

- (1) 課の庶務に関する事。
- (2) 学校の予算に関する事。
- (3) 学校の備品の管理に関する事。
- (4) 要保護及び準要保護児童生徒援助費に関する事。
- (5) 特別支援教育就学奨励費に関する事。
- (6) 奨学資金に関する事。
- (7) 奨学生選考委員会に関する事。
- (8) 大畑恣教育基金の管理（運用を除く。）及び処分に関する事。
- (9) 入学準備金の貸付けに関する事。
- (10) 私立学校等に係る補助に関する事。
- (11) 幼稚園の管理及び運営（幼児の入園、休園、

復園及び退園に関する事を除く。）に関する事。

- (12) 幼稚園に勤務する職員の服務に関する事。

《教育施設課》

- (1) 課の庶務に関する事。
- (2) 教育機関の整備計画に関する事。
- (3) 教育機関の火災保険に関する事。
- (4) 学校の用に供する財産の管理に関する事。

《青少年育成課》

- (1) 課の庶務に関する事。
- (2) 青少年健全育成事業の計画及び実施に関する事。
- (3) 青少年団体に関する事。
- (4) 青少年相談員に関する事。
- (5) 放課後児童健全育成事業に関する事。
- (6) こどもの居場所作り事業に関する事。
- (7) コミュニティクラブ事業に関する事。
- (8) 少年センター運営協議会に関する事。
- (9) 少年センターに関する事。
- (10) 少年自然の家に関する事。
- (11) 自然体験活動に関する事。

〈少年センター〉

- (1) センターの運営に関する事。

〈少年自然の家〉

- (1) 少年自然の家の管理に関する事。
- (2) 事業の企画、調整及び実施に関する事。
- (3) 生活指導に関する事。
- (4) 学習活動の指導及び援助に関する事。

《社会教育課》

- (1) 課の庶務に関する事。
- (2) 社会教育の振興に関する事。
- (3) 社会教育関係団体に関する事。
- (4) 社会教育委員に関する事。
- (5) 家庭教育に関する事。
- (6) 学校施設の開放に関する事。
- (7) コミュニティサポート委員会及びコミュニティサポート推進委員会に関する事。
- (8) 公民館に関する事。
- (9) 公民館運営審議会に関する事。
- (10) 社会教育法（昭和24年法律第207号）に基づく事業等の実施に関する事。

〈公民館〉

- (1) 社会教育法に基づく事業等の実施に関する事。

《中央図書館》

- (1) 館の庶務に関する事。
- (2) 図書館法（昭和25年法律第118号）に基づく事業の実施に関する事。
- (3) 行徳図書館、信篤図書館、南行徳図書館並びに市川駅南口図書館及び平田図書室に関する事。
- (4) 生涯学習センターの施設等の管理に関する事。

〈行徳図書館、信篤図書館及び南行徳図書館〉

- (1) 図書館法に基づく事業の実施に関する事。

《考古博物館》

- (1) 館の庶務に関する事。
- (2) 博物館法（昭和26年法律第285号）に基づく事業の実施に関する事。
- (3) 博物館協議会に関する事。
- (4) 博物館関係団体に関する事。
- (5) 歴史博物館に関する事。
- (6) 自然博物館に関する事。
- (7) 文化財保護に関する事。
- (8) 文化財の管理に関する事。
- (9) 文化財保護審議会に関する事。

〈歴史博物館及び自然博物館〉

- (1) 博物館法に基づく事業の実施に関する事。

【学校教育部】

《義務教育課》

- (1) 課の庶務に関する事。
- (2) 学校（幼稚園を除く。）の設置及び廃止に関する事。
- (3) 児童及び生徒の入学、転学等に関する事。
- (4) 学級編制に関する事。
- (5) 通学区域の設定及び変更に関する事。
- (6) 小中学校通学区域審議会に関する事。
- (7) 教職員の任免、給与及び服務に関する事。
- (8) 教職員の福利厚生に関する事。
- (9) 学校運営の指導及び助言又は支援に関する事。
- (10) 学校の防災及び情報管理に関する事。
- (11) 学校長・園長会に関する事。
- (12) 学校教育部の所管に係る事務事業の連絡調整に関する事。
- (13) 部内他の課の所掌に属しない事項に関する事。

〈学校安全安心対策担当室〉

- (1) 担当室の庶務に関する事。
- (2) 学校運営の指導及び助言又は支援に関する事。
- (3) 学校の防災及び情報管理に関する事。
- (4) 学校長・園長会に関する事。

《指導課》

- (1) 課の庶務に関する事。
- (2) 学校における教育内容の充実のための調査及び企画に関する事。
- (3) 学校における教育課程、学習指導、進路指導等に関する事。
- (4) 教職員に対する学校教育についての専門的事項の指導に関する事。
- (5) 教職員研修の計画立案に関する事。
- (6) 学習支援事業に関する事。
- (7) 青少年教育国際交流基金の管理（運用を除く。）及び処分に関する事。
- (8) 教育センターとの連絡に関する事。
- (9) 幼稚園園児、児童及び生徒の安全政策に関する事。

《保健体育課》

- (1) 課の庶務に関する事。
- (2) 学校医、学校歯科医及び学校薬剤師に関する事。
- (3) 学校の保健に関する事。
- (4) 学校給食（学校給食の実施に必要な施設の

整備計画を除く。) に関すること。

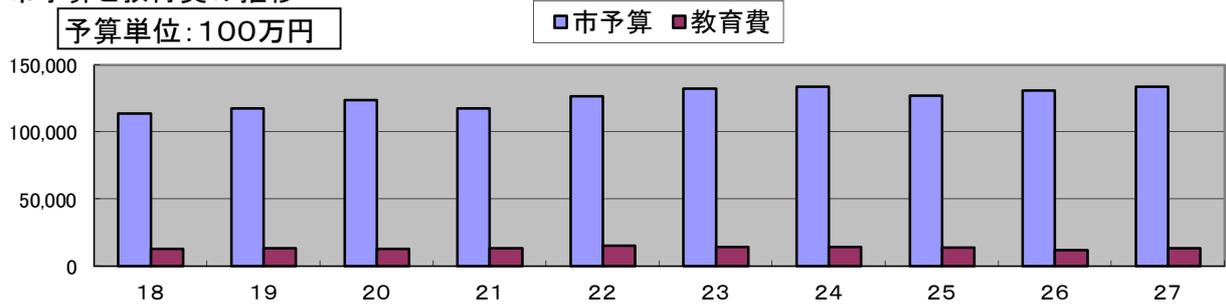
- (5) 交通安全指導に関すること。
- (6) 学校体育に関すること。
- (7) 学校体育団体に関すること。
- (8) 独立行政法人日本スポーツ振興センターに関すること。

《教育センター》

- (1) センターの庶務に関すること。
- (2) 教育課程の調査研究に関すること。
- (3) 教育内容及び方法の調査研究に関すること。
- (4) 教育実践に参考となる資料の収集及び作成に関すること。
- (5) 教職員の研修に関すること。
- (6) 教育相談に関すること。
- (7) 適応指導教室に関すること。
- (8) 教育支援委員会に関すること。

第3節 教育財政

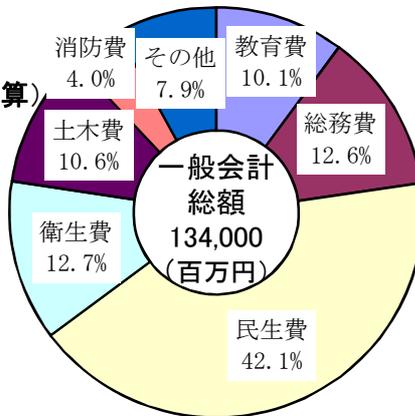
1 市予算と教育費の推移



年度	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
市予算	114,100	118,000	123,800	117,600	126,800	132,600	133,800	127,100	131,100	134,000
教育費	13,054	13,402	12,970	13,492	15,363	14,571	14,172	13,916	12,000	13,455
割合(%)	11.4	11.4	10.5	11.5	12.1	11.0	10.6	11.0	9.1	10.1

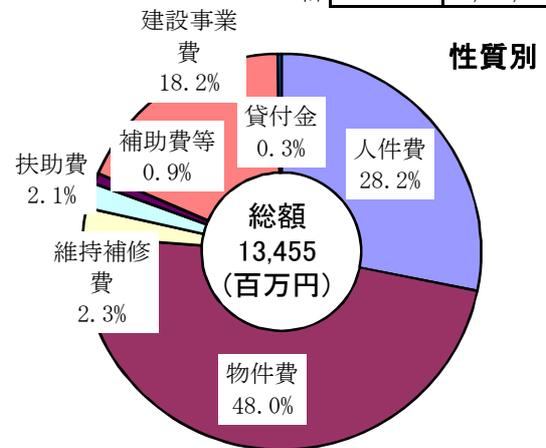
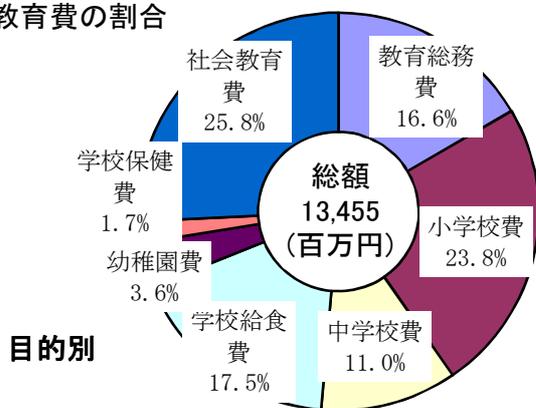
2 一般会計(平成27年度当初予算)

	構成比%	予算額(百万円)
教育費	10.1	13,455
総務費	12.6	16,931
民生費	42.1	56,439
衛生費	12.7	17,049
土木費	10.6	14,236
消防費	4.0	5,380
その他	7.9	10,510
計	100.0	134,000



	構成比%	予算額(千円)
人件費	28.2	3,801,623
物件費	48.0	6,460,610
維持補修費	2.3	310,626
扶助費	2.1	276,168
補助費等	0.9	115,497
建設事業費	18.2	2,447,676
貸付金	0.3	42,800
計	100.0	13,455,000

3 教育費の割合



4 教育費の単位(市民1人、1世帯、児童生徒園児1人、1学級)あたり比較表

当初予算額(千円)	市民1人あたり(円)	1世帯あたり(円)	児童・生徒・園児あたり(円)	1学級あたり(円)			
総額	13,455,000	28,314	59,230				
教育総務費	2,228,723	4,690	9,811				
小学校費	3,200,126	6,734	143,735	4,227,379			
中学校費	1,486,343	3,128	6,543	4,779,238			
学校給食費	2,347,368	4,940	10,333	2,197,910			
幼稚園費	488,158	1,027	2,149	16,833,034			
学校保健費	233,112	491	1,026				
社会教育費	3,471,170	7,305	15,280				
男	238,501	世帯数	227,164	児童数	22,264	学級数(小)	757
女	236,706			生徒数	9,947	学級数(中)	311
総数	475,207			園児数	886	学級数(幼)	29
				総数	33,097	総数	1,097

※平成27年5月1日現在の人口、世帯数、児童・生徒・園児数、学級数による。

第2章 学校教育・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・47

平成27年度学校教育の指導方針

2-1 幼稚園編・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・49

- (1) 確かな学力をはぐくむ
- (2) 豊かな心をはぐくむ
- (3) 健やかな体をはぐくむ
- (4) 信頼される開かれた園をつくる

2-2 小中学校編・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・52

- (1) 確かな学力をはぐくむ
- (2) 豊かな心をはぐくむ
- (3) 健やかな体をはぐくむ
- (4) 信頼される開かれた学校をつくる

2-3 特別支援学校編・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・57

- (1) 確かな学力をはぐくむ
- (2) 豊かな心をはぐくむ
- (3) 健やかな体をはぐくむ
- (4) 信頼される開かれた学校をつくる

2-4 千葉県教育委員会 平成27年度 指導の重点・・・・・・・・・・・・・・60

平成27年度学校教育の指導方針

この「学校教育の指導方針」は、「学習指導要領」、「学校評価ガイドライン」、千葉県教育委員会の「学校教育指導の指針」及び市川市教育委員会の「市川市教育振興基本計画」に基づき、本市における学校教育の現状と課題を踏まえて作成したものである。

市川市の教育理念である「人をつなぐ 未来へつなぐ 市川の教育」の主旨と以下に示す「指導方針」の内容を十分に踏まえた上で、創意と活力にあふれた教育活動を推進してもらいたい。そして、現在の激しく変わる社会の中で子どもたちが自ら課題を解決し、人生を切り拓くことが出来るよう、「生きる力」をしっかりと身につけさせてほしい。

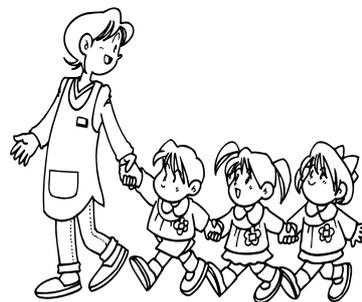
1 幼稚園 編

(1) 確かな学力をはぐくむ

○ 基礎基本の確実な習得と活用する力の育成を図る



- ・園や地域の特色、幼児の生活習慣等の実態を把握し、心身の発達の特性に応じた指導計画を作成し、保育の充実を図る。
- ・身近な環境に自ら関わり、発見したり考えたりする充実感、満足感を味わえるように、環境構成の工夫改善を図り、適切な指導と多様な援助を行う。
- ・身近な事象に対する興味や関心を引き出し、生活の中で感じたことや考えたことを表現する活動を充実させることにより、豊かな感性や思考力、表現力等の基礎を培う。
- ・自分の思いを言葉で伝えるとともに、相手の話を理解しようとする態度を育て、言葉に対する感覚を養う。
- ・本に親しめる環境づくりを工夫したり、読み聞かせやお話会を実施したりする等、読書活動を推進する。
- ・幼児の道徳性の育成に資する体験活動を推進したり、教材「チーバくん、ふるさと・ことばかるた」の活用を図ったりすることで、豊かな感性をはぐくむとともに、基本的な生活習慣の基礎を培う。



○ 教職員の資質能力の向上を図る

- ・幼児一人一人に適切な評価を行い、指導方法の工夫改善に努め、指導と評価の一体化を図る。

○ 教職員の資質能力の向上を図る

- ・ 幼児一人一人に適切な評価を行い、指導方法の工夫改善に努め、指導と評価の一体化を図る。
- ・ 園の教育ビジョンを明確にし、組織マネジメントの手法をいかにしながら、全教職員が自己研鑽に努める環境をつくる。
- ・ 保育実践研究を積極的に行うとともに、保育園や小学校等の研究会に参加し、指導力の向上を図る。
- ・ 幼児の発達や子育てに関する相談に応じるなど、地域の幼児教育のセンターとしての役割を果たせるよう、教職員の指導力の向上を図る。
- ・ 幼児教育相談員等を活用し、一人一人の教育的ニーズに応じた保育の充実を図るとともに、園全体で取り組む特別支援教育の体制の整備を推進する。

(2) 豊かな心をはぐくむ

○ 人との関わりを重視した教育活動を進める

- ・ 園の教育活動全体を通して、挨拶の意味を理解させ、いつでも進んで挨拶する子どもを育成する。
- ・ 発達段階に応じた交流体験、自然体験等を推進する。
- ・ 異年齢集団による遊びや学び合いを進めたり、保育園や小学校との交流を計画的に進めたりする中で、人と関わる力を育成する。
- ・ 小学校への円滑な接続ができるよう、幼児と児童との交流の機会を設定し、小学校生活に期待をもたせる。



○ 道徳心を培う取組を進める

- ・ 全教師が協力して道徳教育を推進し、集団での生活を通して規範意識の芽生えを培う。
- ・ 飼育活動や栽培活動を通じて、命を大切にする教育活動を推進する。

○ 幼児期からの読書教育を進める

- ・ リズムや響きなど言葉の美しさを体感できる読み聞かせを実施し、美しい日本語が使える子どもを育成する。
- ・ 発達段階に応じた読み聞かせやお話会等を通して、絵本や物語への興味を持たせる。
- ・ 幼児が本に親しめるよう、環境づくりを工夫するとともに、家庭・地域と連携し、読書教育の充実を図る。
- ・ 幼・小・中の連携した読み聞かせ等の読書活動を推進する。



○ 教育相談活動の充実を図る

- ・ 園内教育相談体制の充実を図り、保護者との連携により心身の健やかな発達を促す。
- ・ 必要に応じて家庭や地域社会、関係機関及び関係する学校等と連携して対応を行う。

(3) 健やかな体をはぐくむ

○ 包括的な健康教育を推進する（ヘルシースクール）

- ・園庭での遊びの時間を確保し、全身を使ったり、身近な物や遊具を使ったりする様々な遊びを体験することによって、体を動かす楽しさを味わえるようにする。
- ・身の回りを清潔にし、衣服の着脱、排泄などの生活に必要な習慣が身に付くようにするとともに自立心を育てる。
- ・家庭との連携を図り、幼児が栄養のバランスのとれた食事や早寝、早起きなどの望ましい生活のリズムを身につけられるよう適切な援助をする。
- ・食への興味や関心を持ち、食べることを楽しみながら、進んで食べようとする気持ちを育てる。
- ・家庭との連携により、望ましい食習慣の形成を図る。
- ・ハンカチ、ティッシュを正しく使うことや、手洗い、うがいの習慣が身につくようにすることで、自分の健康に関心を持ち、清潔を保つことの大切さを理解させ、病気の予防などができるようにする。



○ 安全な生活を実践する能力と態度を育成する

- ・遊びを通して、危険な場所や物事などを理解させ、状況に応じて安全な行動が取れるようにする。

(4) 信頼される開かれた園をつくる

○ 園評価による園運営の改善を図る

- ・評価の精度を高める工夫や、年2回の自己評価の実施による形成的な園評価によって、継続的で主体的な園運営の改善に努める。
- ・教職員による自己評価を、重点化した目標設定により、精選して行う。
- ・「保護者アンケート」を積極的に実施する。
- ・自己評価の結果の公表、園参観の実施やホームページの更新を含めた積極的な情報提供を行う。
- ・園長は、園関係者評価を次年度の園経営にいかすとともに、教職員への周知を図り、次年度の教職員の実践の改善に役立てる。
- ・園評価の結果を保護者・地域に広く公表することで、説明責任を果たすとともに、園の取組についての理解・協力を求め、園・家庭・地域の連携協力の推進を図り、園を活性化させる。

○ 家庭との連携を図る

- ・いじめの早期発見と適切な対応を促進するために、園・家庭・地域の連携を推進する。
- ・家庭や地域等に対して、ホームページや園だより等を活用して積極的に園の状況を情報提供したり「幼稚園公開日（週間）」を設定したりして、地域に幼稚園を開いていくよう努める。
- ・園施設の開放や子育て相談の実施、「学校から発信する家庭教育プログラム」の活用等により、地域における幼児教育のセンターとしての役割を果たす。

○ 子どもたちの安全・安心を守る

- ・危機管理マニュアルの見直しを行い、教職員の危機管理意識を高め、家庭や地域社会・市関係部局と連携し、幼児の健康と安全に十分留意した園教育に努めるとともに災害に強い園づくりに努める。
- ・非常災害時における保護者との連絡方法を確立するとともに、小・中学校、地域や家庭と連携した避難訓練や防災訓練を実施する。



2 小中学校 編

(1) 確かな学力をはぐくむ

○ 基礎基本の確実な習得と活用する力の育成を図る

- ・学力や学習・生活習慣等の実態を把握し、実態に基づいた指導計画を立案する。又、教材・教具の工夫、指導方法の改善等により、学習指導の充実を図る。
- ・自ら学び思考し表現する力の育成を目指し、基礎的・基本的な知識・技能を習得する学習、問題解決的な学習、学んだことを活用する学習、探究的な学習の充実を図る。
- ・言語活動や体験活動を意図的、計画的に授業に取り入れる。
- ・ねらいに応じて習熟度別指導、課題別指導、ティームティーチングの活用を図るとともに、教科の特性をいかした少人数指導の充実を図る。
- ・放課後や長期休業中における学習機会を設けることにより、児童生徒に基礎的・基本的な学習や発展的な学習に取り組む場を与え、学習意欲の向上を図る。
- ・学校や地域の実態に応じ、専門性の高い外部人材の活用や、個別学習・グループ学習に対応するための学習ボランティアの活用などの取組を推進するとともに、地域の学習環境（自然・文化や伝統・社会教育施設等）の活用を図る。
- ・学校図書館の学習センター機能の充実を図り、学校図書館の活用を各教科の年間指導計画の中に位置づけるとともに、教科の特質に応じて、情報の収集→整理・分析→まとめ・表現の過程を取り入れた授業を展開する。



- ・言語活動の充実を図るため、国語科においては、課題に対して思考し、場・相手に応じてわかりやすく伝え合い、自分の考えを深めたり広げたりできる交流の場を設定する。各教科等においては、国語科で培った言語力を基本とし、記録、要約、説明、論述、話し合いなどの学習活動を推進する。

- ・ICTや学習支援システムの効果的な活用が図れるように、ICTの活用を各教科の年間計画の中に位置づけ、児童生徒の学力向上を図るとともに、情報活用能力や情報モラルの育成を目指す。
- ・「家庭学習の手引き」などを作成し、家庭学習が習慣化されるよう家庭へ啓発し、学習内容の基礎基本の定着を図る。
- ・全国学力・学習状況調査の結果から、児童生徒の学力や学習状況及び生活行動の現状を把握・分析し、指導内容、指導方法の工夫改善を行う。
- ・小学校においては、「学びの突破ロガイド」や「ちばっ子チャレンジ100」、中学校においては、「ちばのやる気学習ガイド」等を活用し、補充・発展的な学習を取り入れる等、学習活動を工夫する。
- ・特別支援学級においては、実生活に即した体験活動を積極的に取り入れ、日頃の学習の成果を活用できるように計画する。
- ・特別な支援を必要とする児童生徒、および特別支援学級、通級指導教室等の児童生徒については、個別の指導計画を作成し、具体的な目標と手立てを明確にして学習の充実を図る。更に、市川市特別支援教育推進計画に基づき「市川スマイルプラン」を活用して、ライフステージに応じた支援が受けられるようにする。

○ 教職員の資質能力の向上を図る



- ・生徒指導の3つの機能「自己決定の場を与える」「自己存在感を与える」「共感的人間関係を育成する」をいかした授業の実現に向け、学校全体で研修等に取り組む。
- ・目標を明確にし、指導と評価の一体化を図った授業づくりや個に応じた指導の充実を図るなど、指導方法の工夫改善を図る。
- ・教職員自身による研修計画作成にあたって、管理職は組織マネジメントの手法をいかしながら、指導・支援を行う。
- ・一人一授業以上の研究授業を行い、全教職員が自己研鑽に努める体制をつくる。
- ・「授業練磨の公開日」を活用し、近隣校との相互参観や交流授業等を積極的に実施するとともに、ブロックの教職員が参加する研究授業を展開し、協議会で力量を高め合うなど、中学校ブロックの連携を視野に入れた自主公開、研究授業を実施する。また、塩浜学園での成果を各小中学校間の連携に生かしていく。
- ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた「わかる授業」づくりについて研修を進める。

(2) 豊かな心をはぐくむ

○ 人との関わりを重視した教育活動を進める

- ・様々な活動の中で、人と関わることの大切さを理解させ、進んで挨拶する子どもを育成する。
- ・交流・宿泊・ボランティア活動等、発達段階に応じた体験活動の充実を図る。
- ・全教育活動の中で、キャリア教育を意図的・継続的に推進し、キャリア発達を踏まえた目標を設定して、教育課程に適切に位置づける。
- ・「職場体験」「ゆめ・仕事ぴったり体験」等の体験活動や外部人材の活用等を通して、地域社会と連携する小・中一貫したキャリア教育を推進する。
- ・「豊かな人間関係づくり実践プログラム」や「グループエンカウンター」などを活用して、人間関係づくりに必要な基本的な力を育む。
- ・児童生徒の多様なニーズに対応したインクルーシブ教育の推進に向け、効果的な指導や支援の充実を図る。
- ・異年齢集団での活動や地域の人たちとの交流を通して、人と関わる力を育成するとともに、思いやりや感謝の気持ちを育て、自分の成長を自覚できるようにする。
- ・障害のある児童生徒と障害のない児童生徒とが、共に活動する中でお互いを思いやる心をはぐくめるよう、交流及び共同学習に積極的に取り組む。



○ 道徳心を培う取組を進める

- ・すべての教育活動を通して行われる道徳教育の要として「道徳の時間」を位置付け、『私たちの道徳』や映像教材、『道徳教育の手引き』等を活用し、道徳的な内容の補充・深化・統合を図る。
- ・道徳教育推進教師が中心となり、全校体制での道徳教育を推進する。
- ・児童生徒の発達の段階に応じた規範意識や人権意識等が身につくよう、地域の教育力をいかした道徳教育を積極的に実施・公開する。
- ・動植物を育てる活動や獣医師会等の専門家による講演会の開催等を通して、命を大切に
する意識をはぐくむ。

○ 未来につながる読書教育を進める

- ・読み聞かせや朗読体験をはじめとする多様な読書活動や、学習活動での図書
の活用などの読書教育を推進する。
- ・発達段階に応じた読書を推進し、そこから得た感動を、読書意欲につなげていく。
- ・物語や伝記の主人公の生き方に触れることで、自らの生き方について考え、
将来について夢を抱ける子どもを育成する。



○ 教育相談活動の充実を図る

- ・教育相談活動を充実させ、児童生徒・保護者等の不安や悩みを理

解し、解決に向けた支援を行うことで、問題行動や学校への不適応が起きないようにする。

- ・不登校の子どもたちへの支援のために、不登校児童生徒支援教室の環境を整え、当該児童生徒と深く関わる教育関係者によるケース会議を定期的に行い、共通理解を図る。
- ・近隣の幼稚園や保育園と情報交換を密にし、小一プロブレムを未然に防ぐよう努める。
- ・中学校ブロックごとに連絡会議を実施し、中一ギャップを未然に防ぐよう努める。
- ・教育相談の方法や具体例について研修し、児童生徒理解を深めるための相談活動を定期的に実施する。

(3) 健やかな体をはぐくむ

○ 包括的な健康教育を推進する（ヘルシースクール）

- ・業間休みの時間の活用やスポーツ週間やイベント、さらに千葉県教育委員会が実施している「遊・友スポーツランキングちば」等を活用し、積極的に外で遊ぶ機会を設け、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育てる。
- ・体力テストの結果を考察し、改善に向けての具体的な取組を実施する。



- ・学校と家庭が連携を図り、食後の歯みがき、生活習慣チェックカード等を通して、望ましい生活習慣を身につけられるようにする。また、千葉県教育委員会が実施している「いきいきちばっ子健康体力づくりモデルプラン」「いきいきちばっ子元気アップ・プラン大作戦」等を活用し健康、体力づくりを推進する。

- ・学校園等での栽培活動や学校給食等の生きた教材を通して、食に関する学習を教育課程に位置づけ、実践する。その際、栄養教諭、学校栄養職員等、専門的な立場からも、望ましい食習慣等、食の大切さについての指導を進める。
- ・すこやか検診の結果を通して栄養面等の個別指導を行い、望ましい食習慣の形成を図る。
- ・委員会活動の機能をいかし、手洗い・うがいの励行、ハンカチの使用、給食配膳時のエプロン・三角巾の着用の徹底等、環境衛生面の指導を行い、健康的な生活を送るための自主的・実践的態度を育成する。
- ・学校環境衛生基準に基づいて、教室の照明等環境に係る事項について適切な対応をするとともに、学校備品等の安全管理の充実を図る。



○ 安全な生活を実践する能力と態度を育成する

- ・身の回りの危険に気付き、自ら安全な行動が取れるようにし、自他共に安全に生活する態度の育成に努める。

(4) 信頼される開かれた学校をつくる

○ 学校評価による学校運営の改善を図る

- ・評価の精度を高める工夫や、年2回の自己評価の実施による形成的な学校評価によって、継続的で主体的な学校運営の改善に努める。
- ・教職員による自己評価を、重点化した目標設定により、精選して行う。
- ・「児童生徒アンケート」や「保護者アンケート」を積極的に実施する。
- ・自己評価の結果の公表、学校参観の実施やホームページの更新を含めた積極的な情報提供を行う。
- ・校長は、学校関係者評価を次年度の学校経営にいかすとともに、教職員への周知を図り、次年度の教職員の実践の改善に役立てる。
- ・学校評価の結果を保護者・地域に広く公表することで、説明責任を果たすとともに、学校の取組についての理解・協力を求め、学校・家庭・地域の連携協力の推進を図り、学校を活性化させる。

○ 家庭との連携を図る

- ・家庭学習計画表の作成、「家庭学習のすすめ」リーフレットの配付など、具体的な手立てをとるとともに保護者へ理解・協力を求め、家庭学習の習慣化を図る。
- ・規則正しい生活リズムの定着や、挨拶、正しい言葉遣い等の習慣化、情報モラルの理解など、児童生徒の望ましい生活習慣・規範意識の向上を図るため、家庭と連携して取り組む。
- ・いじめの早期発見と適切な対応を推進するために、学校・家庭・地域の連携を推進する。

○ 子どもたちの安全・安心を守る

- ・学校安全計画やセーフティスクールプランを作成し、学校独自の危機管理マニュアルや安全マップを見直すことにより、学校と家庭・地域とが一体となって安全・安心な学校づくりを推進する。
- ・通学路の安全チェックを行い、家庭や地域・関係機関等と連携して、子どもたちが安心して登下校ができるようにする。
- ・地震や津波等も含めた災害発生時を想定し、家庭への確実な連絡方法を確立しておくとともに、家庭や地域・関係機関等と連携した避難訓練や防災訓練等を実施する。
- ・PTAや地域ボランティアによる青色防犯パトロール隊を編制し、活動を推進するとともに、中学校ブロックによるパトロール活動の充実を図る。

○ 学校と地域の連携を進める

- ・環境整備、環境美化及び施設の開放等に努め、地域住民みんなの学校として、地域から愛される学校づくりを行う。
- ・コミュニティサポート委員会や、学校支援コーディネーター、学習支援クラブ等を活用し、地域の教育力を積極的に取り入れる。



3 特別支援学校 編

(1) 確かな学力をはぐくむ

○ 基礎基本の確実な習得と活用する力の育成を図る

- ・障害の状態や特性及び発達の段階、生活の様子等の実態を把握し、個別の指導計画を作成し、個に応じたきめ細かな指導を展開する。
- ・個別の指導計画に基づき、学習の目標を達成するための手立て、教材・教具を工夫し、指導の充実を図る。
- ・ねらいに応じて指導の形態（各教科ごとの指導、教科等を合わせた指導）や指導の場（個別指導、グループ指導等）を工夫し、指導の充実を図る。
- ・家庭や地域と協力し、生活に必要な基礎的・基本的な知識や技能を身につける。また、地域の人材、自然環境、社会教育施設等を活用し、体験的な学習活動の充実を図り、自ら考え判断し、活用できる力を育成する。
- ・学校生活全体を通し、人と関わる機会を多く設け、積極的に人と関わろうとする意識や気持ちを育てる。
- ・様々なコミュニケーション手段の活用を図り、個に応じたコミュニケーション能力を養う。
- ・学校図書館の活用の仕方を工夫し、本に親しむ機会を充実させる。
- ・学習活動において、ICTを効果的に活用する。
- ・市川市特別支援教育推進計画に基づき「市川スマイルプラン」を作成し、一人一人のライフステージを見据え、保護者・学校・関係機関が連携しながら、一貫した支援を行っていく。



○ 教職員の資質能力の向上を図る

- ・特別支援学校の職員として、多様な障害に対応するための専門性と指導力の向上を図る。
- ・市川市全体の特別支援教育を推進する役割を担う教員の育成を目指す。
- ・児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じて学習の目標を明確にし、指導方法の工夫改善を行い、個々の能力の伸長を図る。
- ・一人一授業以上の研究授業を行い、全教職員が自己研鑽に努める体制を作る。

(2) 豊かな心をはぐくむ

○ 人との関わりを重視した教育活動を進める

- ・障害の状態や特性及び発達の段階に応じ、学校の教育活動全体を通じて、豊かな人間関係づくりを行い、コミュニケーション能力の育成を図る。
- ・生徒会を中心とした挨拶運動を実施し、進んで挨拶する子どもを育成する。
- ・校外学習、宿泊学習、その他の体験学習を通じて、いろいろな人と関わる力やいろいろ



な場面に適応する力を育てる。

- ・小・中・高等部の学部間の交流や進路学習，職場体験，産業現場における実習等の学習を通して，一人一人に応じたキャリア教育・職業教育を進める。
- ・地域や近隣の学校との連携を図りながら，子どもたちが地域の一員として活動できるよう，交流及び共同学習を進める。

○ **生きる力の基礎をはぐくむ教育を進める**

- ・学習活動全体を通し生活に結びついた体験を積み重ね，人と関わる力を培い，進んで社会に参加しようとする力を育成する。

○ **道徳心を培う取組を進める**

- ・日常的な関わりの中で，自己や他者を尊重する態度や言葉づかいを身につけ，人権意識をはぐくむ。
- ・障害の状態や特性及び発達の段階に応じ，教育活動全体を通して，学校生活でのルール，公共交通機関や施設の利用時のマナーなどの規範意識をはぐくむ。
- ・動植物を育てる活動や友達と協力して行う活動などを通し，命を大切にする意識や相手を思いやる気持ちをはぐくむ。

○ **読書教育を進める**

- ・読書活動や読み聞かせなどの学習を通し，お話の楽しさ，言葉の面白さを感じ，自ら伝え表現しようとする子どもを育成する。
- ・自由に本に親しめる環境づくりを進める。



○ **教育相談活動の充実を図る**

- ・児童生徒の抱える課題に早期に対応できるよう，児童生徒の様子を丁寧に観察し，その変化に気付けるようにする。
- ・保護者が感じている課題や不安に対し，いつでも相談を受けられる体制を作り，必要に応じて関係機関との連携を図って対応する。

(3) **健やかな体をはぐくむ**

○ **包括的な健康教育を推進する（ヘルシースクール）**

- ・障害の状態や特性及び発達の段階に応じ，体を動かすことの楽しさや喜びを味わうことができるようにするとともに体力の向上を図る。
- ・家庭と協力して基本的な生活リズムを整え，望ましい生活習慣を確立する。
- ・発達の段階に応じ，家庭と協力しながら，望ましい食習慣（「よくかんで味わって食べる」「三食規則正しく食べる」「好き嫌いをなくして食べる」「マナーを守り人と楽しく食べる」等）の形成を図る。
- ・発達の段階に応じ，健康についての教育（手洗い・うがい等を通して体を清潔にすること，病気やけがの予防や手当てについて考えること等）を学校全体で計画的に推進する。



○ **安全な生活を実践する能力と態度を育成する**

- ・安全な生活や行動をとることができるように，個に応じて，危険を予測し，危険を回避

する能力の育成に努める。

(4) 信頼される開かれた学校をつくる

○ 学校評価による学校運営の改善を図る

・評価の精度を高める工夫や、年2回の自己評価の実施による形成的な学校評価によって、継続的で主体的な学校運営の改善に努める。



- ・教職員による自己評価を、重点化した目標設定により、精選して行う。
- ・「保護者アンケート」等を積極的に実施する。
- ・自己評価の結果の公表，学校参観の実施やホームページの更新を含めた積極的な情報提供を行う。

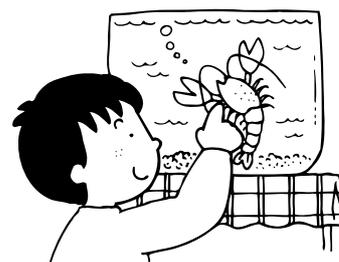
- ・校長は、学校関係者評価を次年度の学校経営にいかすとともに、教職員への周知を図り、次年度の教職員の実践の改善に役立てる。
- ・学校評価の結果を保護者・地域に広く公表することで、説明責任を果たすとともに、学校の取組についての理解・協力を求め、学校・家庭・地域の連携協力の推進を図り、学校を活性化させる。

○ 家庭との連携を図る

- ・学校での学習の内容・成果等を報告し、理解と協力を得ながら、家庭での学習の習慣化を目指す。
- ・「早寝，早起き，朝ごはん」を合言葉に規則正しい生活習慣の確立を図るとともに，個に応じて自立に向けた社会性や規範意識をはぐくむために，個別の指導計画や「市川スマイルプラン」等を活用し，家庭と連携して取り組む体制を整備する。
- ・いじめの早期発見と適切な対応を推進するために，学校・家庭・地域の連携を推進する。

○ 子どもたちの安全・安心を守る

- ・保護者・地域の協力体制の確立を図る。
- ・セーフティスクールプランの趣旨を共通理解し，活用を図る。
- ・非常災害時における保護者との連絡方法を確立し，家庭や地域と連携した避難訓練や防災訓練を行う。



○ 特別支援学校のセンター的機能の充実を図る

- ・地域の小・中・高等学校，幼稚園，保育園等の求めに応じ，教職員への指導支援を行う。
- ・地域の特別支援教育に係る研修会への協力，情報提供など，理解・啓発を図る活動を推進する。
- ・他の特別支援学校や地域の相談支援機関等，他機関との連携を図り，必要な支援を進める。



4 千葉県教育委員会 平成27年度 指導の重点

学習指導全般

- 「自ら学び、思考し、表現する力」の育成
- 指導目標の明確化と指導方法の工夫改善
- 指導と評価の一体化
- 個に応じた指導の一層の充実
- 読書活動の充実
- グローバル化に対応した教育（国際教育の推進）

幼稚園

- 幼児期の発達に応じた教育の充実と小学校教育との接続を踏まえた教育課程の編成・実施
- 幼児一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導と支援の充実
- 教員の資質及び専門性を高めるための研修の充実
- 地域のセンター的な役割を担う園づくりの推進と子育て支援事業の一層の充実
- 園経営の充実及び幼稚園教育理解推進のための情報の公開、評価の実施と結果活用

小学校

国語

- 身に付けさせたい力を考慮した年間指導計画の作成とその活用
- 実態把握を生かした指導計画の工夫と指導と評価の一体化を図る指導の推進
- 教材の特質や指導事項に合致した「単元を貫く言語活動」を位置づけた授業の実践
- 指導事項をより具現化した評価規準の設定と評価力の向上
- 図書館を効果的に活用した授業づくりと、考える力を育む読書活動の充実

社会

- 社会科の基礎・基本の確実な習得を目指す学習指導の工夫と改善
- 言語活動や体験活動を充実させ、児童一人一人の思考力・判断力・表現力の育成を目指した授業づくりと評価の工夫
- 地域や学校の特色を生かした年間指導計画等の改善と活用

算数

- 指導のねらいを明確にし、算数的活動を通して、思考し、表現する力を高め、共に学ぶ活動を重視した指導の工夫
- 児童の実態を踏まえた評価規準及び評価方法の見直しと、評価の活用
- 個に応じた指導の一層の充実（基礎基本の定着を図る指導の工夫改善）

理科

- 確かな学力の育成を目指した指導計画の見直しと改善
- 指導と評価の一体化を図り個に応じた指導方法の工夫・改善
- 問題解決の能力を育成する学習活動の推進

- 理科学習環境の整備・活用と安全指導の徹底

生活科

- 地域や学校の特色を生かした年間指導計画や単元指導計画の活用と改善
- 気付きの質を高めるための具体的な指導の工夫
- 一人一人を的確に見取り，活動の改善につなげる指導と評価の工夫

音楽

- 基礎的・基本的な学習内容の習得を図る指導の工夫
- 一人一人の思いを生かす学習指導と効果的・効率的な評価の工夫
- 調和のとれた指導計画の作成と活用

図画工作

- 各学年の目標を踏まえ，児童の実態や地域の特性を生かした魅力ある授業の創造と教員の指導力向上
- 〔共通事項〕や言語活動の充実を踏まえ，児童が表現・鑑賞することの喜びを味わえる，個に応じた指導方法の工夫と改善
- 児童一人一人の資質や能力を伸ばすことを意識した評価規準の作成と活用

家庭科

- 地域や学校の特色を生かした年間指導計画等の作成と活用
- 題材・指導法及び評価方法の工夫改善
- 安全管理・安全指導の徹底

体育

- 県の各施策の活用
- 正課体育の充実
- 組織的な教科経営
- 保健学習の充実
- 交通事故，健康被害発生時の第一報連絡について

道徳

- 道徳教育推進教師の育成と学校全体で取り組む道徳教育の推進体制の確立
- 道徳教育の諸計画の工夫改善と活用
- 映像教材・『私たちの道徳』の活用と心に響く指導法の工夫改善
- 「道徳の時間」の授業公開の推進と家庭・地域社会との連携

特別活動

- 各教科，道徳，外国語活動及び総合的な学習の時間等との関連を図り，6年間を見通した系統的な全体計画と年間指導計画の作成
- 発達の段階や学級，学校の実態等に即した，自発的・自治的な活動を通して，自主的・実践的な態度を育てる話し合い活動の充実
- 児童の意欲を高め，自主的な活動につながる評価の工夫と活用
- 「豊かな人間関係づくり実践プログラム」の更なる活用の推進

総合的な学習の時間

- 学校としてのねらいや育てたい力を明確にした全体計画と年間指導計画の工夫及び活用
- 探究的な学習及び協同的な取組を踏まえた指導方法の工夫改善と研修の充実
- 学校及び児童の実態から見た育てたい力を明確にした評価規準の作成と評価方法の工夫

- ねらいを共有した学校間や地域との一層の連携による学習活動の推進

外国語活動

- 校内指導体制づくりの充実（全校での取組へ向けて）
- コミュニケーション能力の素地を養う指導の充実
- 評価規準の設定と評価方法の工夫改善
- 小・中及び小・小連携の充実（カリキュラムに関することの連携）



中学校

国語

- 年間指導計画を活用し、生徒の実態に応じて指導の重点を明確化
- 実態把握を生かした指導計画の工夫と指導と評価の一体化を図る指導の推進
- 教材の特質や指導事項に合致した「単元を貫く課題解決的な言語活動」を設定した授業の実践
- 指導事項をより具体化した評価規準の設定と評価力の向上
- 図書館を効果的に活用した授業づくりと、考える力をはぐくむ読書活動の充実

社会

- 社会科の基礎・基本の確実な習得を目指す指導方法の工夫と改善
- 言語活動を充実させ、生徒一人一人の思考力・判断力・表現力の育成を目指した授業づくりと評価の工夫
- 地域や学校の特色を生かし、小中連携を意識した年間指導計画等の改善と活用

数学

- 小学校や学年間の学びの接続を大切にし、数学的活動を通して、思考し、表現する力を高め、共に学ぶ活動を重視した指導の工夫
- ねらいと生徒の実態を踏まえた指導内容への見直しと、評価規準及び評価方法の改善
- 個に応じた指導の一層の充実（基礎基本の定着を図る指導の工夫改善）

理科

- 指導と評価の一体化を図り個に応じた指導方法の工夫・改善
- 科学的に探究する能力を育成し科学を学ぶ意義や有用性を認識できる学習活動の推進
- 理科学習環境の整備・活用と安全指導の徹底

音楽

- 基礎的・基本的な学習内容の習得を図る指導の工夫
- 一人一人の思いを生かす学習指導と効果的・効率的な評価の工夫
- 調和のとれた指導計画の作成と活用

美術

- 各学年の目標を踏まえ、生徒の実態や地域の特性を生かした魅力ある授業の創造
- 〔共通事項〕や言語活動の充実を踏まえ、生徒が表現・鑑賞することの喜びを味わえる、個に応じた指導方法の工夫と改善
- 生徒一人一人の資質や能力を伸ばすことを意識した評価規準の作成と活用

技術・家庭科

- 地域や学校の特色を生かした年間指導計画等の作成と活用
- 題材・指導法及び評価方法の工夫改善
- 安全管理・安全指導の徹底

保健体育

- 県の各施策の活用
- 正課体育の充実
- 組織的な教科経営
- 保健学習の充実
- 交通事故，健康被害発生時の第一報連絡について

道徳

- 道徳教育推進教師の育成と学校全体で取り組む道徳教育の推進体制の確立
- 道徳教育の諸計画の工夫改善と活用
- 映像教材・『私たちの道徳』の活用と心に響く指導法の工夫改善
- 「道徳の時間」の授業公開の推進と家庭・地域社会との連携

特別活動

- 各教科，道徳，総合的な学習の時間等との関連を図り，3年間を見通した系統的な全体計画と年間指導計画の作成
- 学級や学校の実態に即した，自発的・自治的な活動を通して，自主的・実践的な態度を育てる話し合い活動の充実
- 生徒の意欲を高め，自主的な活動につながる評価の工夫と活用
- 「豊かな人間関係づくり実践プログラム」の更なる活用の推進

総合的な学習の時間

- 学校で定める目標や育てようとする資質・能力及び態度を明確にした全体計画に基づく年間指導計画の工夫及び活用
- 学校行事や特別活動との違いや関連を明確にし，探究的な学習及び協同的な取組を意識した指導方法の工夫改善と研修の充実
- 学校及び生徒の実態から見た育てたい力を明確にした評価規準の作成と評価方法の工夫
- ねらいを共有した学校間や地域との一層の連携による学習活動の推進

外国語

- 知識・技能の活用を図る言語活動の充実
- 授業の充実，学習支援を図るための指導，評価計画の工夫改善
- 教員の指導力及び英語力の向上を図る研修の充実について
- 小・中の連携の充実と高校への接続を視野に入れた授業改善（指導・評価に関することの連携）



共通

特別支援教育

- すべての教職員の特別支援教育に関する理解の深化と指導力の向上
- インクルーシブ教育システムの構築に向けた取組の推進
- 保護者・関係者と連携した総合的な支援体制の整備
- 相互の学びと理解を醸成する交流及び共同学習の推進

生徒指導

生徒指導の基本方針

- いじめやネット上の問題行動等に対応できる組織的な生徒指導体制の確立
- 発達の段階に即した確かな児童生徒理解と教育相談の一層の充実
- 生徒指導の機能を重視したわかる授業の展開
- 児童生徒を取り巻く課題解決に向け、家庭、地域、関係機関及び学校間の更なる連携を推進



第3章	生涯学習	65
第1節	生涯学習の推進.....	67
1	生涯学習の推進	
2	市民協働による生涯学習	
第2節	家庭・学校・地域連携の推進.....	69
1	コミュニティサポート	
2	学校支援実践講座	
3	コミュニティクラブの推進	
4	体験事業の推進	
第3節	学校施設の開放.....	73
1	ねらい	
2	概要	
3	利用状況	
第4節	青少年の健全育成の推進.....	74
1	青少年健全育成活動の推進と非行防止への取り組み	
2	青少年育成団体の支援と育成	
3	自主活動・社会参加の促進	
4	良好な環境づくり	
第5節	文化財の保護と活用.....	82

第3章 生涯学習

第1節 生涯学習の推進

1. 生涯学習の推進

グローバル化、少子高齢化へと社会が急激に変化する中、我が国は今、知識基盤社会（新しい知識・情報・技術が政治・経済・文化をはじめ社会のあらゆる領域での活動の基盤として飛躍的に重要性を増す社会）への対応が求められている。

そのためには、市民一人ひとりが、生涯にわたって能動的に学び続け、その成果を地域コミュニティに生かしていくことのできる生涯学習社会の実現が必要である。

市川市では、平成26年度に第四次市川市生涯学習推進計画を策定し、平成27年からの5年間の重点課題として、「多様化・高度化する学習ニーズへの対応」「学び合い、支え合い、高め合う環境づくり」の2点を新たに設定した。この推進計画を基に、今年度は、地域コミュニティに関わる社会関係資本の連携協力を推進するとともに、学んだ成果を地域社会に還元することができ、生きがいを持って社会・地域に貢献できるような体制づくり（家庭・学校・地域活動の支援）に取り組む。

2. 市民協働による生涯学習

市民が生涯学習活動をとおして、自主的に活動する力を身につけることで、市川市が抱える、さまざまな諸課題を協働により解決できるように、市民、学校、高等教育機関、行政等との連携による学習や活動を支援し推進します。

(1) 家庭教育学級

家族や家庭を取り巻く環境の変化の中で、子どもの健やかな成長のため、子育てに関する諸問題を、一年間計画的・継続的に学習し、家庭の役割とその重要性について学習する機会を提供する。

市立幼稚園・小中学校・須和田の丘支援学校に62学級を開設し、各学級生が以下の講座運営に主体的に取り組む。

- ①「自主企画による講座」を年間2回実施する。
- ②家庭教育指導員を講師とする「指導員派遣講座」を、各学級年間1回実施し、文部科学省・千

葉県教育委員会からの情報提供を含み、「家庭教育充実のための啓発活動」を浸透させる。
③千葉県葛南教育事務所・市川市・市川市教育委員会等が行う「子育て」や「親子のコミュニケーション」に関連する講演会等に、学級生が個人単位で自由に参加できる「共通講座」（社会教育課が設定）を紹介し、幅広い学習機会を提供する。

(2) 団体活動等

○市川市PTA連絡協議会（会長：立原充彦）

市立小中特別支援学校のPTAと連携し、「時代やニーズに応じたPTA活動」に関する情報交換・研修等を行うとともに、会員の厚生に関する事業を展開している。

○市川善行会（会長：北川善樹）

善行精神の普及を通じて、社会の福祉に貢献することを目的とする活動を行う。

○市川市婦人団体連絡協議会（会長：篠田美咲子）

地域婦人団体4団体をもって構成し、研修や社会福祉活動を展開している。

(3) いちかわ市民アカデミー講座

市内にある昭和学院短期大学・和洋女子大学・千葉商科大学の協力を得て、各大学の持つ専門的かつ高度な機能や施設と恵まれた環境の中で、新しい知識を習得し広く仲間づくりを図るとともに、学習の成果を地域活動の中に活かし、市川市における地域社会づくりの構築に資することを目的としている。

【平成27年度】

コース名	定員	学習テーマ
昭和学院短期大学コース	70名	心豊かに生きる ー不易と流行ー
和洋女子大学コース	70名	和のかたち
千葉商科大学コース	70名	ヨーロッパの時空をめぐる旅 ーヨーロッパの歴史と文化ー

※学習期間 平成27年6月～平成28年2月

第3章 生涯学習

(4) 成人式

成人の日を期して、新たな成人の前途を祝福し、市川市文化会館において、式典及び催しを開催する。なお、平成9年度の成人式から実行委員会方式をとっている。

【平成26年度実績】(平成27年1月11日開催)

対象	平成6年4月2日～平成7年4月1日生
対象者	4,291名
出席者	2,446名(57.0%)
記念品	朱肉

第2節 家庭・学校・地域の連携推進

1. コミュニティサポート

(1) ねらい

★児童生徒の安全と社会体験・生活体験の充実を地域から支援する体制の強化

★学校を核とした地域振興・コミュニティの活性化…その実現のため「家庭・学校・地域および行政が行う各事業の連携」を推進する。

(2) 「コミュニティサポート推進委員会」

学校（家庭教育）支援および地域振興事業を行う行政関係者・地域コミュニティの活性化に取り組む市民団体・各校コミュニティサポート委員会等の連携を推進するため、情報提供を行い、各校委員会が「主体的に地域の課題に取り組む、その体制強化を行政が支援する」環境を整備する。

(3) 「コミュニティサポート委員会」

市内小中学校54校に設置し、地域の特性を活かした「家庭・学校・地域・行政の連携」を推進するための意見交換に取り組む。家庭・学校・地域のつながりを大切にしたい学校運営のビジョンを明確にするとともに、地域の教育力を生かした、特色ある学校づくりを推進する。

(4) 「学校支援コーディネーター」

学校支援コーディネーターを委嘱・育成し、地域支援者による学校支援活動を活性化させる。

2. 学校支援実践講座

(1) ねらい

★地域コミュニティの活性化

・教育委員会が行う人権啓発事業に対する市民の参加意欲を高めるとともに、それが参加者の自己啓発に留まることなく、地域（教育）力の向上へと確実につながるシステムを構築する。

・地域支援者による学校支援活動が効果的に行われるための環境を整える。

★深刻な「いじめ」の未然防止

・「児童生徒が次々に被害者になり加害者になる状況を改善し、深刻な“いじめ”を未然に防止するための取り組みが必要である」との認識に基づき、各学校における「いじめ防止活動」を支援する。

・生活体験や社会体験が乏しくなっている児童生徒に対し、地域人材との関わりを通して、この問題を考える機会を子どもたちに提供する。

(2) 事業内容

市民を対象として、学校における「いじめ問題」をテーマとした社会人権講座（年間5回）を行う。受講者は「地域支援者」として小中学生との交流会（1学級に対し6名派遣）に参加し、この問題について、本市が独自に開発した学習プログラムに基づき児童・生徒と意見交換を行う。その取り組みを通じ、「学校支援」と「いじめの未然防止」を図る。

具体的には、子どもたちが、①「自分には関係ない」②「いじめられている子にも問題がある」③「大人に相談することは卑怯だ」④「いじめいけない事は分かっているけど、どうしたら良いか分からない」⑤「いじめなんて、なくなならない（なくせない）」という考えに流され、寛容になることが難しくなってしまうよう、①「お互いに多様な意見を自由に言い合える場を設定する」②「交流会実施後も、継続的にこの問題について学級内で話し合いが行える環境を維持する」③「互いに異なる視点や考えがあることを知り、それを承認しあえるよう、より多くの大人たちが、子ども同士の積極的な意見交換をサポートする」学習機会を提供する。

3. コミュニティクラブの推進

(1) ねらい

地域が中心となり「みんなで子どもたちを、みんなでボランティア」を合言葉に、地域教育力を高めながら、子どもたちに自主性・社会性・創造性等のいわゆる「生きる力」を培わせることを目的とし、併せて子どもたちの成長を支えるコミュニティづくりをねらいとしている。

また、子どもたちのためのボランティア活動を通して、地域の方々の生涯学習意識の高揚や、ボランティア意識の醸成を図りながら生涯学習社会の構築をめざしている。

(2) 活動内容

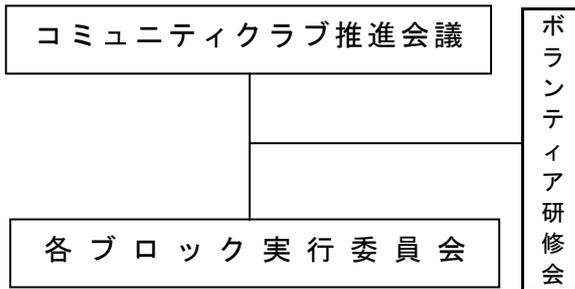
ボランティアで組織された16の実行委員会（各16中学校区）が中心となり、それぞれの地域性を活かしながら「遊び」を通して、子どもたちが主体的に関われる体験的活動、スポーツ・レクリエーション的活動、文化芸術的活動や豊かな対人関係を築いていくための異年齢交流・世代間交流が図れる活動を実施していく。

- ①活動計画：各ブロック実行委員会で決定
（ボランティアの意向・子どもたちの要望）
- ②実施：ボランティア、子どもたち、当日の協力者等による
- ③実績（平成26年度）
活動回数：751回
参加者数：子ども 25,278名
（延べ人数）大人 9,183名
ボランティア 4,917名
合計 39,378名
- ④予算：一般配分として1ブロック 40万円の委託料。
特別配分として、次の4項目のいずれかに該当する活動
 - ・年度途中で新たに計画された活動
 - ・ブロックとして、より深く積極的に推進したい活動
 - ・地域の諸団体と連携・協力をする活動
 - ・市内全域対象活動や近隣ブロック連携活動

【主な活動】

	継続活動・自由遊び	イベント型活動
スポ・レク活動	スポーツ教室	親子ドッジボール大会
	プレーパーク	卓球教室
	グラウンドゴルフ	ヒップホップ体験
	スポンジテニス教室	寺社散策
		宿泊体験
	早春あそび塾	地域運動会
	自由遊び広場・教室	ウォークラリー
		お化けやしき
		デイキャンプ
		親子ハイキング
文化的活動	囲碁・将棋教室	料理教室
	和太鼓教室	地域文化祭
	ビーズ教室	琴体験教室
	フラワーアレンジメント教室	天体観望会
	読み聞かせ活動	生け花教室
	陶芸教室	スケッチ大会
	マジック教室	茶道教室
	メロディベル	クリーングリーンマイタウン
	生け花教室	凧づくり&凧あげ大会
	和紙工芸教室	クラフト教室
	ダンスよさこい	お正月作り
	農作業体験教室	もちつき大会
	人形劇	炭焼き体験
	茶道教室	科学教室

(3) 組織



- ①推進会議：ブロックの代表者による会議で、各ブロックの活動に関する情報交換、意見交換及び課題等を協議する。
- ②実行委員会：ボランティアにより構成され、活動を企画・運営する。小・中・高・大学生の参加もある。(実行委員会の中に子ども部を設置しているブロックもある)
- ③ボランティア研修会：ボランティアの資質・技能を高めるための研修会。



(4) 成果と課題

①子どもたちの成長

コミュニティクラブの活動により、子どもたちの社会性・協調性などが様々な体験活動により培われ、『生きる力』が育まれている。また、ボランティアとして関わっている中学生・高校生には、企画・運営することにより創造性やリーダー性が育っている。

②新しい人間関係の構築

異年齢・異世代の交流や、より広い地域での活動を通して、子どもたちの人間関係に広がりが見られ、豊かな交流が成されてきている。

③新たなコミュニティの広がり

コミュニティクラブの活動に対して、地域での協力者が増えている。

ボランティアの意識も、少しずつコミュニティづくりを意識したものに变化してきている。

また、子ども会、自治会等の団体との連携・協力は、地域活動を推進していく上で不可欠なことであり、家庭、学校とを含め、子どもを中

心においた連携・協力システムであるコミュニティサポートの一員としてさらに積極的に参加する必要がある。

④中学生以上の子どもの参画

異年齢交流が大切なことから、ボランティアとして、また、活動のリーダーとして中学生以上の子どもの参画を、活動内容の工夫や広報活動を通し促進していきたいと考えている。

また、近隣の大学からの申し出により、コミュニティクラブの情報提供を行っており、興味のある大学生が当日のボランティアとして参加している。このようにさまざまな形での連携・協力をすすめることも必要と考えている。

(5) 今後に向けて

①継続活動の充実

- ・ボランティアや地域の方の特技を生かした「〇〇教室型活動」の充実を図る。
- ・子どもたちの活動ニーズに応えた「サークル型活動」の充実を図る。

②「自由遊びの場」づくりの推進

- ・集まった子どもたちで遊びを決めて自由に遊べる場を多く設定していく。

③イベント型活動の精選と充実。

- ・地域で大勢の方が協力し合う協働型活動、年中行事的な活動、季節感に富んだ活動。
- ・子どもたち自身が企画や運営を行う活動、活躍できる場の活動。

④中学生、高校生、大学生が主体的に関われる活動の推進。

- ・中学生、高校生、大学生が企画・運営に関わる活動の推進。
- ・中学生、高校生、大学生が参加に興味を示す活動の推進。



4. 体験事業の推進

1 ねらい

子どもたちの心の成長には、地域での豊かな体験が不可欠であり、異年齢による社会体験・自然体験という共同作業を通し、社会を経験し自然の中で汗を流すことは、友人関係の希薄な子どもたちにとって大変有意義なことである。

平成13年度から稲作体験、平成17年度から農業体験を通して、自然や人とのふれあい、勤労と収穫の喜びを体験させることにより、心豊かな子どもたちを育てることを目的とし、心に残るものをひとつでも見つけられる体験として、この事業を実施している。

2 稲作体験活動

市川市大野町4丁目、県立市川大野高等学園北側の「小川再生親子ふれあい農園」内の水田において、児童・生徒及びその保護者に稲作を体験させる。実際の米作りの指導と助言のため、「市川米っ人くらぶ」に事業委託している。

【26年度】

- 田の位置 大野町4丁目
- 田の耕作面積 2,640 m²
- 収穫量 965 kg
- 参加者 131名
- 予算 80万円



子ども水田の稲刈り風景

26年度 稲作体験活動の記録

日付	内容
4月12日	参加者説明会
4月26日	代かき
5月10日	田植え
5月25日	補植
6月14日	田草取り
7月12日	田草取り
7月26日	防鳥ネット張り
8月9日	案山子作り
8月23日	おだ作り
9月6日	稲刈り①
9月13日	稲刈り② 脱穀①
9月20日	脱穀②
11月8日	収穫感謝祭

3 農業体験活動

稲作体験と同様に小川再生親子ふれあい農園において、自然とのふれあいや作物の生長に関わり、勤労と収穫の喜びを体験する。指導・助言のため特定非営利活動法人「寺子屋」に事業委託している。

【26年度】

- 農園の位置 大野町4丁目
- 農園の耕作面積 3,161 m²
- 生産物 ジャガイモ、トマト、トウモロコシ、大根、白菜、サツマイモ、コスモス等
- 予算 54万円

26年度 農業体験活動の記録

活動月	内容
4月～5月	サツマイモ・トマト・ゴーヤ ・トウモロコシ等の定植
6月～7月	草取り、コスモス種まき、 ジャガイモ・枝豆等収穫
8月	草取り、耕運、トウモロコシ等収穫
9月	大根、白菜等の種まき
10月～12月	さつまいも、大根等収穫
1月～3月	草取り、耕運、白菜・ねぎ等収穫

第3節 学校施設の開放

1 ねらい

学校施設の開放により、スポーツ及び文化活動の振興を図り、地域住民の生涯学習意識の高揚を図ることを目的とする。

2 概要

本市には、小学校39校、中学校16校、特別支援学校1校の計56校があり、学校教育活動に支障のない範囲で学校を開放している。

また、夜間照明は小学校28校、中学校2校の計30校に設置している。

平成27年度当初、施設開放委員会に登録されている団体は668団体で、登録者数については19,751人に及んでいる。

利用されている施設は、運動場や体育館のほか、会議室、音楽室などがある。

また、学校施設開放の一環として夏季休校期間中のうち、学校教育に支障の無い期間で開放日時を設定し、市民に小学校プールの開放も行っている。

3 利用状況

平成26年度 学校施設開放利用状況

運動場		体育館等		プール		計	
利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数
15,447回	878,400人	30,636回	753,586人	160回	6,738人	46,243回	1,638,724人

【主な活動内容】

	活動内容
運動場	サッカー、野球、フットベースボール、ソフトボール等の練習や試合
体育館	卓球、バレーボール、バスケットボール、バドミントン、ソフトバレーボール、インディアカ、体操、剣道、空手等の練習や試合
教室	コーラス、読書サークル、華道、手芸、ダンス、吹奏楽等

第4節 青少年の健全育成の推進

1. 青少年健全育成活動の推進と非行防止への取り組み

(1) ねらい

青少年問題の複雑化・多様化という状況にあつて、豊かな心とたくましい体を持った青少年を育成することは、大人の責務と考えられる。学校・家庭・保護者が一体となり、相互に連絡

を取り合う中で地域の実態に合わせて青少年健全育成活動と非行防止活動に取り組むことで、本市の青少年の健全な育成を図ることを目的とする。

(2) 少年健全育成連絡協議会

平成26年度 各健全育成連絡協議会の活動状況

(単位：人)

協議会名称	会員数	主な活動内容
第一中学校ブロック少年健全育成連絡協議会	48	・パトロール活動 ・路面シート作製、配布
二中ブロック少年健全育成連絡協議会	32	・パトロール活動 ・子どもマップ作製・配布
三中ブロック少年健全育成連絡協議会	67	・パトロール活動 ・標語募集 ・挨拶運動 ・地域行事への参加
四中ブロック少年健全育成連絡協議会	55	・パトロール活動 ・あいさつ運動 ・薬物乱用防止教室 ・1000ヶ所ミニ集会
第五中学校ブロック少年健全育成連絡協議会	33	・パトロール活動 ・花いっぱい運動 ・標語ポスターコンクール ・危険箇所点検
第六中学校区青少年健全育成連絡協議会	67	・パトロール活動 ・花いっぱい運動 ・地域行事への参加
行徳地区教育協議会（第七中・妙典中）	291	・パトロール活動 ・講演会 ・クリーングリーン作戦 ・標語ポスター
第八中学校ブロック健全育成会	31	・パトロール活動 ・標語コンクール ・地域行事への参加
下貝塚中学校ブロック少年健全育成連絡会	83	・パトロール活動 ・安全マップ作製
高谷中ブロック青少年健全育成会	32	・パトロール活動 ・花いっぱい運動 ・学区内危険箇所点検 ・地域行事への参加
福栄中学校区少年健全育成連絡協議会	81	・パトロール活動 ・挨拶運動 ・ブロック連絡会
東国分中学校区少年健全育成連絡協議会	65	・パトロール活動 ・安全マップ更新 ・花いっぱい運動
大洲中ブロック少年健全育成連絡協議会	43	・パトロール活動・あいさつポスター ・クリーングリーンマイタウン ・イエローリボンキャンペーン活動
塩浜中学校区青少年健全育成連絡協議会	44	・パトロール活動 ・標語募集 ・カレンダー作製
南行徳中学校区少年健全育成連絡協議会	43	・パトロール活動 ・標語コンクール

(3) 少年センター

① 設置の趣旨

少年センターは、小学校就学の始期から20歳に達するまでの少年の非行防止と、その健全な育成を図るために、街頭補導・少年相談・少年を取り巻く環境の浄化活動及び啓発活動を、市川市少年補導員の協力と関係諸機関との連携を図りつつ推進している。

② 主な事業

ア. 街頭補導

(少年非行の早期発見と専門機関への連絡)

教育委員会から委嘱された少年補導員や、警察の少年補導専門員とともに少年の非行防止のために補導活動や環境浄化活動を行っている。

設置年月日 昭和43年4月1日
所在地 市川市鬼高1-1-4

平成26年度 街頭補導実施状況 (単位：人)

実施区分	回数	従事 延人数	計画補導 延人数	地区補導 延人数	補導 少年数
午前（10:00～）	61	291	20	271	2
午後（14:00～）	136	769	68	701	81
薄暮（16:00～）	134	755	263	492	24
夜間（19:00～）	94	570	250	320	231
合計	425	2,385	601	1,784	338

※ 少年補導員…2,259人 警察関係者…33人 教員…15人 少年センター職員…78人

平成26年度 補導少年行為・学職別状況 (単位：人)

	児童・生徒・学生								その他		計		合計
	小学生		中学生		高校生		その他		有無職者				
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
喫煙			3		13		1				17	0	17
怠学											0	0	0
飲酒					3						3	0	3
ゲームセンター出入り											0	0	0
危険な遊び	24	2	2								26	2	28
自転車二人乗り		4	20	6	19	15					39	25	64
自転車危険走行	46	20	64	21	23	10				1	133	52	185
その他	15	10	4	10	2						21	20	41
合計	85	36	93	37	60	25	1	0	0	1	239	99	338

過去5年間の補導少年数の推移 (単位：人)

平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
372	350	303	313	338

イ. 少年相談（少年に関する相談活動、電話相談・eメール相談・面接相談）

市内の少年（小学校就学の始期から20歳に達するまで）や、その保護者からの悩みに対して支援を行うとともに、必要に応じて専門機関へも紹介している。

平成26年度 電話相談状況

(単位：件)

学職別	少年						成人						合計	総計								
	小学生	中学生	高校生	その 他の 大学生	有職・ 無職	小計	保護者	一般 成人	小計	合計												
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女			不明							
少年に関する相談	交友	1		3			0	4	5		0	5	0	9	0	9						
	いじめ	2					0	2	12		0	12	0	14	0	14						
	学業						0	0	19		0	19	0	19	0	19						
	性		2	1			3	0	3		0	3	3	3	0	6						
	異性				1		1	0	1		0	1	1	1	0	2						
	健康		5	5	1	3		6	8	45	2	4	2	49	8	57	0	65				
	家庭生活							0	0	3	82	6		9	82	9	82	0	91			
	学校生活		2	4	1			2	5	1	31	2	1	3	32	5	37	0	42			
	虐待		2					2	0	2		2	0	4	2	4	0	6				
	しつけ							0	0	1	50			1	50	1	50	0	51			
	不登校				1			0	1	10	15	2	2	12	17	12	18	0	30			
	非行							0	0	3	6	1	1	4	7	4	7	0	11			
	進路							0	0		18	1	1	1	19	1	19	0	20			
	仕事				1			0	1	1		2	0	3	0	4	0	4				
その他		1	2	1			2	3	3	27	3	4	6	31	8	34	20	62				
保護者に関する相談	対人関係						0	0	45		1	0	46	0	46	0	46					
	健康						0	0	2	112	23		25	112	25	112	0	137				
	家庭生活						0	0		149			0	149	0	149	0	149				
	仕事						0	0		3	1		1	3	1	3	0	4				
	その他						0	0	1	6		1	1	7	1	7	0	8				
合計	0	3	12	11	3	9	1	0	0	1	16	24	24	632	41	19	65	651	81	675	20	776
	3		23		12		1		1		40		656		60		716					

過去5年間の電話相談件数の推移

(単位：件)

平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
1,850	1,781	2,063	1,012	776

平成26年度 eメール相談状況 (単位：件)

	交友	いじめ	学業	性	異性	健康	家庭生活	学校生活	虐待	しつけ	不登校	非行	進路	仕事	その他	総計
合計	40	6	1	0	2	35	42	19	5	4	24	23	7	0	4	212

過去5年間のeメール相談件数の推移 (単位：件)

平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
848	638	314	273	212

平成26年度 面接相談状況 (単位：件)

	交友	いじめ	学業	性	異性	健康	家庭生活	学校生活	虐待	しつけ	不登校	非行	進路	仕事	その他	総計
合計	2	1	0	0	0	84	80	8	4	27	37	3	32	0	26	304

過去5年間の面接相談件数の推移 (単位：件)

平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
130	301	216	274	304

ウ. 少年を取りまく環境の浄化・啓発活動

- a) 少年のたまり場調査等の実施。
- b) 各地区の少年健全育成連絡協議会活動への支援。
- c) 市川市明るい環境をつくる会推進会議の開催。
- d) 薬物乱用防止キャンペーンの開催に学生ボランティアの参加。
- e) 市内小・中・高校への万引き防止リーフレットの配布。
- f) 少年のインターネットトラブルに関する啓発活動。

2. 青少年育成団体の支援と育成

(1) ねらい

地域社会に対し、青少年育成等の意義についての理解を深めるよう啓発活動を行う。そのため、各育成団体が自らの力で自主運営できるように指導していく。

又、青少年自身の自覚を促し、積極的に地域社会に参加するよう呼びかけていく。そのことによって、関連事業を関係機関、関係団体等の協力を得ながら計画的に推進していくことを目的とする。

(2) 推進目標と重点施策

団体補助と団体育成

- ・市川市子ども会育成会連絡協議会
- ・市川市青少年相談員連絡協議会
- ・青少年育成団体等への活動支援
- ・青少年研修バスの利用促進
- ・育成団体への指導

3. 自主活動・社会参加の促進

(1) 事業概要

①青少年指導者育成事業

【わんぱくセミナー】

目的・内容		
異年齢集団による遊びや自然体験を通して、基本的な生活力や創造力を養う。 また、たくさんの友達と交流する中で、集団における自分の役割を体験的に学ぶ。 キャンプ・レクリエーションゲーム・工作など、体験型の講習を実施している。		
対象	実施回数	26年度参加数
小学生	年間 5回 (内宿泊1回)	82人

【わんぱくセミナー 冒険キャンプ】



【みんなでテント張り】

【ジュニアリーダー講習会】

目的・内容		
集団活動を通して、リーダーシップ力及びメンバーシップ力を高める。 また、様々な体験を通して、中学生としての資質の向上を図る。 野外活動を中心にグループワークを行い、仲間との協力や集団における役割を体験的に学ぶ講習を実施している。		
対象	実施回数	26年度参加数
中学生	年間 7回 (内宿泊2回)	54人

【ジュニアリーダー講習会・ヤングカルチャースクール
合同トレーニングキャンプ】



【ロープワーク実習】

【ヤングカルチャースクール】

目的・内容		
<p>様々な体験を通して知識や技術を習得し、青少年リーダーとしての資質向上を図る。 また、指導する体験を通して、リーダーシップ力を高める。 野外活動を中心に、小学生や中学生の指導的役割を担い、指導する力を体験的に養える講習を実施している。</p>		
対象	実施回数	26年度参加数
高校生	年間 7回 (内宿泊3回)	21名

【グループリーダーアカデミー】



【ひと裁ち折り紙ワークショップ】

【グループリーダーアカデミー】

目的・内容		
<p>子どもの育成者としての資質向上をねらいとし、レクリエーション実技のスキルアップを目指す。 また、参加者同士の交流と情報交換を図る。 レクリエーションゲームや歌あそび、クラフトなど様々なあそびを紹介している。</p>		
対象	実施回数	26年度参加数
18歳以上 高校生除く	年間 5回	55名

【青少年相談員いちかわこども村】



【カレーライス作り】

②青少年団体育成事業

【青少年相談員連絡協議会】

目的・内容		
<p>千葉県知事と市川市教育委員会より委嘱され、スポーツ、野外活動等を通じた体験学習等の促進を図り、社会環境浄化の推進を行うことで、青少年健全育成の担い手とし各地域の指導者として活動している。</p>		
対象	実施及び支援事業	26年度相談員数
青少年相談員 20歳以上 55歳以下	<ul style="list-style-type: none"> 連絡協議会事業 地区事業 子ども村キャンプ 機関紙発行 	175名

【子ども会育成会連絡協議会】

目的・内容		
<p>市内の子ども会の健全な活動と発展を図り未来を担う青少年の健全育成を推進する。 子ども会の各種行事を支援するとともに、育成会会員の研鑽に関する指導を支援する。</p>		
対象	実施及び支援事業	26年度会員数
子ども会員： 幼児～高校生 育成会員： 大学生以上	<ul style="list-style-type: none"> はぜ釣り大会 ファミリーイベント 指導者育成講座 機関紙発行 貸出備品講習会 	子ども会員数 3,646名 育成会員数 2,678名

4. 良好な環境づくり

(1) 放課後保育クラブ

①概要

放課後保育クラブは、保護者等が就労等により昼間家庭にいない小学生の放課後等において、家庭にかわる適切な遊び及び生活の場を提供し、その健全な育成を図ることを目的として運営している。現在、市内46カ所に保育クラブを開設しており、平成27年4月末日現在3,778人の児童が入所している。

②対象

小学校に就学している児童。

③開所時間

平日は、下校時から午後6時30分まで。学校休業日（土曜日、夏休み等）は午前8時から午後6時30分まで。

④費用

- ア. 保育料 児童1人当たり月額8,000円。
(同一世帯で2人以上利用する場合は、2人目から4,000円。)
- イ. おやつ代 月額2,000円

⑤開設場所

下表のとおり。

〔放課後保育クラブ開設場所一覧〕

開設場所	所在地	開設場所	所在地
市川小	市川2-32-5	新浜小	行徳駅前4-5-1
真間小	真間4-1-1	百合台小	曾谷6-10-1
中山小	中山1-1-5	富美浜小	南行徳2-3-1
八幡小	八幡3-24-1	柏井小	柏井町1-1149-1
国分小	東国分2-4-1	大洲小	大洲4-18-1
大柏小	大野町2-1877	幸小	幸1-11-1
宮田小	新田4-8-15	新井小	新井1-18-13
富貴島小	八幡6-10-11	南新浜小	新浜1-26-1
若宮小	若宮3-54-10	大野小	南大野1-42-1
国府台小	国府台5-25-4	塩焼小	塩焼5-9-8
平田小	平田3-28-1	稲越小	稲越町518-2
鬼高小	鬼高2-13-5	塩浜小	塩浜4-5-1
菅野小	菅野6-14-1	大和田小	大和田1-2-6
行徳小	富浜1-1-40	福栄小	南行徳2-2-1
信篤小	原木2-16-1	妙典小	妙典2-14-2
南行徳小	欠真間1-6-38	妙典 (プレハブ)	妙典2-11-13
稲荷木	稲荷木1-14-1	幸公民館	幸1-16-18
鶴指小	大和田4-11-1	南行徳 公民館	相之川1-3-7
宮久保小	宮久保5-7-1	本行徳 公民館	本行徳12-8
二俣小	二俣678	富美浜地域 ふれあい館	欠真間2-31-5
中国分小	中国分1-22-1	香取地域 ふれあい館	香取2-19-1
曾谷小	曾谷7-18-1	行徳地域 ふれあい館	富浜2-5-19
大町小	大町84-10		
北方小	北方町4-1356-1		

【勉強の時間】



【楽しいおやつ時間】



(2) 子どもの居場所づくり（ビーイング）

①ねらい

学校の施設等を活用し、放課後等における子どもの居場所をつくり、地域の人々とのふれあいや異年齢間の交流による豊かな生活体験の機会を提供することで、子どもの生きる力、創造性豊かな心及び共感する心を養い、児童生徒の健全な育成を図っている。

この事業は、平成14年4月開室の曾谷小学校に始まり、現在、市内9ヶ所で開室し、平成26年度は、1日平均で約18名、延べ利用者45,334名の児童生徒が利用している。

②対 象

小学生から高校生まで。放課後は、帰宅してから利用できる。

③開室時間

平日午後2時30分から午後5時30分まで。

但し、学校休業日（土曜日、夏休み等）は午前10時から午後5時30分まで。

④開室場所

下表のとおり

〔ビーイング開室場所一覧〕

開室場所 (開設年月)	所在地
曾 谷 小 (平成14年4月)	曾谷7-18-1
塩 浜 小 (平成15年3月)	塩浜4-5-1
鶴 指 小 (平成15年3月)	大和田4-11-1
市 川 小 (平成15年3月)	市川2-32-5
宮 田 小 (平成15年6月)	新田4-8-15
八 幡 小 (平成16年10月)	八幡3-24-1
稲 荷 木 小 (平成17年9月)	稲荷木1-14-1
平 田 地 域 ふれあい館 (平成18年11月)	平田2-16-7
富 美 浜 小 (平成21年9月)	南行徳2-3-1

活動の様子① 【みんなで仲良く】



活動の様子② 【お楽しみ会】



第5節 文化財の保護と活用

本市には、先人によって古くから残された歴史的な文化財も数多く存在する。文化財は郷土の歴史を伝え、また一度失われたら二度と元に戻せない貴重な国民的財産である。

本市は、文化財の調査、指定の拡充と修理等における補助、史跡の環境整備、博物館等の郷土理解のための施設などを通じて、文化財の保護と活用の推進に努めている。

<文化財の保護・活用例>



「常夜灯公園内に設置された常夜灯」



「国登録有形文化財に指定された旧浅子神輿店店舗兼主屋」

第4章 教育機関	83
1 市川市生涯学習センター（メディアパーク市川）.....	85
2 市川市教育センター.....	87
3 市川市立図書館.....	89
4 市川市公民館.....	96
5 市川考古博物館.....	98
6 市川歴史博物館.....	100
7 市川自然博物館.....	102
8 市川市少年自然の家.....	104

1. 市川市生涯学習センター

(メディアパーク市川)

〒272-0015 市川市鬼高1-1-4 (中央図書館)

TEL 047-320-3346(代表) FAX 320-3351



特色

市川市生涯学習センター（メディアパーク市川）は、市制施行60周年に合わせ平成6年11月、市民の生涯学習を支援する拠点として開館した。

本センターは、視聴覚資料・点字図書・大活字本など75万点を備えた「中央図書館」、グリーンスタジオ・ベルホール・資料室等を備えた文学と映像を活動の基盤とする「文学ミュージアム」、教育相談や研修が行われる「教育センター」、子ども達が遊びを通して感性や創造力を育てていく「中央こども館」、青少年の健全育成のための補導活動や少年相談業務を行う「少年センター」がある。

「読む」「見る」「聞く」「学ぶ」「遊ぶ」が一箇所のできる、新しいタイプの生涯学習施設である。

沿革

- S 63年 4月 中央図書館等複合施設建設検討会設置
- 63年 7月 ワーキンググループ設置（基本計画案検討）
- 63年10月 中央図書館等生涯教育センター建設準備委員会設置
「仮称メディアパーク市川建設基本計画」策定
- 63年11月 用地取得

H元年 7月 「仮称メディアパーク市川建築計画書」策定

元年10月 競技設計実施

2年 7月 基本設計完了

3年 3月 実施設計完了

3年12月 着工

6年 6月 竣工

6年11月 メディアパーク市川開館

利用

○開館時間

・中央図書館

火曜日～金曜日 10:00～19:30

土・日曜日・祝日 10:00～18:00

・こどもとしょかん

火曜日～金曜日 10:00～18:00

土・日曜日・祝日 10:00～17:00

・中央こども館

火曜日～金曜日 10:00～18:00

土・日曜日・祝日 10:00～17:00

・文学ミュージアム

火曜日～金曜日 10:00～19:30

土・日曜日・祝日 10:00～18:00

・文学ミュージアム資料室

火～日曜日・祝日 10:00～17:00

・教育センター

研修班：月曜日～金曜日 10:00～17:00

相談班：火曜日～土曜日 9:00～17:00

・少年センター

電話相談：月曜日～金曜日 9:00～17:00

(木曜日のみ) 9:00～19:00

面接相談：月曜日～金曜日 9:00～17:00

eメール相談：24時間

○休館日（各館共通）

・月曜日

・年末年始（12/28～1/4）

・館内整理日（土・日を除いた月末）

施設

1. 概要

敷地面積 11,012㎡ 構造 鉄骨鉄筋コンクリート造(地下1階、地上3階 一部4階建)
 建築面積 6,164㎡ 延床面積 19,648㎡ 総工費 125億 1,600万円

2. 施設案内

1階	中央図書館	5,943㎡	・開架フロアを一つにまとめ、小説・参考図書類を配架する ・収蔵能力100万冊 ・他に新聞、雑誌、ビデオ、CD、DVDを置く
	こどもとしょかん	468㎡	・児童図書及び児童文学研究に関する本をそろえる ・おはなし室、くつろぎ広場（じゅうたんコーナー）
	中央こども館	1,655㎡	・遊びを通してこども達の健全育成を図る ・造形スタジオ、プレイルーム、陶芸室、集会室
2階	文学ミュージアム	2,770㎡	・最大260名収容のグリーンスタジオ ・46人収容のベルホール ・文学、映像に関する企画展の開催・映像編集設備・文学研修室
3階	教育センター	2,067㎡	・教育関係者の研修会の実施、教育に関する研究 ・来所による教育相談や、不登校児童・生徒の教室の運営
	文学ミュージアム資料室	200㎡	・市川ゆかりの文学に関する情報、資料室
	少年センター	35㎡	・計画補導・地区補導をとおして青少年の非行防止と健全育成を図る ・少年および保護者等からの相談業務
4階 地下1階 その他	機械室 駐車場 共有部分	6,510㎡	・駐車場99台 ・音楽スタジオ、集会室

3. 整備機能

地下1階

- ・音楽スタジオ
（1室はドラムセット・デジタルピアノを設置、5～6人演奏練習に利用可）

1階 中央図書館

- ・ポピュラーライブラリー
- ・レファレンスライブラリー
- ・レファレンスカウンター
（調べものの相談対応）
- ・ブラウジングコーナー
（新聞、雑誌の軽読書に利用）
- ・障害者サービス室
- ・AVコーナー
- ・インターネット（IT）ブース
- ・対面朗読室
- ・シニアルーム
（研究個室、拡大読書器設置）
- ・ビジネスルーム
（パソコン・電卓持込利用可）
- ・ヤングアダルトルーム
- ・資料検索コーナー
- ・ブックディテクション
（貸出確認システム）設置
- ・相互通話補助装置（フラットテーブル）整備

1階 こどもとしょかん

- ・おはなし室
- ・くつろぎ広場（じゅうたんコーナー）

1階 中央こども館

- ・アスレティック・フォーリー
- ・光のトンネル ・遊環路

中2・3階

- ・閉架書庫（収蔵能力80万冊）

2階 文学ミュージアム

- ・グリーンスタジオ
最大260人収容、可動床により様々な催しができる多目的スタジオ

- ・ベルホール
- ・通常展示フロア

- ・企画展示室
- ・映像メディア編集室

- ・文学研修室
- ・アナウンスブース

3階 教育センター

- ・研修室4室 ・和室研修室
- ・コンピュータ研修室・教育相談室

- ・和室相談室 ・プレイルーム
- ・ふれんどルーム市川

3階 文学ミュージアム資料室

3階 少年センター

2. 市川市教育センター

〒272-0015 鬼高1-1-4

TEL 047-320-3335(研修事務室)

047-320-3336(相談事務室)

特色

市川市教育センターは、昭和36年に「市川市教育研究所」として設置された。

昭和58年には「市川市教育センター」に改称し、研修事業、教育相談事業にわけ、機能を整備し拡充してきた。

平成6年11月には、市川市生涯学習センターが設置され、本センターの業務は、生涯学習の基礎づくりを担う一端に位置づけられた。

その業務は研修担当と相談担当に分かれており、研修担当では、学校教育関係者に必要とされる教育職員研修の充実を図っている。教科・領域研修・コンピューター研修などの事業を含めた各種研修会を開催するなど、常に新しい情報の収集と発信及び研究・研修を推進している。

相談担当では、多様な相談内容に、専門知識や臨床経験の多い教育相談員が対応し、悩みの軽減、解消に向けた支援を行っている。また、不登校児童生徒のための適応指導教室の運営充実にも努めているところである。

沿革

昭和36年 4月	・市川市役所内に市川教育研究所を置く
昭和37年 1月	・教育相談事業開始
昭和38年 3月	・小学3・4年生用副読本「私たちの市川」初版発行
昭和48年 4月	・教職員研修事業開始
昭和49年 4月	・就学指導委員会条例施行
昭和54年 4月	・教育実践記録「いぶき」第1回募集
昭和54年 6月	・「教育いちかわ」1号発行
昭和58年12月	・南八幡5-15-4に移転、「市川市教育センター」と改称
平成元年	・公共図書館と学校とを結ぶネットワーク事業開始
平成 6年11月	・市川市鬼高1-1-4、市川市生涯学習センター3Fに移転
平成 6年	・適応指導教室開級
平成 8年	・文部省指定「学校図書館情報化活性化推進モデル地域」
～10年	
平成11年	・文部省・郵政省指定「マルチメディア活用学校間連携推進事業」
平成13年	・文部科学省指定「次世代ITを活用した未来型教育研究開発事業」

平成15年	・文部科学省指定「学校図書館資源共有型モデル地域事業」～15年
平成16年	・文部科学省指定「不登校児童生徒の適応指導総合調査研究委託事業」～14年
～18年	・文部科学省指定「スクーリング・サポート・ネットワーク整備事業」
平成18年	・文部科学省指定「学校図書館資源共有ネットワーク推進事業」
～20年	・文部科学省指定「学校図書館支援センター推進事業」
平成19年	・「きらきら体験留学事業」
平成21年	・文部科学省委託「学校図書館の活性化推進総合事業」
平成22年	・文部科学省委託「学校図書館の有効な活用方法の関する調査研究」
～24年	
平成22年	・「ほっとホッと訪問相談」指導課より移管
平成25年	・文部科学省委託「学校図書館担当職員の効果的な活用方策と求められる資質・能力に関する調査研究」
平成26年	・文部科学省委託「学校図書館担当職員の効果的な活用方策と求められる資質・能力に関する調査研究」

施設

〈所在地〉

生涯学習センター 3階 2,102㎡

(通称メディアパーク市川 3階)

事業

(1)調査・研究に関する事業

学校教育、社会教育に係る諸機関と協力しながら本市の教育を推進する調査研究を行い、その成果の普及に努める。

①郷土学習情報化研究員会議

「わたしたちの市川」(小学校3・4年生用副読本)、ホームページ「わたしたちの市川」等の副読本と指導資料を作成する。

②学校図書館支援センター事業

学校図書館アドバイザーによる学校図書

館支援や公共図書館と学校図書館さらに学校図書館相互のネットワークシステムの構築により、学校図書館を中心とした学校の教育機能を高め、子どもの多様な学びを支える。文部科学省「学校司書の資格・養成の在り方や資質能力の向上等に関する調査研究」委託を受け、事業の改善、充実を図る。

③ コンピューター教育振興事業

コンピューター等のICT機器を活用したわかる授業の展開により、学力の向上につなげ、さらに、校務支援システムの活用により、子どもと向き合う時間の確保を推進する。

又、教職員の研修会を開催し、ICT機器及び各システムを活用できるようにする。

(2) 研修に関する事業

市川市の教職員の資質能力の向上を図るため、市川市、千葉県、文部科学省等の教育施策をふまえ、教育の今日的課題や教職員のニーズに応える研修を行う。

① 確かな学力と豊かな心を育む授業づくりの研修会

- ・教科指導に関する研修会
- ・総合的な学習の時間に関する研修会

② ひとりひとりの子どもを理解し、支援していく研修会

- ・特別な教育的支援を必要とする子へ対応するための研修会
- ・教育相談研修会
- ・難聴・言語教育研修会

③ 学校が現在直面している課題に対応する研修会

- ・職務別研修会
- ・層別研修会
- ・学校図書館研・ネットワーク会議
- ・学校コンピューター担当者研修会
- ・ICT活用研修会
- ・ホームページ研修会
- ・情報モラル教育研修会

(3) 教育情報に関する事業

① 「教育いちかわ」の発行

市川市教育委員会の施策を、子育てに関わる層に広報し、理解と協力を求める。

② 教育実践記録論文集「いぶき」

教育関係者の日々の実践の中から、優れた実践記録を賞揚し、市川教育の向上を図る。

③ 研究ネットワーク「接続する・ひろがる」

最新の研修会情報を提供し、個人の研修会への参加をサポートする。

④ 教科書の閲覧・貸し出し

教科書センターとして各種教科書の展示を常時行っている。

⑤ 学びを支える人間ネットワーク

教育センターに「学びを支える人間ネットワーク」窓口を開設し、学びの支援者等の受け入れ及び情報整備を行い、支援要請に対してコーディネートする。公共施設・行政機関等の情報と合わせて、学校・地域に提供する。

(4) 教育相談に関する事業

市内在住の児童生徒に関する相談について面接等を行い、悩みの軽減や解消を図り、児童生徒の健全育成を図る。

① 教育相談

電話予約による面接相談。3歳から中学校3年生までの保護者を対象に、元教員や臨床心理士等が相談にあたり、カウンセリングや心理療法を行う。

② ほっとホッと訪問相談

電話相談、面接相談、訪問相談。小・中学生の保護者を対象に、不登校や学校生活に関わること、子育てに関するアドバイス等を行う。

(5) 不登校児童生徒に関する事業

心理的な要因による不登校児童生徒に対し、自我の確立および集団生活への適応力の向上を図り、学校への復帰を促す。

① 適応指導教室(ふれんどルーム市川)

不登校の小学生(4年生以上)・中学生に対し、学校と異なる場所で小集団の活動を通して、自我の確立と集団活動への適応力を図る。

- ・教科学習
- ・創作活動
- ・体育的活動
- ・個別相談
- ・体験的活動

ゆったり夏体験(日帰り体験活動)等

- ・保護者の会等

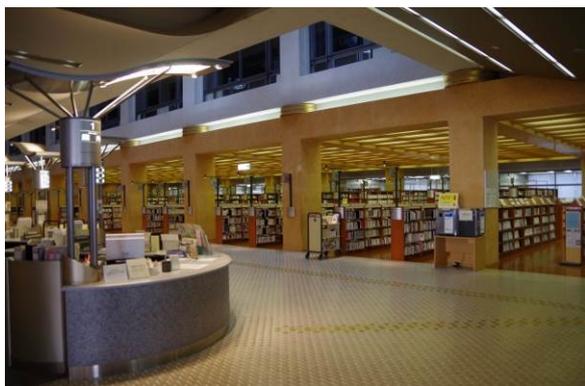
② 訪問指導員派遣

心理学または教育学を専攻する大学院生による家庭訪問を行い、交流を通して、児童生徒の情緒の安定と自信の回復を図り、意欲を引き出す。

(6) 市川市教育支援委員会

特別の支援を必要とする幼児、児童生徒の適正な就園・就学及びその後の一貫した支援に関する事項について教育委員会の諮問に応じ、調査・審議するとともに、その実施について必要に応じ建議する。

3. 市川市立図書館

〒272-0015 市川市鬼高 1-1-4 (中央図書館)
TEL 047-320-3346 FAX 047-320-3351

図書館は、社会を取り巻く様々な課題や個人の生き方について、市民一人ひとりが興味と関心に従って自由に学び、必要な知識を得て考え、意見を作り上げるための資料・情報と学習の場を提供する生涯学習機関である。

本市の図書館の今後の目指すべき方向性を、中期計画（平成23～25年度）では、以下6つの柱に体系的に整理し、また図書館政策の評価を実施、公表することとした。

- (1) 学びを支える図書館
 - ① 身近に図書館が利用できるよう、図書館ネットワークの整備
- (2) 情報拠点としての図書館
 - ① 様々な市民の学習要求に応えられる、蔵書の収集と維持
 - ② ICタグによる蔵書管理
 - ③ レファレンスサービスの充実
- (3) 子どもの成長をサポートする図書館
 - ① 発達に応じた豊かな読書のための環境の整備
 - ② 教育センターや学校図書館との連携
- (4) 地域の文化を育む図書館
 - ① 市川市の歴史・文化の保存と継承
- (5) 連携や協働で多様なサービスを展開する図書館
 - ① 市民ボランティアとの連携の強化と活動のバックアップ
 - ② 市内外の関係機関とのネットワークの充実による、質の高いサービスの提供
- (6) まちづくりを支える図書館
 - ① 市民生活に必要な情報の取得と積極的な発信
 - ② 議会図書室との連携

沿 革

昭和	
25年9月	創立開館市川小学校に併設（2教室）
32年5月	葛飾八幡宮境内に移転し新設開館
37年5月	夜間開館実施
39年3月	「市川市立図書館設置条例」制定
6月	徳願寺境内に行徳分館開館
43年5月	本館隣りに新館開館
50年9月	移動図書館「みどり号」運行
54年2月	信篤図書館開館
55年4月	行徳分館を行徳図書館に改称
56年10月	行徳図書館、移動図書館を本行徳公民館図書室に移転
58年10月	行徳図書館、行徳支所4・5階に移転して開館
60年11月	南行徳図書館開館
62年10月	電算システムを導入し、市内5館をオンラインで結び、システムによる貸出開始
平成	平田図書室開室
元年4月	行徳図書館、行徳支所隣に新館として開館
6年11月	市川市中央図書館開館
12年10月	インターネットで蔵書公開を開始
14年11月	インターネットでの所蔵予約開始
15年3月	自動車図書館車の圧縮天然ガス（CNG）車への更新
17年4月	「子どもの読書活動優秀実践図書館」として文部科学大臣表彰を受ける
18年10月	宅配サービス開始
21年4月	指定管理者制度を導入し、市川駅南口図書館開館
23年4月	市川市立図書館中期計画策定
26年11月	中央図書館開館二十周年記念行事（標語、ポスター募集・記念講演会）開催
27年3月	市川市立図書館運営基本計画策定

施設概要

図書館名	中央	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口
敷地面積	11,012		4,958		410	
建築面積	6,164		674	304	120	
延べ床面積	6,411	256	2,223	912	360	573
建築構造	鉄骨鉄筋コンクリート造・地上4階地下1階	鉄骨鉄筋コンクリート造・地上2階	鉄骨鉄筋コンクリート造・地上5階	鉄骨鉄筋コンクリート造・地上3階	鉄骨鉄筋コンクリート造・地上3階	鉄骨鉄筋コンクリート造・地下2階/地上45階(3階部分)
蔵書冊数(冊)	699,780	4,1997	148,752	64,068	43,261	82,962
雑誌(誌)*1	320	36	105	36	37	44
CD(点)	18,717		7,420	35		
ビデオ(点)	4,426		50			
DVD(点)	1,745					1,001
開館時間	火曜日～金曜日 10:00～19:30 土・日曜日・祝 10:00～18:00	火曜日～日曜日 9:30～17:00	火曜日～金曜日 10:00～19:30 土・日曜日・祝 10:00～17:00	火曜日～日曜日 9:30～17:00	火曜日～日曜日 9:30～17:00	火曜日～金曜日 9:30～21:00 土・日曜日・祝 9:30～18:00
閉館日	毎週月曜日及び土・日曜日にかからない月末日・国民の祝日 年末・年始及び蔵書点検期間 ※ 中央・市川駅南口・行徳のみ祝日開館					
閲覧席(席)	358	20	172	33	15	61
駐車場(台)	(共有)99		(共有)69	(共有)20		
利用者端末(台)	(*2)32	1	6	1	1	(*2)7
職員数(女性)*4	34(21)	3(1)	11(5)	4(1)	3(1)	指定管理者制度
司書数(女性)*4	26(20)	1(1)	9(4)	3(1)	2(1)	指定管理者制度
交通手段(最寄駅)	京成曳越駅より徒歩13分 JR本八幡駅下総中山駅より徒歩15分	JR本八幡駅より徒歩10分 京成菅野駅より徒歩8分	東西線行徳駅より徒歩5分	東西線原木中山駅より徒歩2分	東西線南行徳駅より徒歩15分	JR市川駅より徒歩2分

*1 購入雑誌のみ。

*2 Web-OPAC・ITブース等を含む。

*3 外部データベース閲覧3台含む

*4 再任用職員を含む。

事業概要

(1) 資料の提供

市内に5館1室の施設を配置し、市川市在住・在勤・在学の者に対して、図書・雑誌・新聞・視聴覚資料等多様な資料の提供を行う。各館をオンライン化し、できるだけ均質なサービスの提供に努めるとともに男女共同参画センター情報資料室等の類縁機関との連携や市内各所への返却ポストの配置(平成27年4月現在12箇所)により、利便性の向上に努めている。

(2) 資料収集

「市川市立図書館の蔵書の構築に関する指針」に基づき「市川市図書館分類別収集基準」、各年度ごとの「資料収集計画」という体系のもとで資料を収集する。選書にあたっては、中央図書館で毎週選書に関する会議を開催し、全館分の最終的な確認を行い、市川市全体で効果的な図書購入をしている。また、新刊購入だけではなく、既刊図書の買い替えや補充、復刊図書の購入などにも留意し、蔵書の適正な維持に配慮している。

①地域行政資料

郷土の歴史を後世に伝えるため、市川市に

関する資料を中心に、千葉県内の郷土に関する資料を積極的に収集・提供する。又、市川市民の著作の収集に努める。

② 視聴覚資料

CD・ビデオ・DVD等時代に合った記録媒体を提供するよう、幅広い資料収集と保存を行う。

③ 逐次刊行物資料

最新の情報を得られる速報性を踏まえ、市民の多様な興味・関心に留意し逐次刊行物（新聞・雑誌）の収集・整理・保存を行う。

（3）リクエストサービス

①リクエストサービス

利用者の求める図書が、図書館にない場合、貸出資料の予約や相互貸借、購入により提供するサービスである。

②国・県・市町村図書館との相互協力

リクエストされた資料が、市川市内の図書館に所蔵が確認できない場合、国立国会図書館・県立図書館及び他の市町村図書館等から、資料を取り寄せて提供するサービスである。

平成26年度は、県内市町村図書館への貸出冊数は3,679冊、借用冊数は4,374冊となっている。

（4）自動車図書館サービス

図書館だけでは補いきれない地域の人達や身体に障害のある方、高齢者等、図書館を利用しにくい市民のために運行している。車は圧縮天然ガスを燃料とする環境対策車。

平成26年度末の蔵書冊数は17,258冊、延べ利用者数は5,898人、貸出点数は、26,386点となっている。

（5）レファレンスサービス

探している資料が見つからなかったり、知りたい「人」や「事柄」についてどんな資料を調べればよいかなど、利用者の調査・相談の手助けをする。寄せられた質問とこれに対する回答の事例はデータベース化して蓄積し、ホームページ上で公開するとともに国立国会図書館のレファレンス協同データベースにも提供している。

平成26年度の実績は71,098件となっている。



（6）学校図書館支援センター事業

学校での「調べ学習」や「読書」を活発に展開させ児童・生徒の「自ら学ぶ力」を養育するために、公共図書館と学校図書館が連携し、児童の「調べ学習」や「読書」を支援している。図書館で学校図書館支援専用資料として約1万3千冊を中央図書館で管理し、通常の図書館資料と併せて提供している。

平成26年度においては学校よりの依頼件数は544件、5,869冊の貸出があり、その他に学級文庫用に5,380冊を提供した。

（7）千葉商科大学付属図書館とのネットワーク事業

市内在住・在勤・在学の市川市立図書館利用者に、中央図書館で紹介状を発行することにより、千葉商科大学付属図書館の利用が認められる。この提携は、より専門的になってきた市民の要求に対応するため、市川市立図書館側が提案し大学側の理解を得て実現した。同大学は以前より公共図書館及び所属大学図書館の紹介があれば閲覧、複写のサービスを行っていたが、利用券の発行があれば貸出サービスも受けられる。

平成26年度の紹介状発行件数は105件。

（8）和洋女子大学メディアセンターとのネットワーク事業

市川市在住・在勤・在学の市立図書館利用者は、和洋女子大学メディアセンター(図書館)所蔵の図書を市立図書館(中央・行徳・信篤・南行徳・市川駅南口・平田)の館内で閲覧することができる。市立図書館に所蔵がない図書が対象で、希望する図書の書誌事項をリクエストカードに記入の上、市立図書館のカウンターで申し込む。閲覧期間は2週間以内である。なお、雑誌・視聴覚資料・貴重書・館内閲覧資料は除く。

平成 26 年度、和洋女子大学より借用件数は 3 件（7 冊）市川市立図書館よりの貸出件数は 2 件（3 冊）

(9) 公民館図書室

7つの公民館（西部・東部・曾谷・大野・市川・市川駅南・本行徳）に公民館図書室があり、それぞれの地域に密着したサービスを提供している。平成 12 年 10 月より西部・大野公民館、平成 15 年 6 月より曾谷公民館、平成 16 年 6 月より東部公民館に図書館端末を設置し、図書の貸出・返却・予約の拠点となり、連絡車が週 2 回巡回している。

(10) 市民図書室

4つの小学校（塩焼・稲越・福栄・大柏）に市民図書室があり、それぞれの地域に密着したサービスを提供している。平成 12 年 10 月より図書館端末を設置し、図書の貸出・返却・予約の拠点となり、連絡車が週 2 回巡回している。

(11) 児童サービス

児童サービスは、子どもたちが幼い頃から本に親しむことで、本から様々な興味を見いだし、本の世界の楽しさを知ることができるよう、子どもと子どもをとりまく大人に対してサービスを行う。

(12) ヤングアダルトサービス

中学生・高校生を中心とした世代を、Young Adult（若い大人）としてとらえ、児童書・一般書の枠にとらわれずに中学生・高校生向けの資料を集めた Young Adult コーナーを中央・行徳・信篤・南行徳図書館に設置。中央図書館ではグループで調べ学習等の活動ができる Young Adult Room があり、掲示板を置き、情報交換の場としても利用している。

(13) 障害者サービス（図書館利用に障害のある利用者へのサービス）

心身等、図書館を利用する上で何らかの障害がある方に、それぞれの状況に応じた最も利用しやすいサービスを提供する。

(14) 返却ポストの設置

返却の利便性向上のために市内 12ヶ所（市川市役所本庁舎・八幡市民談話室・情報プラザ・市川公民館・南行徳市民センター・歴史博物館・大野公民館・塩浜市民体育館・千葉商科大学付属図書館・イオン市川妙典店・中山窓口連絡所・ベルクス市川堀之内店）の図書館外施設に、図書と雑誌が返却できるポストを設置。平成 26 年度の実績は、約 22 万冊の返却があった。

(15) 外国人利用者へのサービス

国際化社会に対応した多文化サービスの実現、さらに多文化を知りその背景を理解し共存していくことを目的にしているため、今後ますますその意義と必要性が求められているサービスである。その一環として、平成 18 年 5 月、大韓民国ソウル特別市江南区がインターネット上で運営している電子図書館の I D 1 万件の贈呈を受けた。これにあわせて中央図書館に電子図書館閲覧コンピューターを設置した。

平成 26 年度主な言語別蔵書冊数は、英語 7,221 冊、中国語 3,902 冊、韓国語 1,614 冊その他の言語 1,602 冊となっている。

(16) リサイクルブック市

図書館の不用図書（除籍資料・寄贈資料のうち、すでに図書館で所蔵しているために受入しないと決定した資料）を有効利用するため市民に提供する。市川図書館友の会の協力のもと実施。

平成 26 年度中央図書館リサイクルブック市の実績は、一般参加者 1,358 名、提供冊数 14,755 冊。

統計は別紙



平成26年度統計

(1) 蔵書冊数(平成26年度)

(単位:冊)

一般書	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
0総記	10,825	72	381	2,123	596	374	318	14,689
1哲学	21,061	188	736	2,993	1,302	698	686	27,664
2歴史	29,061	334	1,590	7,901	2,427	1,941	2,908	46,162
3社会科学	53,580	376	2,469	13,926	3,276	2,303	1,618	77,548
4自然科学	24,234	310	1,429	5,774	1,888	1,311	1,033	35,979
5技術	18,580	1,421	3,150	7,727	3,721	2,688	5,966	43,253
6産業	8,402	173	760	2,526	770	568	871	14,070
7芸術	32,539	397	2,159	8,716	3,235	1,590	2,896	51,532
8言語	9,306	45	437	1,807	509	361	582	13,047
9文学	50,679	6,356	9,523	26,841	17,356	8,998	7,614	127,367
郷土行政	46,516	0	511	3,603	829	618	307	52,384
参考資料	24,170	0	149	1,954	566	247	397	27,483
外国語資料	13,556	0	0	783	0	0	0	14,339
障害者資料	10,205	248	0	558	0	0	0	11,011
コーナー別資料	245,292	0	4,169	22,688	11,210	5,882	43,901	333,142
一般計	598,006	9,920	27,463	109,920	47,685	27,579	69,097	889,670

(単位:冊)

児童書	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
0総記	427	42	103	297	235	70	91	1,265
1哲学	496	21	86	209	100	64	66	1,042
2歴史	4,433	92	495	1,787	728	584	438	8,557
3社会科学	4,035	77	466	1,542	514	540	453	7,627
4自然科学	8,899	585	1,299	2,867	1,746	1,365	1,124	17,885
5技術	2,979	242	439	1,223	575	460	580	6,498
6産業	1,626	67	249	530	240	265	206	3,183
7芸術	3,950	367	604	1,557	815	613	759	8,665
8言語	830	23	142	312	135	162	131	1,735
9文学	28,287	2,212	4,014	11,221	5,646	4,863	3,237	59,480
E絵本	39,997	3,456	6,366	15,502	5,148	6,254	6,394	83,117
P紙芝居	1,004	154	247	507	144	257	287	2,600
児童郷土	1,375	0	6	274	108	8	0	1,771
児童参考	742	0	18	306	86	45	99	1,296
児童研究	2,694	0	0	698	163	132	0	3,687
児童計	101,774	7,338	14,534	38,832	16,383	15,682	13,865	208,408

図書計	699,780	17,258	41,997	148,752	64,068	43,261	82,962	1,098,078
-----	---------	--------	--------	---------	--------	--------	--------	-----------

(単位:点)

図書以外	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
雑誌	38,228	0	1,372	6,995	1,606	1,712	1,349	51,262
ビデオ	4,426	0	0	50	0	0	0	4,476
DVD	1,745	0	0	0	0	0	1,001	2,746
CD	18,717	0	0	7,420	0	0	0	26,137
その他付録等	3,746	0	44	487	14	22	125	4,438
図書以外計	66,862	0	1,416	14,952	1,620	1,734	2,475	89,059

総計	766,642	17,258	43,413	163,704	65,688	44,995	85,437	1,187,137
----	---------	--------	--------	---------	--------	--------	--------	-----------

(2) 分類別貸出冊数 (平成26年度)

(単位:冊)

一般書	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
0総記	5,601	57	523	4,159	574	659	1,746	13,319
1哲学	28,232	322	1,589	12,880	2,001	1,907	8,151	55,082
2歴史	23,812	570	3,705	27,232	4,501	4,921	25,303	90,044
3社会科学	43,102	652	3,477	30,491	3,317	3,655	12,427	97,121
4自然科学	20,289	490	1,708	14,081	1,923	1,755	5,410	45,656
5技術	21,838	2,246	5,930	43,325	7,847	7,949	40,568	129,703
6産業	6,310	227	955	7,739	814	987	4,731	21,763
7芸術	24,988	418	1,962	14,546	3,593	2,281	13,544	61,332
8言語	15,643	129	690	5,358	968	573	4,120	27,481
9文学	28,355	5,607	13,972	74,001	17,180	14,858	50,708	204,681
郷土行政	4,063	6	124	711	150	233	847	6,134
参考資料	881	0	3	37	1	11	20	953
外国語資料	4,739	0	34	1,008	31	25	288	6,125
障害者資料	8,396	89	201	875	34	23	399	10,017
コーナー別資料	683,426	1,394	19,100	146,297	34,317	23,806	231,100	1,139,440
一般計	919,675	12,207	53,973	382,740	77,251	63,643	399,362	1,908,851

(単位:冊)

児童書	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
0総記	573	35	135	522	74	82	297	1,718
1哲学	1,312	38	133	585	86	87	517	2,758
2歴史	5,640	60	344	2,654	316	360	1,592	10,966
3社会科学	6,943	130	395	3,643	263	432	1,942	13,748
4自然科学	13,165	914	1,379	8,590	835	1,167	3,657	29,707
5技術	7,332	577	855	6,130	972	1,334	3,424	20,624
6産業	1,862	142	332	1,120	222	353	563	4,594
7芸術	10,695	949	1,164	6,862	1,524	1,531	4,644	27,369
8言語	1,395	64	120	1,135	89	201	482	3,486
9文学	68,910	3,656	8,901	43,986	7,179	8,862	24,798	166,292
E絵本	168,326	7,109	14,038	97,709	16,474	19,796	54,290	377,742
P紙芝居	6,214	307	570	3,590	336	532	1,889	13,438
児童郷土	1,102	3	5	47	14	3	5	1,179
児童参考	138	0	0	19	4	2	9	172
児童研究	1,246	1	12	255	16	23	120	1,673
児童計	294,853	13,985	28,383	176,847	28,404	34,765	98,229	675,466

図書計	1,214,528	26,192	82,356	559,587	105,655	98,408	497,591	2,584,317
-----	-----------	--------	--------	---------	---------	--------	---------	-----------

(単位:点)

図書以外	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
雑誌	53,279	126	4,545	26,390	4,811	5,904	12,027	107,082
ビデオ	4,513	0	4	174	30	54	63	4,838
DVD	21,709	0	172	1,407	219	312	6,384	30,203
CD	77,345	0	1,008	24,573	888	810	5,232	109,856
その他付録等	24,245	68	541	5,999	448	277	29,301	60,879
図書以外計	181,091	194	6,270	58,543	6,396	7,357	53,007	312,858

総計	1,395,619	26,386	88,626	618,130	112,051	105,765	550,598	2,897,175
----	-----------	--------	--------	---------	---------	---------	---------	-----------

(3) 市民図書館統計

	開室 日数	利用者数		貸出 日数	貸出冊数		受入 冊数	除籍 冊数	蔵書冊数
			一日平均			一日平均			
塩焼市民図書館	146	16,477	112.9	146	32,577	223.1	876	1,431	21,677
稲越市民図書館	144	3,007	20.9	144	8,761	60.8	429	394	15,884
福栄市民図書館	146	8,469	58.0	146	24,939	170.8	823	354	17,751
大柏市民図書館	143	8,291	58.0	143	11,981	83.8	254	225	18,335
計	579	36,244	62.6	579	78,258	135.2	2,382	2,404	73,647

4. 市川市公民館（社会教育課）	〒272-0023 南八幡 1-17-15 南八幡仮設庁舎 2階 TEL 047-320-3343 FAX 047-320-3344
-------------------------	---

1 公民館運営の基本的な考え方

少子・高齢化、情報化、国際化などの現代的課題解決の必要性和自由時間の増加等が相まって、市民の学習意欲は高まりを見せている。また、そのニーズもますます多様化、高度化を示している。

これら社会情勢の変化に応じて、地域住民の身近な拠点として学習の場と機会の充実を図ると共に学習情報の提供等にも努め、生涯学習の一層の推進に取り組む。

2 具体的な目標

- (1) 施設整備を行い、安全で快適に利用できる施設に努める。
- (2) あらゆる世代が参加しやすい主催講座の企画・実施に努める。
- (3) 生涯学習に関する情報の提供に努める。
- (4) サークルの学習成果の発表の場の提供に努める。

3 「ミーティアムガイド」の発行

生涯学習時代における情報紙として、9月と3月の年2回、公民館主催講座の開催にあわせて発行し、講座内容を紹介している。

新聞折込配布、タブロイド版、2色刷り。

4 利用案内

- (1) 開館時間 午前9時～午後9時
- (2) 休館日 毎月の最終月曜日、祝日による休日、年末年始（12月29日～1月3日）



菅野公民館（H23年4月開館）

5 沿革

- | | |
|-----------|----------------------------------|
| 昭和27年 5月 | 市川市公民館が開館
（現在の中央公民館） |
| 昭和49年 11月 | 西部公民館が開館
市川市公民館を中央公民館に改称 |
| 昭和53年 9月 | 行徳公民館が開館 |
| 昭和53年 10月 | 鬼高公民館が開館 |
| 昭和54年 4月 | 東部公民館が開館 |
| 昭和55年 3月 | 柏井公民館が開館 |
| 昭和55年 4月 | 本行徳公民館が開館 |
| 昭和56年 5月 | 市川駅南公民館が開館 |
| 昭和56年 9月 | 大野公民館が開館 |
| 昭和57年 4月 | 信篤公民館が開館 |
| 昭和58年 5月 | 曾谷公民館が開館 |
| 昭和62年 5月 | 若宮公民館が開館 |
| 平成元年 4月 | 「公民館だより」発行
（翌年「カルチャーガイド」に改称） |
| 平成元年 5月 | 幸公民館が開館 |
| 平成2年 5月 | 南行徳公民館が開館 |
| 平成3年 5月 | 市川公民館が開館 |
| 平成7年 10月 | 一部公民館にて月曜開館の試行開始 |
| 平成10年 9月 | 公募により公民館の愛称を「ミーティアム」に決定 |
| 平成11年 4月 | 公民館組織改正
（地域別に4ブロック制に） |
| 平成12年 4月 | 公民館使用料の改正
（1時間単位の予約に） |
| 平成12年 5月 | インターネットによる公民館予約システム開始 |
| 平成13年 3月 | 「ミーティアムガイド」発行
（「カルチャーガイド」を改称） |
| 平成13年 4月 | 公民館組織改正
（公民館センターの設置） |
| 平成14年 4月 | 行徳公民館に新館を増設 |
| 平成16年 6月 | 中央公民館菅野分館が開館 |
| 平成17年 4月 | 全館月曜開館の実施 |
| 平成18年 4月 | 夜間を管理委託から直営に |
| 平成23年 4月 | 菅野公民館が開館 |
| 平成25年 4月 | 公民館組織改正
（公民館センターから社会教育課に変更） |

6 平成26年度の状況

公民館名	総利用者数 (人)	主催講座 (講座数)	平成26年度主催講座の例
中央	45,288	16	日本人とお箸—マイ箸作りに挑戦 親子で挑戦♪手作り絵本
鬼高	25,404	19	戦国武将と関東地方の様相 赤ちゃんとママのリズムで遊ぼう
信篤	74,406	17	私流エコクッキングdeごちそうさん 秋の山野草と風景を淡彩で描く
東部	101,606	21	英会話入門 笑顔と度胸で大丈夫 渡り鳥の習性と観察
柏井	29,894	15	陶芸にチャレンジ 初歩からのアコースティックギター入門
大野	83,476	18	歩いて学ぼう 大野・大町・柏井の歴史 聴覚障害者のための料理教室
若宮	36,914	17	10歳若返る！誰でもできる夜の健康体操 親子で文字を覚えましょう
市川	109,357	23	歩いてみようよ「市川の街」 学んでリサイクル 作ろう紙バッグ
西部	97,254	17	「自然科学入門」大人の動物園講座 星空を覗いてみよう
市川駅南	68,471	22	ボイスレッスンで美声を目指そう 嗚呼、懐かしのラジオ体操
曾谷	136,719	19	みんなで奏でるトーンチャイム 人気シェフに習う中華料理
行徳	159,319	22	心のやすらぎ 写経体験 新旧風景—文学の舞台となった市川
本行徳	31,817	20	水中ウォーキングで健康アップ 子ども 書初め教室
幸	36,360	17	古布で作る夏のブローチ2種 バレンタイン口笛コンサート
南行徳	90,717	18	幸せ願う つるし飾り スマートフォンに親しもう
菅野	33,072	19	誰でも笑える英語落語 野性味と微笑みの円空仏を彫る
合計	1,160,074	300	

5. 市川考古博物館

〒272-0837 市川市堀之内2-26-1
TEL 047-373-2202 FAX 373-2205

▲博物館全景

特 色

市川市は、原始・古代の遺跡が多く、しかも堀之内貝塚・曾谷貝塚・姥山貝塚・下総国分僧寺跡・下総国分尼寺跡など、国の史跡に指定されている遺跡を含んでいる。これらの遺跡から出土した考古資料によって、原始・古代の市川を中心とした地域の歴史の歩みを体系的に理解し、学べる考古専門館である。

生涯学習の時代の一翼を担う多彩な講座、体験学習、見学会などの実施によって、市川の歴史に対する認識を高め、郷土に対する愛着を深めてもらうよう努めている。

沿革

- 昭和47年11月 市立市川博物館として史跡堀之内貝塚の隣地に開館。
50年2月 登録博物館となる。登録第7号。
57年11月 市立市川歴史博物館の開館に伴い、館名を市立市川考古博物館に改称。
60年3月 常設展展示替えによる新装開館。

施設

建物構造 鉄筋コンクリート造2階建（一部地階）
敷地面積 7,253.00㎡（うち駐車場 990㎡）
建築面積 931.80㎡
延床面積 1,513.68㎡

〔主な施設〕

ホール展示室 90.9㎡
常設展示室 387.2㎡
学習室 28.2㎡
収蔵室 346.5㎡

●博物館案内図



交通機関

- 北総線「北国分駅」から徒歩10分
- JR総武線「市川駅」・京成線「市川真間駅」から京成バス「北国分駅」行き、「松戸駅（国分経由）」行き、「聖徳学園」行きで、「博物館入口」バス停下車徒歩10分。

収蔵資料

市川市史編さん事業や博物館・教育委員会（一部）による発掘資料と、個人から寄贈された考古資料などを収蔵している。

- (1)先土器（旧石器）時代関係
今島田遺跡、殿台遺跡
- (2)縄文時代関係
杉ノ木台貝塚、美濃輪台貝塚、上台貝塚、向台貝塚、今島田貝塚、姥山貝塚、曾谷貝塚、堀之内貝塚等
- (3)弥生時代関係
須和田遺跡、宮久保遺跡、殿台遺跡、杉ノ木台遺跡、小塚山遺跡等
- (4)古墳時代関係
須和田遺跡、今島田遺跡、鬼高遺跡、杉ノ木台遺跡、法皇塚古墳等
- (5)奈良・平安時代関係
下総国府跡、下総国分僧寺跡、下総国分尼寺跡、須和田遺跡、国分遺跡等

事業

1 常設展示

過去10数万年間の自然環境の変化を導入とし、最初に住民がやってきてから律令社会が成立・崩壊していくまでの原始・古代の歴史を、市川を中心に展示している。

<展示内容>

○前室 環境の変化

過去10数万年の間でも自然環境は大きく変化していることを、貝化石、クジラ化石、サンゴ化石、地層模型などで紹介している。

○第1室 最初の住民<先土器時代>

原人、旧人、新人の胸像模型と、1万年以上も前の寒冷な時代に、主として狩りで暮らしていた人々の石器を展示している。

○第2室 貝塚の形成<縄文時代>

土器を使用した縄文人は、狩猟、漁労、植物採集で計画的に生活していたことを、豊富な貝塚の出土資料やジオラマにより複元。埋葬法、縄文人骨とその特徴などを実物や写真で紹介している。

○第3室 農耕の開始<弥生時代>

大陸、半島から伝来した稲作等の農耕と鉄器の使用が人々の暮らしを大きく変えたことを、甕棺、青銅器、金印など西日本の事情を加えて説明している。

○第4室 古墳の出現<古墳時代>

大和王権が各地を統一しようとした時代で、市川には6世紀半ばの法皇塚古墳がある。その出土品、当時の土器の土師器と須恵器、鉄やカマドの普及を紹介している。

○第5室 律令の社会<奈良・平安時代>

7世紀後半以降、律令を基にした中央集権国家が成立する。市川には下総国の政治の中心である国府と官立寺院の国分寺が置かれた。仏像、瓦、墨書土器、役人の服、伽藍模型や庶民にかかわる遺物を紹介している。

2 展示

企画展示

- ・「古代の村ムラ ー戸籍と遺跡」

3/9～5/25

ホール小展示

- ・「下総国分寺の瓦づくり」4/1～6/15
- ・「考古博物館40年の今と昔」

6/28～H27. 6/13

速報展

- ・「道免き谷津遺跡」1/11～5/18

3 利用状況 (平成26年度) 開館日数306日

	個人			団体			計		
	18歳未満	18歳以上	計	18歳未満	18歳以上	計	市内	市外	総計
常設展示	5,274	14,259	19,533	7,812	2,472	10,284	21,857	7,960	29,817

3 講座・説明会・体験学習・見学会など

行事名	内容
講座・講演会等	<ul style="list-style-type: none"> ○考古学教室 『続日本紀』を読む全9回 『下総国戸籍』を読む全3回 『常陸国風土記』を読む全10回 ○ギャラリートーク 企画展のコーナー解説3回 ○国際博物館の日記 「聖徳太子の真実」 ○速報展講演会 「縄文時代晩期の道免き谷津遺跡」
体験・見学会・養成	<ul style="list-style-type: none"> ○博物館体験学習 土器をつくろう 全4回 火をおこそう 1回 勾玉づくり 16回 組紐づくり 36回 ○サマーフェスタ 縄文汁・火おこし ほか ○オータムフェスタ 火おこし・焼き芋ほか ○小学校体験学習 24校 2263人 ○出前授業 5校 3213人 ○企画展関連見学会 「大嶋郷を歩く」 ○第15回縄文体験フェスティバル 縄文の造形・火おこし・勾玉づくりなどを体験 ○遺跡見学会 「銚子方面遺跡見学会」 ○博物館講座見学会 『古墳を歩く』全3回 ○ボランティア養成講座 火おこし指導員の養成全2回 縄文学習指導員の養成全4回 組紐ボランティアの養成全3回

4 協力

春史蹟まつり、回遊展in八幡、曾谷縄文まつり、真間史蹟まつり、「真間の入り江」講演会、市川市史編さん事業

5 学生・教員研修

中学生職場体験9校32人、学芸員館務実習6大学6人、体験学習教職員研修会22回

利用

1 利用案内 ・開館時間 9時～16時30分

- ・休館日 月曜、月曜が祝日の翌日
年末年始(12月28日～1月4日)

- ### 2 入館料
- ・常設展・企画展は無料
 - ・特別展は会場のみ有料

6. 市川歴史博物館

〒272-0837 市川市堀之内2-27-1

TEL 047-373-6351 FAX 047-372-5770



第4室 台地の人々の生活のコーナー

特 色

原始・古代担当の考古博物館の後を受けて、市川における中世以降の歴史の流れを概観し、海・川・台地という地形を活かしたかつての市域の生活・生業を復元展示している。

本市の歴史民俗資料の滅失・散逸を防ぐため、これらを収集・保管・展示及び調査研究をして保護活用を図り、市民の郷土に対する認識と愛情が深まるよう努めている。

沿革

昭和57年11月 市立市川歴史博物館として開館。

12月 登録博物館となる登録17号。

施設

建物構造 鉄筋コンクリート造2階建(塔屋付)
敷地面積 3,388㎡ 建築面積 1,199㎡
延床面積 2,001㎡

[主な施設]

常設展示室 430㎡ 特別展示室 249㎡
講堂 104㎡ 収蔵室 234㎡

交通機関

- 北総線「北国分駅」から徒歩8分
- JR総武線「市川駅」・京成線「市川真間駅」から京成バス「北国分駅」行き、「松戸駅(国分経由)」行き・「聖徳学園」行きで、「博物館入口」バス停下車徒歩10分、ほか。

案内図は、2ページ前の「考古博物館をご参照ください。

収蔵資料

市川市史編さん事業や博物館・教育委員会(一部)による収集資料と、個人から寄贈された歴史・民俗資料を収蔵している。

- (1)中世(鎌倉～戦国時代)関係
板碑、日蓮関係資料(複製)等
- (2)近世(江戸時代)関係
高札、古文書、塩製造用具等
- (3)近現代(明治～昭和時代)関係
古写真、戦争関係資料、学校関係資料等
- (4)民俗関係
生活用具、農具、漁具、職人関係資料等

事業

1 常設展示

○前室

当館設置の趣旨及び、案内図を配して展示し、室内の配置と順路を示す。また、市内の特徴のある写真や鳥瞰図を展示し、景観的イメージを印象づけて展示室へ導入するとともに、新着収蔵資料等を紹介する。

○第1室 中世以降の市川

中世以降の市川の歴史の主要事項を理解してもらい、各ルームの年代的位置づけを行う場として、パネルと資料で紹介する。
展示資料：立正安国論(複製)、空襲日誌等

○第2室 海辺の人々の生活

かつては交通の要所で、関東地方最大の塩の生産地でもあり、近代以降は海苔の養殖が盛んであった、市南部の行徳、南行徳の地域は、住宅地として急激な変貌を遂げている。ここでは、海辺の人々の生活を再現し、現在との関わりについて考える場とする。

展示資料：製塩用具、のり抄き用具等

○第3室 水路と陸路

市川市の西側を流れる江戸川は、水路として交通や物資の運搬に重要な役割を果たしてきた。

一方、市内の陸路は、参勤交代や成田参詣への道などがあり、これらが江戸川と交わる

ところに、市川関所と行徳新河岸があった。
 ここでは、江戸時代を中心に示し、床面には
 市域の水路と陸路の概略を紹介する。
 展示資料：往来手形（複製）、笹屋看板等

○第4室 台地の人々の生活

市の北部地域は下総台地の一画で、小さな
 谷津が入り込んだ地形をなしており、人々は
 谷津の泥深い田を耕して生活してきた。ここ
 では、民家の一部を移築復元して、土間を中
 心とした生活を再現し、さらに農耕と年中行
 事を組み合わせる事により、一年を周期とす
 る生活を紹介します。
 展示資料：稲作用具、辻切大蛇等

○第5室 郷土コーナー

郷土市川に関係した人物を「人で綴る市川の
 歴史」と題してまとめ紹介する。また市内の史
 跡や文化財についても紹介し、新着資料や季節
 の民俗資料を展示する。
 展示資料：坪井玄道関係資料

2 展示

- 企画展「松井天山の鳥瞰図と市川市域」
27年3月8日～5月10日
- ロビー展示「辻切り」
27年1月20日～2月22日
- ロビー展示「新収蔵資料展」
26年6月12日～12月23日

3 講座・説明会・体験学習など（表1参照）

4 協力

回遊展 in 行徳・八幡、菅野公民館他6館
 講座、市川雑学大学、JCN市川、市川市
 史編さん事業

5 研修

市内小・中学校2年目教員研修68人、中
 学生職場体験10校36人、学芸員館務実習5
 大学5人、

利 用

1 利用案内

- ・開館時間 9時～16時30分
- ・休館日 月曜、月曜が祝日の翌日
年末年始（12月28日～1月4日）

2 入館料

- ・常設展・企画展は無料。

3 利用状況（表2参照）

表 1

行 事 名		内 容
講座・ 講演会	○企画展講演会	「鳥瞰図絵師・松井天山の画業と 画風」
	○市川歴史カレッジ （第9期1年次） ○近世史講座Ⅰ ○近世史講座Ⅱ ○近代史講座Ⅰ Ⅱ ○民具入門講座 ○江戸を歩く ○市川ヒストリー体 験	市川の歴史・民俗を2年で学ぶ 歴史博物館担当分1回 近世史入門講座6回 大屋日記購読6回 柏井植草家日誌講読全11回 市川の空襲他全2回 市川の民具資料の解説全2回 市川ゆかりの史跡見学2回 「市川の歴史と民俗の講座」他 全2回
体験・ 養成	○小学校体験学習	昔の暮らし体験（出前型）4回 ※昔の塩作り、洗濯板体験、 冬の暮らしの道具体験など
	○昔遊び体験 ○博物館サマーフェ スタ ○博物館オータムフ ェスタ ○縄文体験フェステ ィバル ○ボランティア養成 講座	昔の暮らし体験（来館型）22 回 紋切りなど毎週土日 歴史地図づくり全2回 昔の洗濯体験全1回 わらのリース作り、焼き芋、火 おこしなど 昔遊び、火打石体験、紙芝居、 組紐など 藁ぞうり作り指導員養成1回 昔のあそび指導員養成12回

表 2 （平成26年度）開館日数 302日

	個 人			団 体			計		
	18歳 未満	18歳 以上	計	18歳 未満	18歳 以上	計	市内	市外	総計
常設展示	5,280	15,459	20,739	5,842	2,344	8,186	21,533	7,392	28,925

7. 市川自然博物館

〒272-0801 市川市大町284番地
 URL: <http://www.city.ichikawa.chiba.jp/shisetsu/haku/> TEL 047-339-0477 FAX 047-339-1210



施設

建物構造	鉄筋コンクリート造 地下1階、地上2階、塔屋付
敷地面積	2,994.0㎡
建築面積	952.8㎡
延床面積	2,052.3㎡
〔主な施設〕	
常設展示室	459.2㎡
特別展示室	111.0㎡
収蔵庫	149.2㎡

特色

市川市は、北部の台地と南部の低地、江戸川と東京湾などの自然環境に恵まれているが、現在は著しく都市化が進んでいる。市川の自然は都市化の中でかろうじて残されてきた自然と、市街地の自然によって特徴づけられる。

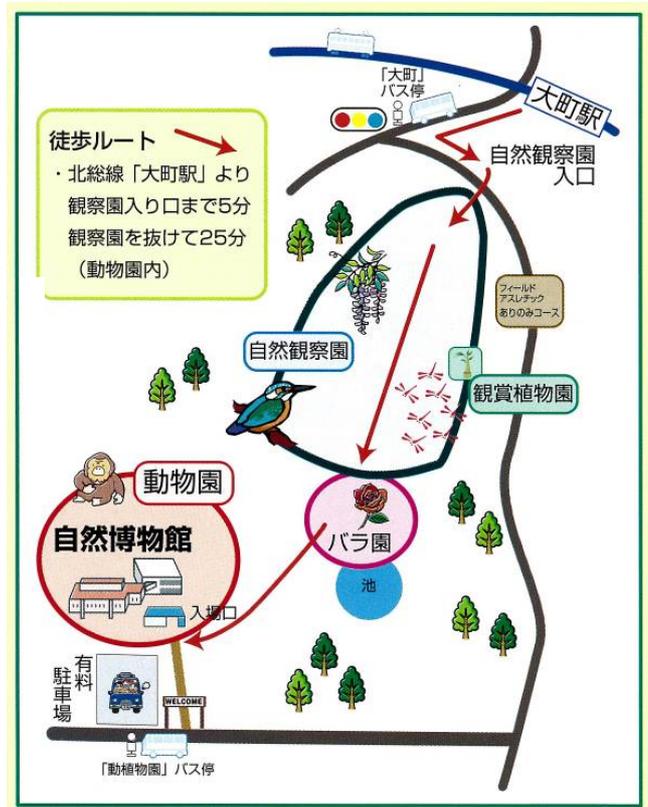
市川自然博物館では、こうした「市川の自然」を対象として、地域の自然環境や動植物について記録し後世に伝えるとともに、身近な自然環境や動植物とのつきあいかたを広く市民に伝え、市川市の自然を再発見していただくことを博物館の使命としている。

一般に博物館には、資料収集や保存、調査や研究、教育普及や展示等さまざまな機能がある。当館では、資料収集や調査、研究等により得られた成果を生かした教育普及及び展示活動に主眼をおいている。

沿革

- 平成元年10月24日 開館
- 開館記念特別展「市川の植物」
- 平成2年度 企画展「大町自然観察園の自然」
- 平成3年1月10日 千葉県博物館原簿に登録
- 平成3年度 企画展「市川の鳥」
- 平成4年度 企画展「江戸川放水路の自然」
- 平成6年度 企画展「市川のさかな」
- 平成8年度 小企画展「モス・オブ・ザ・ワールド」
- 平成9年度 企画展「柏井雑木林の自然」
- 平成12年度 企画展「市川市内の絶滅危惧種」
- 平成16年度 企画展「長田谷津（大町公園自然観察園）」
- 平成19年度 企画展「いちかわの動植物 基本ブック」
- 平成22年度 企画展「長田谷津（大町公園自然観察園）いきもの暦」
- 平成25年度 企画展「いきもの成長」
- 企画展終了後、展示を継続

博物館案内地図



交通案内

JR武蔵野線市川大野駅より、動植物園行き京成バスにて終点下車（土日休日のみ運行）、大町駅行き「駒形」下車徒歩15分（毎日運行）。

収蔵資料

市川市内の自然環境、動植物を主な対象として資料収集し、収蔵している。

種 目	品 目
標本資料	植 物 さく葉標本
	植 物 藻類さく葉標本
	鳥 類 剥製標本
	鳥 類 骨格標本
	鳥 類 古巣標本
	鳥 類 卵標本
	鳥 類 付随標本
	哺乳類 剥製標本
	哺乳類 骨格標本
	哺乳類 付随標本
	魚 類 液浸標本
	昆 虫 乾燥標本
	昆 虫 古巣標本
	昆 虫 付随標本
	貝 類 貝殻標本
	貝 類 液浸標本
	甲殻類 乾燥標本
	甲殻類 付随標本
	地 学 遺骸・化石標本
	地 学 土壤標本
地 学 岩石鉱物標本	
その他 人工物	
映像資料	写真 デジタル画像
	写真 35 ^{ミリ} ポジ原版
	写真 6×7 ^{センチ} ポジ原版
	写真 35 ^{ミリ} ネガ原版
	写真 プリント
	映画 35 ^{ミリ}

常設展示

「市川の自然」をメインテーマとして、次の4つの大きなテーマで博物館資料を展示する。

また、実際に様々な生き物を飼育し展示するコーナーで展示を構成している。

○第1テーマ「市川のおたち」

市川の大地のなりたちと人間の影響による自然の変化について紹介している。

・ひろがる市街地 ・市川の大地

○第2テーマ「残された市川の自然」

都市化が進むなかで、残された林や干潟の自然について紹介している。

・市川の林 ・市川の海辺

○第3テーマ「都市化した市川の自然」

都市化が進み、おおぜいの人々がくらす市街地でいきいきと生活する身近な生き物について紹介している。

・帰化植物 ・都市鳥 ・身近な昆虫

○第4テーマ「湧水の自然」

台地と低地からなる市川の地形によって生み出され、かつては市川のいたるところにあった湧水の自然について紹介している。

・湧水のある大町自然観察園

○飼育コーナー

身近な生き物など、年間を通じて種類を入れ替えて飼育し展示している。

教育普及活動

博物館外での活動として、隣接する大町公園自然観察園（長田谷津）や市内各地での自然体験学習を主催するほか、学校や市民団体などの自然体験学習を積極的に支援している。

行 事 名	内 容
おやこ自然観察会	親子を対象にした自然観察園等での観察会
観察シートを使った観察会	参加者自身が自然観察園の観察ポイントを巡る観察会
季節を感じる散策会	市内の自然豊かな場所を巡り季節の話題を観察
長田谷津散策会	自然観察園（長田谷津）の四季折々を楽しむ
自然講座	学芸員が市内の自然について紹介する室内講座
野草名札付け	自然観察園で学芸員の指導により植物名札をつけるボランティア活動
長田谷津環境整備	自然観察園で学芸員と共に環境整備作業を行うボランティア活動
学校や市民団体等への学芸員派遣	要請により学芸員を派遣する外部支援活動
少年自然の家でのグリーンスクールへの講師派遣	小学生の宿泊学習に伴う自然体験学習の支援
教員の研修受入れ	小中学校教員の研修支援

利 用

●開館時間 午前9時30分～午後4時30分（入館は4時まで）

●休館日 毎週月曜日（ただし月曜日が休日の場合は翌日）及び年末年始

●入館料 無料

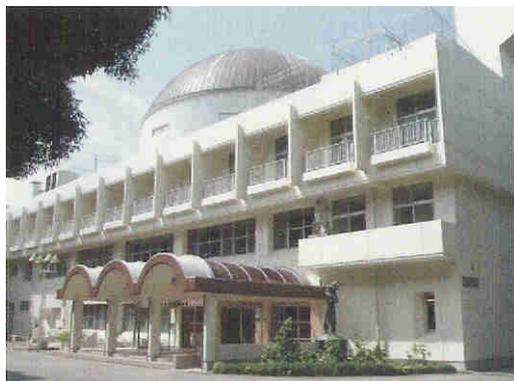
・入館者数（平成26年度） 開館日数 303日

	18歳未満	18歳以上	計
個人	53,602	77,338	130,940
団体	4,520	857	5,377

合計	市 内	市 外	計
	55,176	81,141	136,317

8. 市川市少年自然の家

〒272-0801 市川市大町 280-4
TEL047-337-0533 FAX047-337-0534



- 引率者用 2室 定員 10人
- ・研修室
 - 第1研修室 1室 定員 80人
 - 第2研修室 1室 定員 50人
 - 和室研修室 1室 定員 40人
- ・視聴覚室 1室 定員 50人
- ・プラネタリウム室 1室 定員 217人
- ・体育室 縦25m 横15m
- ・食堂 1室 最大204席
- ・その他
 - 浴室、事務室、保健室他
- 付帯設備 集いの広場 2,475㎡
野外炊事場

特 色

市川市少年自然の家は、大町レクリエーションゾーン内にあり、動物園・鑑賞植物園・バラ園・自然観察園などと隣接した、大変自然豊かなところにある。

設立主旨：児童・生徒を自然に親しませ、自然の中での集団宿泊生活や野外活動を通じて、情操や社会性を豊かにするとともに、心身を鍛練し健全な児童・生徒の育成を図る。

設備：宿泊室・体育室・研修室・集いの広場（キャンプファイヤー場、野外炊事場、トイレ）プラネタリウム室

(2) 交通案内

- ・北総開発鉄道松飛台駅 徒歩 15分
- ・JR武蔵野線市川大野駅 徒歩 30分
または、市川大野駅から京成バス「大町駅行」乗車、「大町公民館」下車 徒歩5分・・・乗車時間 約10分
- ・JR総武線本八幡駅北口から京成バス「大町駅行」乗車、「大町公民館」下車 徒歩5分・・・乗車時間 約35分

浴 草

- 昭和57年7月 開所
- 8月 プラネタリウム一般公開開始
- 昭和62年 5周年記念式典
- 昭和63年 野外活動倉庫建設
- 平成5年 10周年フェスティバル実施
- 18年9月 改修工事開始
- 19年7月 リニューアルオープン
- 23年4月 祝日開所開始

(3) 近隣地図



施 設（改修後）

(1) 施設案内

- 敷地面積 10,514㎡
- 延床面積 3,731㎡
- 建築様式 鉄筋コンクリート造4階建て
- 建物内訳
 - ・宿泊室
 - 児童・生徒用 18室 定員 180人
 - バリアフリー対応型 5室 定員 20人

利 用

(1) 利用できる人

- ・少年及び少年を主たる構成員とする団体並びにこれらの引率者
- ・社会教育に係る学習、文化活動その他の生涯学習の諸活動を行うもので、教育委員会が認めるもの

4章 教育機関

(2) 宿泊利用に関わる経費 (H27. 4. 1 現在)

・ 宿泊使用料 (税込)

市内の方	中学生以下	無料
	高校生以上	540 円
市外の方	高校生以下	2,430 円
	大学生以上	3,240 円

・ シーツ、枕カバー洗濯代 (税込)

1 人 194 円

・ 食事代 (税込)

朝食 550 円 昼食 550 円

夕食 550 円~790 円

《プラネタリウム公開》

◎ 投影開始時刻

毎週土・日・祝日 (元旦除く) 午後 1:30

(7・8 月は毎週日曜日・祝日)

25 名以上の団体は、予約により受付

※ 投影時間は、約 1 時間

・ 入場料 (税込)

	個人	団体
市内の方	160 円	120 円
市外の方	320 円	250 円

◎ 休所日

月曜日 (祝日の場合はその後の平日)

年末・年始 (12 月 29 日~1 月 3 日)

★ 利用状況 (平成 26 年度利用者)

開所日数 308 日 (単位: 団体、人)

区分		団体数	人数	
宿泊利用	市内	幼小中高・特別支援学校	74	5,437
		青少年団体	52	1,403
		その他	16	375
	市外	学校・青少年団体他	50	1,927
	小計 A		192	9,142
プラネタリウム見学	有料	公開日	市内	1,008
			市外	1,249
	団体	市内	4	175
		市外	上記団体	28
	無料	小中高・特別支援学校他	0	0
		その他 (減免団体)	11	1,031
		宿泊団体 D	78	5,152
小計 B		93	8,643	
日帰り利用	プラネタリウム見学なし C		59	3,508
	プラネタリウム見学あり		15	934
	小計		74	4,442
合計 (A+B+C-D)		266	16,141	

★ 主催・共催事業 (平成 26 年度実績)

月	事業名
5	バラ祭り
6	チャレンジャースクール①、プラネタリウムコンサート①
7	ザ・チャレンジ自由研究
8	チャレンジャースクール②
9	親子お月見の会
10	親子宿泊体験
11	大町レクゾーンフェスティバル
12	チャレンジャースクール③、プラネタリウムコンサート②
1	チャレンジャースクール④、冬の天体観望会
2	大人の竹細工工房
3	チャレンジャースクール⑤、健康吹き矢①②

資料編.....107

I 学校施設関係.....109

- 1 市内教育施設配置図
- 2 学校一覧及び児童・生徒・園児数
- 3 学校施設の建物・面積
- 4 平成26年度学校施設の整備状況
- 5 教職員の構成（県費負担）
- 6 国・県・私立学校・幼稚園等一覧

II 学校教育関係.....125

- 1 平成27年度 第4期 市川の学校教育三ヵ年計画
(「創意と活力のある学校づくり」) 推進テーマ一覧
- 2 平成27年度研究指定校等一覧
- 3 地域教育力の活用事例（平成26年度）
- 4 市内公立中学校全卒業者の状況
- 5 平成26年度児童生徒の体位・体力
- 6 平成26年度学校管理下における災害発生状況
- 7 平成26年度学校給食の実施状況

III 生涯学習関係.....140

- 1 社会教育施設等一覧
- 2 史跡、文化財一覧

IV 各種審議会等委員.....144

《諮問機関等》

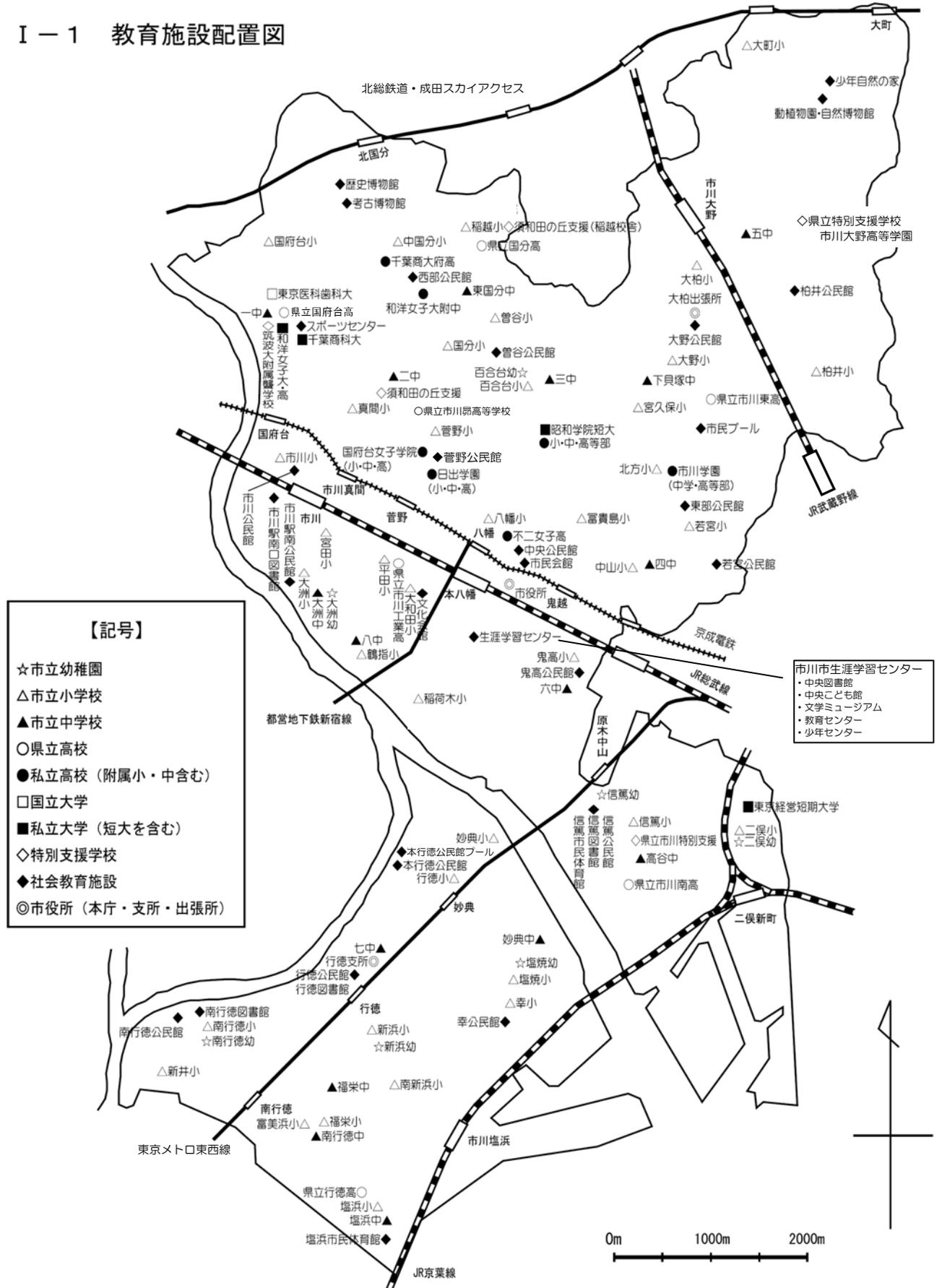
- 1 市川市奨学生選考委員会委員
- 2 市川市幼児教育振興審議会委員
- 3 市川市立小中学校通学区域審議会委員
- 4 市川市社会教育委員
- 5 市川市少年センター運営協議会委員
- 6 市川市公民館運営審議会委員
- 7 市川市文化財保護審議会委員
- 8 市川市心身障害児就学指導委員会委員
- 9 市川市博物館協議会委員
- 10 市川市教育振興会議委員

《各種団体等》

- 1 家庭教育指導員
- 2 市川市青少年相談員
- 3 市川市少年補導員

I 学校施設関係

I-1 教育施設配置図



I-2 学校一覧及び児童・生徒・園児数

【小学校】

(平成27年5月1日現在)

学校名	所在地	電話	創立年月日	児童数					
				普通			特別支援学級		
				学級数	男	女	計	学級数	児童数
1 市川小	市川2-32-5	(325)4758~9	明 7. 6. 1	19	297	301	598	4	32
2 真間小	真間4-1-1	(372)4726~7	昭 9. 11. 1	18	273	267	540	2	12
3 中山小	中山1-1-5	(335)2711~2	明16. 6. 15	20	312	311	623	2	10
4 八幡小	八幡3-24-1	(325)4763~4	明 6. 3. 1	18	353	296	649	3	29
5 国分小	東国分2-4-1	(371)6793~4	明 6. 6. 1	12	158	154	312	3	19
6 大柏小	大野町2-1877	(337)8141~2	明 6. 2. 20	20	344	342	686	2	11
7 宮田小	新田4-8-15	(379)7647~8	昭25. 4. 1	13	170	199	369		
8 富貴島小	八幡6-10-11	(334)2624~5	昭26. 4. 1	18	262	249	511		
9 若宮小	若宮3-54-10	(339)2177~8	昭27. 4. 1	19	269	294	563	2	12
10 国府台小	国府台5-25-4	(372)4672~3	昭27. 4. 1	19	331	306	637	1	3
11 平田小	平田3-28-1	(379)6761~2	昭28. 4. 1	13	224	181	405	2	15
12 鬼高小	鬼高2-13-5	(335)0304~5	昭31. 4. 1	29	494	470	964		
13 菅野小	菅野6-14-1	(324)5955~6	昭32. 4. 1	17	283	249	532	1	4
14 行徳小	富浜1-1-40	(357)3116~7	明 6. 2. 16	31	554	571	1,125	5	43
15 信篤小	原木2-16-1	(328)0165~6	明 8. 7. 12	26	438	428	866	1	8
16 稲荷木小	稲荷木1-14-1	(376)5961~2	昭31. 4. 1	12	211	198	409	2	13
17 南行徳小	欠真間1-6-38	(357)3126~7	明 6. 10. 9	21	358	335	693		
18 鶴指小	大和田4-11-1	(379)3588~9	昭42. 4. 1	14	237	196	433	1	7
19 宮久保小	宮久保5-7-1	(371)2747~8	昭43. 4. 1	23	385	340	725		
20 二俣小	二俣678	(328)0105~6	昭45. 4. 1	12	154	180	334	1	3
21 中国分小	中国分1-22-1	(371)7886~7	昭47. 4. 1	18	290	235	525		
22 曾谷小	曾谷7-18-1	(371)7888~9	昭47. 4. 1	16	244	219	463		
23 大町小	大町84-10	(337)3610・3635	昭48. 4. 1	6	62	57	119		
24 北方小	北方町4-1356-1	(339)1701~2	昭49. 4. 1	10	131	130	261	3	17
25 新浜小	行徳駅前4-5-1	(395)5331~2	昭50. 4. 1	27	483	414	897	2	14
26 百合台小	曾谷6-10-1	(374)1811~2	昭52. 4. 1	17	266	251	517	2	10
27 富美浜小	南行徳2-3-1	(396)2522~3	昭53. 4. 1	26	442	425	867	2	13
28 柏井小	柏井町1-1149-1	(337)8877~8	昭54. 4. 1	17	263	280	543		
29 大洲小	大洲4-18-1	(370)0300・0315	昭54. 4. 1	17	254	265	519		
30 幸小	幸1-11-1	(396)0770・0773	昭54. 4. 1	19	269	299	568		
31 新井小	新井1-18-13	(357)1722・1727	昭55. 4. 1	31	528	481	1,009	3	20
32 南新浜小	新浜1-26-1	(396)9731・9757	昭55. 4. 1	20	292	343	635		
33 大野小	南大野1-42-1	(338)3000~1	昭55. 4. 1	24	414	379	793		
34 塩焼小	塩焼5-9-8	(397)1231~2	昭56. 4. 1	26	406	420	826	2	12
35 稲越小	稲越町518-2	(373)8401~2	昭56. 4. 1	6	84	76	160		
36 塩浜小	塩浜4-5-1	(397)1250~1	昭56. 4. 1	6	74	76	150		
37 大和田小	大和田1-1-3	(378)5001・5032	昭58. 4. 1	17	222	255	477		
38 福栄小	南行徳2-2-1	(397)8115~6	昭60. 4. 1	11	131	123	254		
39 妙典小	妙典2-14-2	(399)5891~2	平11. 4. 1	21	332	375	707	1	1
計				709	11,294	10,970	22,264	47	308

【通級指導教室(人数は再掲)】

(平成27年5月1日現在)

学校名	種 別	設置年月日	学級数	男	女	計	備 考
1 新浜小	情 緒	平10. 4. 1	1	7	1	8	
2 新井小	言 語	平 8. 4. 1	1	10	3	13	
3 平田小	情 緒	平14. 5. 1	1	11	3	14	
4 中国分	情 緒	平18. 9. 1	1	8	1	9	
5 北方小	言 語	平21. 4. 1	1	15	1	16	
6 大野小	情 緒	平26. 4. 1	1	5	2	7	
7 妙典小	情 緒	平26. 4. 1	1	7	4	11	
8 福栄中	情 緒	平27. 4. 1	1	1	1	2	

【小学校】

(平成27年5月1日現在)

学校名	教職員等の状況									校長名	備考
	校長	副校長 教頭	教諭	助教諭	養護 教諭	学校栄養 職員 栄養教諭	事務 職員	欠補	計		
1 市川小	1	1	26		1	1	1		31	杉山由美子	
2 真間小	1	1	21		1	1	1	1	27	平山 健次	
3 中山小	1	1	23		1	1	1	2	30	藤間 博之	
4 八幡小	1	1	23		1		1	1	28	篠崎 道成	
5 国分小	1	1	16		1		1	1	21	黒木 政継	
6 大柏小	1	1	26		1	1	1	1	32	吉田 博志	
7 宮田小	1	1	15		1	1	1		20	阿部 貴幸	
8 富貴島小	1	1	20		1	1	1		25	神村 智幸	
9 若宮小	1	1	24		1		1		28	押田 敏郎	
10 国府台小	1	1	22		1	1	1		27	石塚 浩	
11 平田小	1	1	18		1		1		22	末廣 治彦	
12 鬼高小	1	1	32		2	1	1	2	40	石原 孝幸	
13 菅野小	1	1	21		1	1	1		26	赤石 欣弥	
14 行徳小	1	1	44		2		2		50	吉野 和雅	
15 信篤小	1	1	30		2	1	1		36	内田 恭一	
16 稲荷木小	1	1	15		1	1	2		21	黒須 敏夫	
17 南行徳小	1	1	23		1	1	1		28	水越 英明	
18 鶴指小	1	1	18		1		1		22	太田 秀人	
19 宮久保小	1	1	24		1	1	1	1	30	佐藤 伸雄	
20 二俣小	1	1	15		1	1	1		20	金子 俊郎	
21 中国分小	1	1	20		1	1	1	1	26	森田 豊	
22 曾谷小	1	1	18		1	1	1		23	岩下 裕昭	
23 大町小	1	1	7		1	1	1		12	竹田 良男	
24 北方小	1	1	14		1		1	1	19	岩下 浩二	
25 新浜小	1	1	33		2		2	1	40	近藤 利一	
26 百合台小	1	1	19		1	1	1	2	26	早川 清	
27 富美浜小	1	1	31		2		2	1	38	吉川百合子	
28 柏井小	1	1	19		1	1	1		24	森谷 有人	
29 大洲小	1	1	19		1	1	1	1	25	山中 利之	
30 幸小	1	1	21		1	1	1		26	明石 多門	
31 新井小	1	1	35		2	1	2	2	44	小川 敏正	
32 南新浜小	1	1	22		1	1	1	1	28	櫻井 茂樹	
33 大野小	1	1	26		1	1	1	1	32	鈴木 敏之	
34 塩焼小	1	1	30		1		1	3	37	藤本 和子	
35 稲越小	1	1	7		1		1	1	12	嶋田 信子	
36 塩浜小	1	2	9		1	1	1		15	渡邊 晴美	
37 大和田小	1	1	20		1	1	1		25	都築 茂	
38 福栄小	1	1	10		1		1	2	16	杉本 和隆	
39 妙典小	1	1	25		1		1		29	片野 良治	
計	39	40	841		45	26	44	26	1,061		

【中 学 校】

(平成27年5月1日現在)

学校名	所在地	電 話	創立年月日	生 徒 数					
				普 通				特別支援学級	
				学級数	男	女	計	学級数	生徒数
1 第一中	国府台2-7-1	(371)6045~6	昭22. 5. 1	19	375	300	675	2	13
2 第二中	須和田2-34-1	(371)6188~9	昭22. 5. 1	19	377	303	680	2	14
3 第三中	曾谷3-2-1	(371)7341~2	昭22. 5. 1	21	374	337	711		
4 第四中	中山1-11-1	(335)3431~2	昭22. 5. 1	19	339	312	651	1	6
5 第五中	大野町3-1993	(337)8344~5	昭22. 5. 1	18	305	338	643	2	13
6 第六中	鬼高3-16-1	(370)0535~6	昭34. 4. 1	19	372	302	674		
7 第七中	末広1-1-48	(357)3183~4	昭37. 4. 1	24	446	408	854	4	21
8 第八中	大和田4-9-1	(370)1394~5	昭42. 4. 1	19	346	307	653	6	36
9 下貝塚中	下貝塚3-13-1	(371)8800~1	昭54. 4. 1	21	366	372	738		
10 高谷中	高谷1627-1	(328)0211~2	昭54. 4. 1	14	228	241	469	1	6
11 福栄中	福栄3-4-1	(396)0701~2	昭54. 4. 1	21	433	348	781	2	14
12 東国分中	東国分3-5-1	(371)5963~4	昭55. 4. 1	9	129	146	275	1	5
13 大洲中	大洲4-21-5	(378)5783・5785	昭57. 4. 1	夜(3) 12	夜(11) 205	夜(11) 155	夜(22) 360		
14 塩浜中	塩浜4-6-1	(397)4421~2	昭57. 4. 1	5	64	74	138		
15 南行徳中	南行徳2-2-2	(397)5910~1	昭60. 4. 1	20	333	340	673		
16 妙典中	妙典5-22-1	(395)5811~2	昭61. 4. 1	27	479	471	950		
計				夜(3) 287	夜(11) 5,171	夜(11) 4,754	夜(22) 9,925	21	128
1 須和田の丘小	稲越町518-2	(373)9000	昭48. 4. 1	11	33	10	43		
2 須和田の丘中	須和田2-34-1	(371)2258~9	昭32. 4. 1	8	26	11	37		
3 須和田の丘高	〃	〃	昭47. 4. 1	10	43	16	59		
計				29	102	37	139		

※大洲中学校及び計欄の夜()は夜間中学校の学級数、生徒数である。

【幼 稚 園】

(平成27年5月1日現在)

幼稚園名	所在地	電 話	創立年月日	園 児 数				園 長 名
				(年少～年長)				
				クラス	男	女	計	
1 二 俣	二俣678	(328)2324	昭46. 4. 1	1	9	7	16	梶田 美恵子
2 信 篤	高谷1-8-1	(328)2325	昭46. 4. 1	4	61	50	111	福原 郁子
3 大 洲 (特別支援)	大洲4-3-12	(370)3648	昭49. 9. 20	4 0	45 7	60 1	105 8	齊藤 雅代
4 南 行 徳 (特別支援)	欠真間1-6-15	(358)5333	昭50. 4. 1	6 0	85 9	114 4	199 13	利根川 美恵
5 百 合 台 (特別支援)	曾谷6-10-1	(373)8937	昭50. 7. 3	3 0	48 6	44 1	92 7	猪狩 淑子
6 新 浜	行徳駅前4-5-2	(396)2521	昭53. 4. 1	4	62	59	121	大塚 光子
7 塩 焼	塩焼5-9-1	(397)3857	昭57. 4. 3	6	108	106	214	加賀 陽子
計				28	440	446	886	

【中学校】

(平成27年5月1日現在)

学校名	教職員等の状況									校長名	備考
	校長	副校長 教頭	教諭	助教諭	養護 教諭	学校栄 養職員 栄養教諭	事務 職員	欠補	計		
1 第一中	1	1	31		1		1	2	37	中村 敏弥	
2 第二中	1	1	32		1	1	1	1	38	高鍋誠太郎	
3 第三中	1	1	31		1		1	2	37	川口 知子	
4 第四中	1	1	30		1		1	1	35	古山 弘志	
5 第五中	1	1	31		1	1	1	2	38	亀井 正則	
6 第六中	1	1	31		1		1	1	36	稲葉 清	
7 第七中	1	2	40		2	1	2	4	52	藤平 一成	
8 第八中	1	1	33		1		2	3	41	大嶋 章一	
9 下貝塚中	1	1	30		2	1	1	3	39	林 直也	
10 高谷中	1	1	25		1		1	1	30	辻内 高	
11 福栄中	1	1	37		1	1	2		43	立岡 康徳	
12 東国分中	1	1	17		1		1	1	22	高井 伸明	
13 大洲中	1	夜(1) 1	夜(3) 18		1		1	1	夜(4) 23	加瀬 次郎	
14 塩浜中	1	1	11		1		1	1	16	渡邊 晴美	
15 南行徳中	1	1	29		1	1	1	2	36	神林 裕子	
16 妙典中	1	1	40		2	1	2	2	49	大喜多栄逸	
計	16	夜(1) 17	夜(3) 466		19	7	20	27	夜(4) 572		
1 須和田の丘小	1	1	19		1		1	3	26	高梨 治夫	
2 須和田の丘中		1	20		1	1	3	2	28	〃	
3 須和田の丘高			18		1			7	26	〃	
計	1	2	57		3	1	4	12	80		

I-3 学校施設の建物・面積

【小学校】

(平成27年5月1日現在)

No.	学校名	校舎			保有教室数										屋内運動場			校地面積				
		保有面積 (㎡)			特別教室関係 (室数)										保有面積 (㎡)			保有面積 (㎡)				
		鉄筋	鉄骨	木造	理科	生活	音楽	図画・工作	家庭	視聴覚	コンピュータ	図書室	特別活動	教育相談	鉄筋	鉄骨		建物敷地	運動場	その他		
1	市川小	7,004	6,940	64	0	1	0	2	1	1	1	1	2	6	2	1,054	889	165	10,305	7,105	3,200	0
2	真間小	6,257	6,186	71	0	1	1	2	1	2	0	1	2	2	1	1,087	1,087	0	10,314	4,914	5,400	0
3	中山小	7,833	7,756	77	0	2	2	2	1	1	1	0	2	2	1	848	848	0	15,296	11,813	3,483	0
4	八幡小	5,989	5,791	198	0	1	0	1	1	1	0	1	1	6	1	1,110	0	1,110	9,435	5,571	3,864	0
5	国分小	5,963	5,963	0	0	1	1	1	1	1	0	1	2	12	1	1,042	0	1,042	13,183	6,487	6,696	0
6	大柏小	6,362	6,270	92	0	1	0	1	1	1	1	1	1	5	1	971	0	971	14,756	10,838	3,918	0
7	宮田小	4,503	4,360	126	17	1	0	1	1	1	0	1	2	4	1	711	711	0	8,502	4,725	3,777	0
8	富貴島小	6,128	6,082	46	0	1	0	1	1	1	0	1	2	5	1	982	982	0	12,921	6,130	6,791	0
9	若宮小	5,851	5,793	58	0	1	1	2	1	1	1	1	2	7	1	944	944	0	11,864	7,019	4,845	0
10	国府台小	7,191	6,766	425	0	1	1	2	1	1	0	1	2	13	1	849	0	849	14,573	7,223	5,605	1,745
11	平田小	6,394	6,341	53	0	1	1	2	1	1	1	1	2	13	1	981	0	981	12,379	7,874	4,505	0
12	鬼高小	7,700	7,673	27	0	2	0	2	1	1	1	1	2	6	2	1,025	0	1,025	15,680	8,984	6,696	0
13	菅野小	6,239	6,066	173	0	1	1	1	1	1	1	1	2	7	2	1,024	0	1,024	0	0	0	0
14	行徳小	8,117	8,031	86	0	2	1	2	1	1	0	1	2	9	0	963	0	963	17,927	9,999	7,928	0
15	信篤小	6,673	6,629	44	0	2	0	2	1	1	0	1	2	8	1	962	0	962	14,757	6,776	7,981	0
16	稲荷木小	5,857	5,828	29	0	1	1	2	1	1	1	1	2	12	1	777	0	777	10,000	5,323	4,677	0
17	南行徳小	7,819	7,707	112	0	2	1	2	1	1	1	1	2	10	2	1,158	1,158	0	18,354	10,594	7,760	0
18	鶴指小	7,665	7,638	27	0	2	1	2	1	1	1	1	2	12	0	732	732	0	13,299	6,820	6,479	0
19	宮久保小	6,336	6,270	66	0	1	0	1	1	1	1	1	2	8	2	988	988	0	14,354	7,938	6,416	0
20	二俣小	5,879	5,828	51	0	1	1	2	1	1	0	1	2	12	1	1,125	1,125	0	16,375	6,793	9,582	0
21	中国分小	4,975	4,938	37	0	1	0	1	1	1	0	1	2	0	1	819	0	819	16,824	8,654	8,170	0
22	曾谷小	6,756	6,723	33	0	1	1	2	1	1	1	1	2	8	2	819	0	819	17,580	7,636	9,944	0
23	大町小	4,609	4,586	23	0	1	1	1	1	1	1	1	2	10	1	837	0	837	13,330	5,480	7,850	0
24	北方小	5,269	5,111	158	0	1	0	1	1	1	1	1	2	5	2	844	0	844	12,728	5,201	7,527	0
25	新浜小	7,889	7,862	27	0	1	0	2	1	1	1	1	2	5	2	909	0	909	15,555	7,949	7,606	0
26	百合台小	6,206	6,179	27	0	1	0	1	1	1	1	1	2	7	1	963	0	963	14,649	6,983	6,466	1,200
27	富美浜小	7,475	7,394	81	0	2	0	2	1	1	1	1	2	7	0	963	0	963	16,527	7,621	8,906	0
28	柏井小	4,172	4,128	44	0	1	1	1	1	1	0	1	1	3	1	963	0	963	15,559	8,204	7,355	0
29	大洲小	4,735	4,708	27	0	1	0	1	1	1	1	1	2	4	1	963	0	963	13,833	5,807	8,026	0
30	幸小	7,312	7,285	27	0	1	2	2	1	1	1	1	2	10	3	1,104	1,104	0	9,849	5,411	4,438	0
31	新井小	6,212	6,173	39	0	1	2	1	1	1	1	1	2	5	1	972	0	972	13,639	5,601	6,200	1,838
32	南新浜小	5,816	5,776	40	0	1	1	2	1	1	0	1	2	6	2	971	0	971	18,168	7,272	10,896	0
33	大野小	6,654	6,615	39	0	2	1	2	1	1	0	1	2	11	2	972	0	972	16,057	7,646	8,411	0
34	塩焼小	7,439	7,412	27	0	2	0	2	1	1	1	1	2	8	2	984	0	984	17,367	7,174	10,193	0
35	稲越小	4,551	4,524	27	0	1	1	1	1	1	0	1	1	6	2	984	0	984	19,700	7,780	11,920	0
36	塩浜小	6,400	6,373	27	0	1	1	1	1	1	0	1	1	20	2	984	0	984	15,487	9,406	6,081	0
37	大和田小	4,596	4,031	565	0	1	1	1	1	1	0	1	1	3	1	789	0	789	13,387	6,456	6,931	0
38	福栄小	4,726	4,699	27	0	2	1	2	1	1	0	1	1	6	2	1,100	1,100	0	10,910	4,536	6,367	7
39	妙典小	10,939	9,491	1,448	0	1	0	2	1	1	0	1	2	15	2	1,265	1,265	0	0	0	0	0
計		248,491	243,926	4,548	17	49	26	61	39	40	21	38	71	298	53	37,538	12,933	24,605	525,423	267,743	252,890	4,790

【中学校】

(平成27年5月1日現在)

No.	学校名	校舎			保有教室数											屋内運動場			校地面積					
		保有面積 (㎡)			特別教室関係 (室数)											保有面積 (㎡)			保有面積 (㎡)					
		鉄筋	鉄骨	木造	理科	音楽	美術	技術	家庭	外国語	視聴覚	コンピュータ	図書室	特別活動	教育相談	進路資料・指導	鉄筋	鉄骨	建物敷地	運動場	その他			
1	第一中	7,503	7,123	380	0	2	2	1	2	2	2	1	1	2	7	1	1	1,253	0	1,253	0	0	0	
2	第二中	6,342	6,097	245	0	2	2	1	2	2	0	0	2	1	4	1	0	1,062	0	1,062	19,640	10,293	9,347	0
3	第三中	6,923	6,812	111	0	1	2	1	2	2	0	1	1	1	1	0	0	1,155	0	1,155	21,101	13,015	6,861	1,225
4	第四中	6,228	6,201	27	0	2	1	1	1	2	1	1	1	1	3	1	0	1,588	0	1,588	13,262	6,190	6,451	621
5	第五中	7,964	7,892	42	30	3	2	1	1	2	1	0	1	1	12	2	1	1,150	0	1,150	11,293	2,285	8,548	460
6	第六中	7,531	7,444	87	0	3	2	1	1	2	0	1	2	1	3	2	0	1,485	0	1,485	16,764	7,318	8,971	475
7	第七中	12,038	11,866	172	0	3	2	2	2	2	0	1	2	1	10	1	0	1,389	1,389	0	23,518	15,096	8,422	0
8	第八中	7,836	7,783	53	0	2	2	1	2	2	0	1	1	1	6	2	0	1,144	1,144	0	17,463	7,375	10,088	0
9	下貝塚中	6,167	6,128	39	0	2	2	1	2	2	0	1	1	2	3	1	0	1,160	0	1,160	16,656	6,593	10,063	0
10	高谷中	6,830	6,791	39	0	2	2	2	2	2	0	1	1	2	4	1	1	1,159	0	1,159	18,535	5,805	12,598	132
11	福栄中	7,825	7,786	39	0	2	2	2	2	2	0	2	1	1	9	1	0	1,160	0	1,160	19,834	9,005	10,829	0
12	東国分中	6,181	6,168	13	0	2	2	1	2	2	0	1	1	2	10	1	0	1,163	0	1,163	20,014	6,953	13,061	0
13	大洲中	6,596	6,560	36	0	2	1	1	1	2	0	1	1	1	5	2	0	1,353	1,353	0	14,182	7,073	7,109	0
14	塩浜中	4,690	4,663	27	0	2	2	1	1	2	0	1	1	2	6	2	1	1,021	1,021	0	17,160	4,954	12,206	0
15	南行徳中	6,080	6,016	64	0	2	2	1	1	2	0	0	1	1	3	1	0	1,403	1,403	0	14,234	4,861	9,172	201
16	妙典中	8,056	6,291	1,765	0	3	2	1	1	2	0	1	1	2	4	2	0	1,446	73	1,373	16,540	7,980	8,560	0
計		114,790	111,621	3,139	30	35	30	19	25	32	4	14	19	22	100	21	4	20,091	6,383	13,708	260,196	114,796	142,286	3,114

【特別支援学校】

(平成27年5月1日現在)

No.	学校名	校舎			校地面積				
		保有面積 (㎡)			保有面積 (㎡)				
		鉄筋	鉄骨	木造	建物敷地	運動場	その他		
1	須和田の丘	3,048	2,900	148	0	3,636	1,890	1,746	0
2	須和田の丘 (稲越校舎)	1,052	1,052	0	0	0	0	0	0
計		4,100	3,952	148	0	3,636	1,890	1,746	0

【幼稚園】

(平成27年5月1日現在)

No.	幼稚園名	園舎			校地面積				
		保有面積 (㎡)			保有面積 (㎡)				
		鉄筋	鉄骨	木造	建物敷地	運動場	その他		
1	二俣幼	1,551	1,472	79	0	2,700	1,530	1,170	0
2	信篤幼	1,218	1,178	40	0	3,313	2,081	1,232	0
3	大洲幼	1,149	1,149	0	0	2,048	1,344	704	0
4	南行徳幼	1,706	1,706	0	0	2,911	2,092	819	0
5	百合台幼	1,341	1,341	0	0	2,734	1,708	1,026	0
6	新浜幼	1,059	1,046	13	0	2,000	938	1,062	0
7	塩焼幼	1,258	1,258	0	0	2,800	1,620	1,180	0
計		9,282	9,150	132	0	18,506	11,313	7,193	0

I-4 平成26年度 学校施設の整備成果

1 学校施設の整備について

学校施設は、子どもたちにとって一日の大半を過ごす学習・生活の場であり、子どもたちが安心して快適に過ごせる場を提供するという観点から施設の整備を実施しています。

学校施設の大半は建設後30年以上経過し、老朽化が進んでいるため、順次改修工事等を進めています。

また、学校施設は子どもたちの学習・生活の場であるとともに、災害発生時には地域住民の避難場所としての役割も果たし、その安全性の確保は極めて重要であることから、耐震診断の結果に基づき、補強改修や建替えが必要な校舎等について、計画的に工事を行っています。

2 平成26年度実施の主な事業

(1) 営繕事業

建設後、相当年数を経過し、老朽化が進んでいることから、児童・生徒等の安全面を優先に衛生面、環境面を考慮し、屋上防水改修、トイレ改修などの工事を行った。

(2) 耐震補強・校舎建替事業

昭和56年以前に建築された学校施設については、新耐震基準に適合していない建物があるため、耐震診断の結果に基づき、補強が必要な施設について耐震補強工事及び建替工事を行った。



3 営繕事業の主な写真

- | | | | |
|--------------|-----------|---------------|-----------|
| ・ 屋上防水改修工事 | 真間小学校 | ・ 防球ネット等改修工事 | 東国分中学校 |
| ・ プール改修工事 | 中山小学校 | ・ プールサイド等改修工事 | 幸小学校 |
| ・ 冷温水ポンプ取替工事 | 妙典小学校 | ・ 冷暖房機工事 | 塩焼小学校ほか8校 |
| ・ 家庭科調理室改修工事 | 須和田の丘支援学校 | ・ 渡り廊下建替え工事 | 平田小学校 |
| ・ トイレ改修工事 | 真間小学校ほか2校 | など | |

屋上防水改修工事 真間小学校



防球ネット等改修工事 東国分中学校



プール改修工事 中山小学校



プールサイド等改修工事 幸小学校



冷温水ポンプ取替工事 妙典小学校



冷暖房機工事 塩焼小学校



家庭科調理室改修工事 須和田の丘支援学校



渡り廊下建替え工事 平田小学校



トイレ改修工事 真間小学校



トイレ改修工事 八幡小学校



トイレ改修工事 二俣小学校



4 耐震補強・校舎建替事業の主な写真

- ・建替工事 国分小学校、第四中学校
- ・耐震補強工事 富貴島小学校ほか

建替工事 国分小学校



建替工事 第四中学校



耐震補強工事 富貴島小学校



耐震補強工事 宮久保小学校



耐震補強工事 北方小学校



I-5 教職員の構成(県費負担)

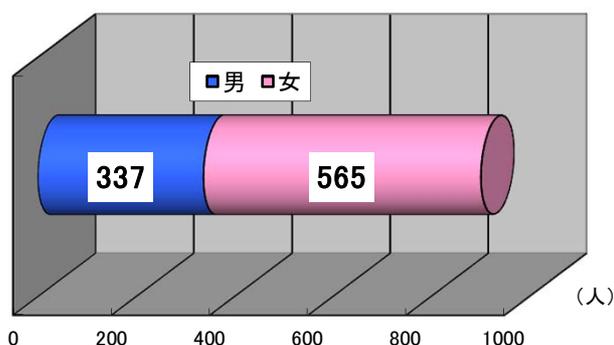
(養護教諭、学校栄養職員、事務職員、再任用等を除く)

【小学校】

性別構成

	男	女	計(人)
小学校	337	565	902
割合(%)	37.4%	62.6%	100%

小学校



年齢別構成

	24歳以下	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55歳以上	計(%)
男(337人)	3.9%	18.1%	21.1%	11.6%	5.9%	3.9%	10.4%	25.1%	100%
女(565人)	3.7%	15.6%	20.4%	11.9%	6.5%	7.8%	12.6%	21.5%	100%

勤務年数別構成

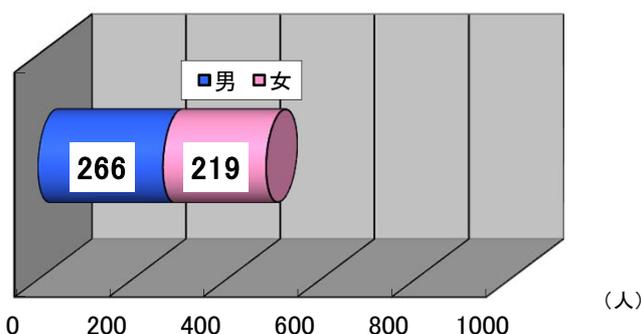
	5年未満	5～9年	10～14年	15～19年	20～24年	25～29年	30～34年	35年以上	計(%)
男(337人)	25.5%	22.8%	12.2%	1.2%	1.2%	9.2%	17.5%	10.4%	100%
女(565人)	18.6%	21.2%	17.5%	2.3%	2.2%	11.5%	12.2%	14.5%	100%

【中学校】

性別構成

	男	女	計(人)
中学校	266	219	485
割合(%)	54.8%	45.2%	100%

中学校



年齢別構成

	24歳以下	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55歳以上	計(%)
男(266人)	3.4%	16.9%	14.7%	10.5%	4.5%	6.4%	16.5%	27.1%	100%
女(219人)	5.0%	19.6%	12.8%	11.0%	9.6%	7.3%	11.0%	23.7%	100%

勤務年数別構成

	5年未満	5～9年	10～14年	15～19年	20～24年	25～29年	30～34年	35年以上	計(%)
男(266人)	23.3%	17.7%	7.9%	3.0%	0.0%	13.9%	25.2%	9.0%	100%
女(219人)	27.9%	14.6%	9.6%	5.5%	2.7%	8.7%	19.6%	11.4%	100%

【特別支援学校】

年齢別構成

	24歳以下	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55歳以上	計(%)
総数62人	4.8%	21.0%	17.7%	16.1%	8.1%	8.1%	11.3%	12.9%	100%

勤務年数別構成

	5年未満	5～9年	10～14年	15～19年	20～24年	25～29年	30～34年	35年以上	計(%)
総数62人	37.0%	22.5%	8.1%	6.5%	6.5%	4.8%	8.1%	6.5%	100%

I-6. 国・県・私立学校・幼稚園等一覧 (H27. 5. 1現在)

(1) 大学

No.	大学名	所在地	開学年月	電話	学長名	設置学部等	入学定員
1	和洋女子大学	国府台 2-3-1	昭 24.4	(371)1111	岸田 宏司	人文学群 家政学群	370 280
2	千葉商科大学	国府台 1-3-1	昭 25.4	(372)4111	島田 晴雄	商経学部 政策情報学部 サービス創造学部 人間社会学部 国際教養学部	800 200 200 200 75
3	東京医科歯科大学教養部	国府台 2-8-30	昭 40.4	(300)7105	吉澤 靖之	医学部 歯学部	191 85

(2) 短期大学

No.	大学名	所在地	開学年月	電話	学長名	設置学部等	入学定員
1	昭和学院短期大学	東菅野 2-17-1	昭 25.4	(324)7115	畑江 敬子	人間生活学科 ヘルスケア栄養学科	90 80
2	東京経営短期大学	二俣 625-1	平 4. 4	(328)6161	岡部 徳三	経営総合学科	130

(3) 高等学校

No.	学校名	所在地	創立年月日	電話	校長名	職員数	学科	定員数
1	県立国府台高等学校	国府台2-4-1	昭18. 4. 1	(373)2141	本城 学	57	普通	960
2	県立市川工業高等学校全日制	平田3-10-10	〃 18. 4.25	(378)4186	藤平 秀幸	57	工業	800
3	県立市川工業高等学校定時制	平田3-10-10	〃 18. 4.25	(378)4186	〃	26	工業	320
4	県立国分高等学校	稲越町310	〃 39. 4. 1	(371)6100	田邊 昭雄	57	普通	960
5	県立行徳高等学校	塩浜4-1-1	〃 49. 4. 8	(395)1040	村瀬 繁義	41	普通	600
6	県立行徳高等学校定時制	塩浜4-1-1	〃 53. 4.10	(395)1040	〃	10	普通	160
7	県立市川東高等学校	北方町4-2191	〃 52. 4. 1	(338)6810	小川 輝男	60	普通	1,080
8	県立市川昴高等学校	東国分1-1-1	〃 54. 4. 10	(371)2841	柴田 淳	58	普通	1,000
9	県立市川南高等学校	高谷1509	〃 56. 4.1	(328)6001	浅野 修一	52	普通	960
No.	学校名	所在地	設置認可年月日	電話	校長名	職員数	学科	定員数
10	国府台女子学院高等部	菅野3-24-1	昭26. 2.13	(326)8100	平田 史郎	—	普通 英語	840 120
11	昭和学院高等学校	東菅野2-17-1	〃 23. 3.31	(323)4171	井上 俊彦	—	普通	1,080
12	市川高等学校	本北方2-38-1	〃 23. 3.31	(339)2681	宮崎 章	—	普通	1,290
13	和洋国府台女子高等学校	国府台2-3-1	〃 23. 3.31	(371)1120	太田 陽太郎	—	普通 ファッション テクニクス	1,080 120
14	日出学園高等学校	菅野3-23-1	〃 25. 3.31	(324)0071	堤 雅義	—	普通	480
15	千葉商科大学付属高等学校	中国分2-10-1	〃 26. 1.30	(373)2111	森 久人	—	普通 商業	705 120
16	不二女子高等学校	八幡4-5-7	〃 52. 12.9	(333)6345	奥野木正彦	—	普通	432

(4) 中学校

No.	学校名	所在地	設立認可年月日	電話	校長名	区分	定員数
1	国府台女子学院中学部	菅野3-24-1	昭22. 5. 5	(322)7770	平田 史郎	女子	750
2	日出学園中学校	菅野3-23-1	〃 22. 5.19	(324)0071	堤 雅義	共学	360
3	昭和学院中学校	東菅野2-17-1	〃 22. 5.19	(323)4171	井上 俊彦	共学	432
4	市川中学校	本北方2-38-1	〃 22. 5.19	(339)2681	宮崎 章	共学	960
5	和洋国府台女子中学校	国分4-20-1	〃 24. 1.21	(374)0111	太田 陽太郎	女子	840

(5) 小学校

No.	学校名	所在地	設立認可年月日	電話	校長名	区分	定員数
1	日出学園小学校	菅野3-23-1	昭 9. 3.31	(322)3660	平山 淳子	共学	900
2	昭和学院小学校	東菅野2-17-1	〃 24.12.26	(300)5844	鈴木 祐子	共学	480
3	国府台女子学院小学部	菅野3-24-1	〃 34.12. 17	(322)5644	平田 史郎	女子	480

(6) 特別支援学校

No.	学校名	所在地	創立年月日	電話	校長名	学部	生徒数
1	筑波大学附属 聴覚特別支援学校	国府台2-2-1	明 8. 5. 22	(371)4135	原島 恒夫	幼稚部 小学部 中学部 高等部 普通科 高等部専攻科造形芸術科 高等部専攻科ビジネス情報科 高等部専攻科歯科技工	
2	県立市川特別支援学校	原木1862	昭59. 4. 1	(327)4155	石塚 由乙	小学部 中学部 高等部	76 50 98
3	県立特別支援学校 市川大野高等学園	大野町4-2274	平24.4.1	(303)8011	渡邊 昌夫	高等部	287

(7) 各種学校

No.	学校名	所在地	設置認可 年月日	電話	学校設置者	分野	定員
1	共進珠算学校	八幡 3-4-19	昭 27.8.12	(322)4997	松田 弘	簿記・珠算	195
2	若宮珠算学校	中山 1-25-3	昭 31.5.23	(333)7713	渡辺 ふみ子	簿記・珠算	100
3	市川和裁技術学院	市川南2-3-17	昭39.4.3	(322)0856	小林 幸子	和洋裁	40

(8) 私立幼稚園一覧表

No.	幼稚園名	所在地	設置認可年月日	電話	園長名
1	日出学園幼稚園	菅野2-21-12	昭 9. 3. 30	(322)4012	早川 好江
2	自然幼稚園	市川1-24-21	〃 24. 8.31	(322)4095	石田 カチエ
3	和光幼稚園	相之川2-12-28	〃 30. 5. 4	(357)2331	吉田 弘之
4	市川学園幼稚園	八幡5-1-10	〃 28. 1.31	(334)4770	藤谷 佐和子
5	市川学園第2幼稚園	東菅野4-13-1	〃 40. 2.18	(339)1531	白金 顕
6	みどり幼稚園	中山3-10-4	〃 29. 3.12	(334)1224	緑谷 一樹
7	国府台文化幼稚園	中国分3-6-24	〃 40. 4. 1	(372)7005	吉川 宜範
8	つくし幼稚園	大和田3-3-3	〃 41. 5.31	(376)5922	小平 数子
9	昭和学院幼稚園	宮久保1-3-8	〃 42. 4. 11	(374)8300	伊藤 三恵子
10	市川聖マリア幼稚園	八幡3-19-12	〃 24. 8.31	(323)5371	相澤 牧人
11	真間山幼稚園	真間4-9-1	〃 27. 12. 3	(371)7251	小平 一良
12	富貴島幼稚園	八幡6-12-12	〃 27. 12.25	(334)4778	由田 由佳理
13	アイリス幼稚園	北方2-29-9	〃 38. 5.1	(335)5530	新垣 博幸
14	須和田幼稚園	須和田1-20-3	〃 29. 3.30	(371)5457	鈴木 静江
15	共立幼稚園	新田4-15-27	〃 31. 3.29	(377)0851	腰本 和代
16	曾谷幼稚園	曾谷1-4-1	〃 40. 4. 1	(371)5440	松丸 早苗
17	白菊幼稚園	南八幡3-15-1	〃 40. 4. 1	(378)2160	山崎 一範
18	大町不二幼稚園	大町103	〃 45. 4. 1	(337)8337	奥野木 正彦
19	若宮幼稚園	若宮3-53-4	〃 40. 3. 1	(339)2057	栗原 政實
20	わかたけ幼稚園	北方町4-1798	〃 40. 4. 1	(338)1661	櫻庭 公子
21	ソフィア幼稚園	稲荷木3-22-5	〃 40. 4. 1	(379)1015	難波 香子
22	宮久保幼稚園	宮久保6-7-2	〃 42. 4.11	(371)7320	吉原 正実
23	浄光寺幼稚園	大野町3-1917	〃 42. 4. 6	(337)8413	二宮 由泰
24	国分幼稚園	曾谷5-32-18	〃 43. 4. 1	(373)1481	鈴木 敬子
25	いなほ幼稚園	国分3-4-12	〃 47. 3.15	(373)2201	山崎 和男
26	鬼高幼稚園	鬼高3-14-18	〃 46. 4. 1	(370)6583	堀内 しほ子
27	築葉根幼稚園	北方町4-2171	〃 51. 3.31	(338)4800	小林 直己
28	原木幼稚園	原木1-8-1	〃 52. 3.31	(327)1291	藍原 恵子
29	アンデルセン幼稚園	堀之内1-9-17	〃 52. 3.31	(374)1751	広木 美代子
30	東浜幼稚園	行徳駅前3-12-14	〃 53. 2.25	(396)5321	川崎 善明
31	市川東学院三愛幼稚園	東国分1-20-12	〃 54. 2.28	(373)7272	芝田 弘一
32	塩浜幼稚園	塩浜4-2-28-101	〃 56. 2. 28	(399)2578	山口 圭子

II 学校教育関係

平成27年度 第4期 市川の学校教育三ヵ年計画(創意と活力のある学校づくり) 推進テーマ一覧

1 小学校

No.	学校名	推進テーマ	研究教科等
1	市川小	やさしいところで かしく たくましく	国語
2	真間小	自分のよさを生かし、互いに認め、励まし、高め合える子どもの育成	国語・算数
3	中山小	「学ぶところ(学校)」「楽しいところ(楽校)」「力を合わせるところ(合校)」の3つの「がっこう」を標榜する中で、 ・知、徳、体の調和のとれた教育活動の推進(総合的な人間力の育成) ・生活科・理科を中心として各教科・領域における授業の充実を目指す。	理科・生活
4	八幡小	豊かな心の育成を中心に据え、学び方を学び、確かな学力と体力の向上を図る。	国語・算数
5	国分小	・児童一人一人が未来を切り拓くために「自分の考えが持てる子・心豊かで思いやりのある子・たくましく最後までやりぬく子」を育成する学校を目指す。 ・保護者や地域と連携し、安全で安心な信頼される学校を目指す。	国語・音楽・特別支援教育
6	大柏小	体験的な学習を中心に、人やものにつながる実感を大切にして自分の思いを主体的に表現できる子どもを育成する。	算数
7	宮田小	望ましい集団生活の日常化を図り、楽しい学校生活を創る子どもを育成する。	特別活動(学級活動)
8	富貴島小	◎読書活動と国語科教育を中核とし、「意欲」と「学ぶ力」を持った主体的な子どもの育成を目指す。 【研究主題】豊かな心を求めて「主体的な学びを育む単元を貫く言語活動の探究」	国語
9	若宮小	学ぶことが楽しい学校 (基礎基本の確実な習得、学び合い活動の推進、子どものよさを伸ばす)	理科・生活
10	国府台小	○すべての学習活動・学校生活を通して主体的に生きる力を育成する ～コミュニケーション能力身につけた子の育成(校内研究を活かして)～ ○学校生活の中で具体的な場面を設定し豊かな心を育てる	国語・算数
11	平田小	子ども一人一人が活躍できる学校 学校の役割は学力の保障と社会性を育てる等のためにあることを根底におき、一人一人の子どもの可能性を伸ばし一日の成長が確認できる教育を目指す。	国語・算数
12	鬼高小	○自己実現に取り組む児童の育成 ・「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」のバランスの良い児童の育成を目指す。 ・真向きに、児童の自信を育てる ○他者とともに取り組む児童の育成 ・異質な他者とも協働してより良いものを作り上げる児童の育成を目指す。	国語・算数
13	菅野小	「伝え合う力」の育成 子どもの探究心を育てる国語科、生活科・総合的な学習の時間 ～表現活動を高める授業づくり～	国語・生活・総合的な学習の時間
14	行徳小	豊かな学びを通して、心も体もジャンボな子どもを育てる。	国語・生活・総合的な学習の時間
15	信篤小	伝え合う力の育成 人と人との関係の中で、互いの立場や考えを尊重しながら、言語活動を通して自分の思いを伝え合う子	国語・道徳
16	稲荷木小	基礎・基本を確実に身に付け、自ら考え判断し行動できる、心豊かな児童の育成	国語
17	南行徳小	知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」をもつ子どもの育成	国語・算数
18	鶴指小	一人で生きていける強さと、他人とも生きていける優しさを培う － 学校・家庭・地域と連携して教育の向上を図る －	国語・算数
19	宮久保小	調和のとれた人間の育成を目指して ～子どもの思いや願いを大切にして～	国語
20	二俣小	豊かな心・健やかな体・確かな学力を持った児童の育成	算数

21	中国分小	地域・家庭と連携し、特色のある信頼される学校づくり —確かな学力をもち、心豊かでたくましい児童の育成—	国語・算数
22	曾谷小	自分の考えを持ち、主体的に学び合う子どもの育成	国語
23	大町小	豊かな自然と小規模校の特色を生かし、地域社会と連携した教育活動の展開を図る	全教科・領域
24	北方小	○基礎学力の定着を図り、より魅力的な授業の創造を目指す。 ○健康教育、算数科教育を中核とし、自ら問題解決を図る子の育成を目指す。 ○「まっつこ学級」を特別支援教育の核とし、意図的な交流、共同学習を推進し、学校全体の特別支援教育の充実を図る。 ○学校という場が「安全安心である」という期待に応えつつ、家庭・学校・地域が一体となって、防災拠点としての環境を整える。	健康教育・算数
25	新浜小	「子ども第一主義」に基づき、学校、保護者、地域が協働しながら、『チーム新浜』の精神で児童一人ひとりを大切に、豊かな体験活動を通して、「生きる力」を育てる。	健康教育 (体育)
26	百合台小	人と関わる力を育てる教育活動を推進する。	国語
27	富美浜小	学力・体力の基礎を培い、共に成長しあう豊かな関係を築き、未来を志向する児童の育成	算数
28	柏井小	豊かな体験を中心に、進んで学び、人や自然にやさしく体(命)を大切に育てる子どもを育成する	算数
29	大洲小	まなびいっぱい、元気いっぱい、やさしさいっぱいの子どもの育成	国語
30	幸小	子どもが楽しいと実感できる学校づくりを進める ・学習がわかる楽しさ ・すすんで行動できる楽しさ ・みんなと力を合わせる楽しさ ・個々が認められる楽しさ がんばる子どもたちを育てる ・伸びようとする意欲にあふれた子 ・なんにでもチャレンジしていく子 ・自分なりにがんばることのできる子 ・人のためにもがんばれる子	国語・算数・福祉教育
31	新井小	時代に合った真・善・美の追求 ～新井小ブランドを求めて～	国語・社会・算数・理科・生活
32	南新浜小	豊かな感性と確かな学力を持ち、人として社会に役立ち、たくましく生きる子どもの育成	算数
33	大野小	○ 子どもが学ぶ喜びを実感する中で、個性が響き合い、高め合う学校 ○ 人・自然・地域とのふれあいの中で、地域の核としてある学校	算数
34	塩焼小	一人一人の良さを見つけ、引き出し、伸ばす教育の実践	国語・算数
35	稲越小	小規模校の特色を生かし、縦割り活動で子どもたち同士がつながり、須和田の丘支援学校小学部との交流でつながり、地域の人々や自然環境とつながり、ユネスコスクールで世界とつながる。それを伝統として次代へつなげる。	国語
36	塩浜学園	小中一貫校「塩浜学園」として、義務教育9年間の豊かな「学び」と「育ち」をつなぎ、系統性・連続性を重視した教育を行うとともに、小規模校の良さを十分に発揮できる学校を目指す。	塩浜ふるさと防災科
37	大和田小	つながりと調和 調和のとれた児童の育成のため、平成27年度は学校目標の「(2)みんなと仲よく、協力し合って、楽しい学校生活を送ろう」を中心に「豊かな心」を重点的に育む	国語・算数
38	福栄小	健康や安全に気をつけて元気に生活でき、基礎・基本を身に付けて自ら学び、相手の立場や気持ちを考えて行動する、心豊かな児童の育成	算数
39	妙典小	自分の考えを明確に持ち、主体的に学ぶ子の育成	国語・総合的な学習の時間・(音楽)

2 中学校・特別支援学校

No.	学校名	推進テーマ	研究教科等
1	第一中	自ら学び、自ら考える、心豊かな生徒の育成 ～生徒・教師が生き生きと活動する学校づくりに向けて～	中高連携推進 研究指定
2	第二中	○生徒の学習力向上を目指した気づきを支援する授業の実践及び進路指導の充実 ○授業時間の確保と学習ルールの定着 ○できない(?)をできる(!)に変える授業の創意工夫(わかりやすい授業) ○進路指導の充実(キャリア教育の推進)	全教科
3	第三中	「将来大人として社会で立派に通用する人間の育成」	全教科・道徳
4	第四中	ユニバーサルデザインな学校をめざして ～指導要領が求めている諸課題と学校が抱える課題に対応した実践～ ①言語活動の充実を意識した授業の実践 ②教育活動全般を通じた、思考力・判断力・表現力の育成 ③ユニバーサルデザインな学校づくりのための支援・指導の在り方	理科
5	第五中	自ら学び考える生徒の育成 ～生徒が存在を感じられる授業のための指導工夫～	全教科・道徳・ 特別活動
6	第六中	○生徒一人一人を理解し、大切にす指導を目指す ○絶えず研究・研修に努め、支え合う、和のある教職員集団を目指す ○生徒同士、生徒と教職員が温かい人間関係及び信頼関係で結ばれ、安全で安心できる学校づくりを目指す ○教育活動において、「現状把握」「目標設定」「具体的な手だての構築及び実行」「実施後の評価」の手順を踏まえた教育実践を目指す 推進テーマ実現のために この推進テーマの実現には、「学校が学校らしくある」「学校が学校らしくなる」こと自体が寛容であるとする。また、本校の教育課題(基礎学力・基本的生活習慣・社会性)であると共に中学校教育の原点と捉え、下記のスローガンを掲げ、すべての教育活動はここから始めることにする。 教育理念:子どもにとっての理想の学校づくり 「学校には楽しく話せる友達がいる。 学校には私たちが理解し、信じてくれる先生がいる。 学校には勉強を分かりやすく教えてくれる先生がいる。 だから、私は学校へ行きたい。」 校長として学校経営を3つの柱(基本)で ① 職員の意気込みを生徒に示せ! ② 信念を持った活気ある集団であれ! ③ 理屈より行動が第一!	全教科・領域
7	第七中	さまざまな人々と共に生きる力を育み、学ぶ楽しさを知り、自己肯定感を高める授業の在り方を探る	全教科・領域
8	第八中	生徒が主役の学校づくり 「確かな学力」と「豊かな心」を育む学校を目指して 生徒一人ひとりが「学ぶことが楽しい」「いろいろな活動や体験ができて充実している」と実感できる学校を実現するため、下記の取組を推進する。 (1)「生徒一人ひとりの良さを引き出し生かす授業」を通じて「確かな学力」を育む。 (2) 様々な「体験活動」を通じて「豊かな心」を育む。 (3)「寝ける」と「育てる」ことを意識した、生徒指導の推進により、安心して学べる環境を整える。 (4) 積極的な情報公開により、保護者や地域の方に信頼される学校づくりを進める。	全教科
9	下貝塚中	豊かな心を持ち、主体的に学び、考える力を育む	全教科・領域
10	高谷中	・心の教育、道徳教育の推進 ・学力向上を目指す生徒、支える教師集団 ・連携の推進、保護者、地域との共育 協育	全教科・領域
11	福栄中	基礎・基本の定着を図り、わかる授業の実践と豊かな心を育む教育の推進	全教科
12	東国分中	知・徳・体のバランスのとれた生徒の育成	全教科・領域

13	大洲中	主体的・協働的に学習に取り組み、自ら考える生徒の育成 ～学習・指導方法及び評価方法の改善を通して～	全教科・領域
14	南行徳中	・あたりまえのことがきちんとできる学校	全教科・領域
15	妙典中	確かな学力をはぐくみ、地域に根ざした心豊かな生徒、ふれあいを大切にす る生徒の育成	全教科・領域
16	須和田の 丘支援	○自立的・健康的に生活する力 ○仲間や周囲の人たちと共に活動する力 ○社会生活を支える「スキル」と「豊かな感性」 ○家庭・地域・関係機関との連携	小:国語・算数 中:職業・家庭 高:作業学習

3 幼稚園

No.	園 名	推進テーマ	研究教科等
1	二俣幼	「一人一人が主体的に取り組むための援助の在り方を探る」 －保育者の言葉かけをとおして－	保育全般
2	信篤幼	ひとりひとりが育ち、みんながつながる ～子ども理解と指導・援助の質的向上を求めて～	保育全般
3	大洲幼	豊かな人間性をもつ子どもを育てる ～遊びの充実に向けた環境や援助の工夫～	保育全般
4	南行徳幼	いきいきと遊び、自ら考え、行動する子どもの育成	保育全般
5	百合台幼	一人一人の子どもの育ちをつなぐ園生活を考える ～交流教育の推進を図る環境構成と援助のあり方～	保育全般
6	新浜幼	自ら考え生き生きと遊ぶ子どもをめざして ～幼児の心が動く環境構成と教師のかかわりを探る～	保育全般
7	塩焼幼	夢中で遊ぶキラキラ輝く塩焼っ子をめざして ～一人ひとりに応じた教師の援助を考える～	保育全般

II-2 平成27年度研究指定校等一覧

平成27年6月19日現在

No.	指定等区分	指定校等名	領域等	期間	公開日
1	文部科学省	須和田の丘支援学校	特別支援学校のセンター的機能充実事業	25~27	無
2	文部科学省	塩焼小学校	学校司書の資格・養成の在り方や資質能力の向上等に関する調査研究協力校	27	未定
3		第四中学校			未定
4		第七中学校			未定
5	国	百合台小学校	国立特別支援教育総合研究所への研究協力(肢体不自由児への指導に関する知見提供)	26~27	無
6	国	第四中学校	学力把握実践研究協力事業	27	無
7	県 (千葉県 社会福祉 協議会)	稲越小学校	福祉教育推進校	27~29	無
8		国分小学校			
9		東国分中学校			
10		曾谷小学校			
11	市 (市川市 社会福祉 協議会)	幸小学校	福祉教育推進校	26~27	無
12		塩浜小学校			
13		塩浜中学校			
14		妙典中学校			
15	市	中山小学校	#REF!	27~28	11/6
16		第四中学校	#REF!		未定
17	市	高谷中学校	市川市中高連携推進研究	27~32	無
18		第一中学校			
19		第八中学校			
20	市	塩焼小学校	幼小連携推進モデル園・校	27~29	無
21		塩焼幼稚園			
22		百合台小学校			
23		百合台幼稚園			
24	市	市川小学校	保健体育(ヘルシースクール)	27	無
25		国分小学校			
26		大柏小学校			
27		菅野小学校			
28		稲荷木小学校			
29		鶴指小学校			
30		中国分小学校			
31		曾谷小学校			
32		北方小学校			
33		富美浜小学校			
34		幸小学校			
35		大野小学校			
36		塩浜小学校			
37		大和田小学校			
38		第七中学校			
39		東国分中学校			
40		塩浜中学校			
41		南行徳中学校			
42	市川市学 力向上推 進校	南行徳幼稚園	保育全般	26~27	7/1
43		八幡小学校	国語・算数		11/18
44		宮田小学校	特別活動		12/2
45		平田小学校	国語・算数		11/19
46		第三中学校	全科		9/8
47	2年目	第八中学校	全科	10/7	
48	市川市学 力向上推 進校	新浜幼稚園	保育全般	27~28	無
49		真間小学校	国語・算数		
50		中山小学校	生活・理科		
51		富貴島小学校	国語		
52		菅野小学校	国語・総合・生活科		
53		南行徳小学校	国語・算数		
54		新浜小学校	国語・社会・算数・理科・生活		
55		塩焼小学校	国語・算数		
56		妙典小学校	国語・総合的な学習の時間		
57		第四中学校	理科		
58		第七中学校	全科		
59	下貝塚中学校	全科			
60	東国分中学校	全科			
61	南行徳中学校	全科			

Ⅱ－３ 地域教育力の活用事例(平成26年度)

学校名	各校の代表的な活用事例
市川小	真打の落語家を招いて行う、4年生を対象とした「落語教室」
真間小	真間地域の伝説を学ぶ 「手児奈太鼓」を学び真間小まつりで披露
中山小	「中山小劇場」にプロの噺家を招いて行う「落語教室」
八幡小	作家を招いて行う「読書講演会」 外環自動車道工事現場での地層見学
国分小	地域の農家の方にご指導いただき、梨農園見学・体験（摘果等）
大柏小	保護者による朝の読み聞かせ 「にらめっこおびしゃ見学」等の地域学習
宮田小	20事業所で実施する職場体験学習「ゆめ仕事ぴったり体験」
富貴島小	米作り農家の方と「米作り体験」 米粉でクッキー作り
若宮小	北方ミニ自然園での「米作り体験」「縄リース」「おにぎり作り」
国府台小	国府台高校生との交流による「寺子屋教室」「書初め教室」
平田小	農家のお米先生との「米作り体験」「わら縄作り」
鬼高小	「ものづくり体験教室」～左官職人から学ぶ「どろだんご作り」
菅野小	地域の協力を得た、5年生による裏庭整備活動「きずなプロジェクト」
行徳小	地域のお年寄りとの「昔遊び体験」 「行徳っ子まつり」で「おみこし集会」
信篤小	畑の先生や保護者と共に取り組む「わくわく農園での体験活動」
稲荷木小	地域のお年寄りの方々に教えていただく「昔遊び体験」
南行徳小	南行徳デイサービスセンターと連携した「高齢者疑似体験」
鶴指小	昔遊びの名人から学ぶ「昔遊び体験教室」
宮久保小	地域の方から継続的に学び、人間形成を図る「書写の学習」
二俣小	地域の方々の支援による、算数の基礎・基本学習「チャレンジタイム」
中国分小	国語科の発展として、落語家を招いて実施する「落語教室」
曾谷小	卒業生の落語家を招いて行う「落語教室」
大町小	地域の方々と収穫を喜ぶ「学校農園の収穫感謝祭」 「落語教室」「昔遊び」
北方小	地域の方々とのふれあいを通して学ぶ「昔遊び」「昔の道具」の学習
新浜小	行徳に伝わる伝統的な行事の体験学習～「笹だんご」づけ
百合台小	シジミ釣り、科学実験を取り入れた遊びなど、毎年恒例の「様々な体験学習」
富美浜小	地域の方から学ぶ「昔のお正月遊び体験」 小話を体験する「落語教室」
柏井小	保護者の読書ボランティア「ティンカーベル」による人形劇公演

大洲小	日本の伝統文化に触れる豊かな体験「お琴教室」
幸小	地域のお年寄りから学び、ふれあう「昔遊び」
新井小	地域のお年寄りに昔遊びを教えていただく「ふれあい交流会」
南新浜小	保護者と地域支援者による読み聞かせ「かるがもサークル」の活動
大野小	オープンスクールで行う「地域ふれあい道徳」「樹木医さんの話」
塩焼小	保護者、地域100名の協力による「塩焼っこ秋まつり」での体験活動
稲越小	環境をいかし、地域の梨農家の方に指導していただく「梨作り体験」
塩浜小	地域の方々に学ぶ「栽培・収穫体験」「百人一首大会」「昔遊び体験」
大和田小	「のびのびキッズルーム」で行われるボランティア「きらきら星」の読み聞かせ
福栄小	体験を通して学ぶ理科「オリジナル日時計作り」
妙典小	地域から日本古来の伝統のよさを学ぶ「海苔作り」「落語教室」「お琴教室」
一中	地域の方から学ぶ25講座「一中フェスタ」
二中	3年間のつながりを重視した「職業教室」「進路集会」「キャリア教育講演会」
三中	体験活動を通して自主性や郷土意識を育成する「全校道徳」「地域交流」
四中	地域の方々から学ぶ22の「体験講座」
五中	地域の方々を講師としてお招きした「伝統文化体験」 地域での「職場体験」
六中	地域の赤ちゃんとお母さんを招いて行う「赤ちゃんプログラム」(保育交流)
七中	生徒の夢を育むキャリア教育 地域の協力で行う「職場体験」「職業講演会」
八中	地域教育力の活用による「職業講話」「福祉体験学習」「普通救命講習」
下貝塚中	毎年行っている、生田流はつ音会の方々による「和楽器講習会」
高谷中	地域の方々を講師として招いて行う「職業学習」
福栄中	地域の方々の専門性をいかした「職業体験学習」葦の渚学級の「合同挨拶運動」
東国分中	地域ふれあいバザーでの「手作り体験教室」 2年生が3日間行う「職場体験」
大洲中	地域27ヶ所事業所に分かれて行う「職場体験」
塩浜中	近隣17ヶ所の事業所で行う「職場体験学習」
南行徳中	「南行徳中サロン」のお年寄りから生き方を学び、ふれ合う
妙典中	地域の教育力を活用し30コースに分かれて実施した「キャリア教育セミナー」
須和田の丘支援	地元や地域の20数ヶ所の協力を得て実施する「産業現場実習」

Ⅱ－４ 市内公立中学校全卒業者の状況

1 進路内訳

(平成27年3月31日現在)

区分	卒業生総数	高校進学者数	純就職	各種学校 訓練校等	その他 自営家事等
男(人)	1,712	1,690	5	1	16
女(人)	1,559	1,541	3	4	11
計(人)	3,271	3,231	8	5	27
率(%)	100	98.8	0.2	0.2	0.8

2 高校進学内訳

区分	高校 進学者数	国・公立高校進学者数					私立高校進学者数			
		全日制				定時 通信 制	全日制			定時 通信 制
		高専	県内	県外	小計		県内	県外	小計	
男(人)	1,690	9	984	15	1008	40	386	226	612	31
女(人)	1,541	2	972	15	989	20	276	225	501	31
計(人)	3,231	11	1,956	30	1,997	60	662	451	1,113	62
率(%)	100	0.3	60.5	0.9	61.8	1.9	20.5	14	34.4	1.9

3 国公立高校進学者の推移

卒業 年度	卒業生 総人数 (人)	高校進学者			全日制 進学率 (%)	定時 通信制 進学率 (%)	高校 進学率 (%)
		全日制	定時 通信制	合計			
		(人)	(人)	(人)			
21	2,979	2,793	116	2,909	93.8%	3.9%	97.7%
22	2,693	2,543	49	2,592	94.4%	1.8%	96.2%
23	2,786	2,606	69	2,675	93.5%	2.5%	96.0%
24	3,053	2,911	72	2,983	95.3%	2.4%	97.7%
25	3,099	2,984	71	3,055	96.3%	2.3%	98.6%
26	3,271	3,110	122	3,232	95.1%	3.7%	98.8%

※高校進学者数／卒業生総人数

※国・公立進学率＝国・公立高校全日制進学者数／卒業生総人数

Ⅱ－5 平成26年度 児童生徒の体位・体力

(1) 学年別体位平均(小学校)

種別	年度	学年 性	1		2		3	
			男	女	男	女	男	女
身長 (cm)	25	全国	116.6	115.6	122.3	121.4	128.0	127.6
	26	千葉県	116.5	115.7	122.4	121.9	128.4	128.0
	26	市川市	117.0	115.5	122.7	122.0	128.7	128.0
	12	市川市	116.8	115.9	122.8	121.6	128.2	127.6
体重 (kg)	25	全国	21.3	20.8	23.7	23.1	26.8	26.3
	26	千葉県	21.4	20.8	23.7	23.6	27.1	26.7
	26	市川市	21.3	20.6	23.9	23.3	27.2	26.5
	12	市川市	21.5	21.2	24.5	23.5	27.6	27.0
座高 (cm)	25	全国	64.8	64.4	67.5	67.1	70.2	70.0
	26	千葉県	64.8	64.4	67.6	67.3	70.4	70.2
	26	市川市	64.9	64.1	67.6	67.2	70.4	70.0
	12	市川市	64.9	64.5	67.8	67.2	70.3	70.0

種別	年度	学年 性	4		5		6	
			男	女	男	女	男	女
身長 (cm)	25	全国	133.6	133.6	138.9	140.3	145.3	146.9
	26	千葉県	134.0	133.8	139.2	140.3	145.5	146.8
	26	市川市	134.1	133.6	139.6	140.1	145.6	146.9
	12	市川市	133.8	133.8	139.4	140.1	145.1	147.0
体重 (kg)	25	全国	30.4	29.9	33.9	33.6	38.2	38.7
	26	千葉県	30.8	29.9	33.8	34.0	38.7	38.9
	26	市川市	30.4	29.6	34.3	33.4	38.4	38.4
	12	市川市	31.2	30.8	35.2	34.5	39.3	39.7
座高 (cm)	25	全国	72.7	72.8	74.9	75.8	77.7	79.2
	26	千葉県	72.7	72.8	74.8	75.8	77.7	79.2
	26	市川市	72.7	72.5	75.1	75.7	77.7	79.0
	12	市川市	72.6	72.8	75.2	75.8	77.8	79.1

(2) 学年別体位平均(中学校)

種別	年度	学年 性	1		2		3	
			男	女	男	女	男	女
身長 (cm)	25	全国	153.0	152.1	159.7	155.0	165.7	156.5
	26	千葉県	152.9	152.0	159.9	154.9	165.3	156.3
	26	市川市	152.8	152.0	159.8	155.3	165.0	156.9
	12	市川市	153.1	152.3	160.0	155.5	165.8	157.2
体重 (kg)	25	全国	43.5	43.1	48.1	47.2	53.7	49.0
	26	千葉県	44.1	43.2	48.5	47.3	53.7	50.0
	26	市川市	43.7	43.4	47.9	46.5	52.7	49.3
	12	市川市	45.2	44.6	50.1	48.4	55.4	50.5
座高 (cm)	25	全国	81.4	82.2	84.7	84.0	88.2	84.8
	26	千葉県	81.4	82.2	84.9	83.8	88.2	85.0
	26	市川市	81.2	81.8	84.5	83.6	87.6	84.8
	12	市川市	80.7	81.7	84.4	83.1	87.7	84.5



2 新体力テスト

(1) 学年別体力平均(小学校1年から3年)

種別	年度	学年	1		2		3	
		性	男	女	男	女	男	女
握力 (kg)	25	全国	9.53	8.72	11.16	10.35	12.99	12.10
	26	千葉県	9.74	9.19	11.42	10.73	13.32	12.51
	26	市川市	9.12	8.19	10.71	10.08	12.59	11.78
	12	市川市	8.84	8.11	10.93	10.02	12.65	11.82
上体起こし (回)	25	全国	11.51	10.63	13.95	13.30	16.14	14.88
	26	千葉県	12.65	12.14	15.25	14.46	17.42	16.42
	26	市川市	10.65	9.84	13.11	13.14	15.76	15.41
	12	市川市	10.37	9.48	12.29	11.67	14.75	13.54
長座体前屈 (cm)	25	全国	25.84	28.01	27.33	29.85	29.23	32.00
	26	千葉県	26.97	29.78	28.35	31.44	30.74	33.91
	26	市川市	25.64	27.68	26.25	29.83	29.16	32.73
	12	市川市	25.94	27.96	26.92	29.00	29.49	32.28
反復横とび (点)	25	全国	27.39	26.11	31.85	29.96	35.10	33.57
	26	千葉県	28.84	27.58	32.95	31.36	37.28	35.04
	26	市川市	26.94	25.23	30.17	28.66	34.41	32.20
	12	市川市	25.42	24.35	29.18	27.86	33.33	31.64
20mシャトルラン (回)	25	全国	18.76	15.86	28.33	22.14	37.67	28.25
	26	千葉県	21.13	17.36	30.57	23.12	38.85	29.32
	26	市川市	17.47	14.41	24.82	20.23	32.12	24.33
	12	市川市	15.07	13.16	23.56	19.22	32.15	24.66
50m走 (秒)	25	全国	11.52	11.80	10.61	10.93	10.11	10.45
	26	千葉県	11.11	11.40	10.37	10.69	9.85	10.20
	26	市川市	11.69	12.09	10.79	11.01	10.17	10.44
	12	市川市	12.01	12.24	11.05	11.25	10.40	10.60
立ち幅跳び (cm)	25	全国	114.93	107.37	126.15	118.24	137.53	129.33
	26	千葉県	118.48	111.43	129.32	121.88	139.68	132.53
	26	市川市	113.13	104.06	121.56	115.17	132.98	124.46
	12	市川市	114.04	104.31	123.55	114.37	137.31	128.42
ソフトボール投げ (m)	25	全国	8.67	5.74	12.38	7.64	16.31	9.71
	26	千葉県	9.31	6.35	12.84	8.21	16.69	10.18
	26	市川市	8.11	5.39	11.05	7.27	14.92	9.04
	12	市川市	8.50	5.42	12.03	7.26	16.13	9.67

(1) 学年別体力平均(小学校4年から6年)

種別	年度	学年 性	4		5		6	
			男	女	男	女	男	女
握力 (kg)	25	全国	15.03	14.11	17.36	16.55	20.04	19.74
	26	千葉県	15.13	14.49	17.63	17.26	21.28	20.32
	26	市川市	14.83	13.91	16.88	16.17	19.97	19.32
	12	市川市	14.90	13.77	17.30	16.29	20.68	19.76
上体起こし (回)	25	全国	18.16	16.69	20.09	18.55	21.69	20.01
	26	千葉県	19.33	18.37	21.87	20.75	24.19	21.74
	26	市川市	17.74	16.94	20.11	18.89	22.82	20.84
	12	市川市	16.38	15.09	18.31	16.87	20.71	18.40
長座体前屈 (cm)	25	全国	30.49	34.29	32.66	37.25	34.08	39.69
	26	千葉県	32.37	36.47	35.95	40.20	39.07	43.79
	26	市川市	30.50	34.35	33.58	37.79	37.33	41.87
	12	市川市	32.36	34.59	34.49	36.70	36.36	39.52
反復横とび (点)	25	全国	38.80	36.51	42.97	40.69	45.79	43.02
	26	千葉県	40.87	38.86	45.59	43.25	48.70	45.25
	26	市川市	38.88	36.40	42.90	40.35	46.95	44.21
	12	市川市	37.12	34.98	40.27	38.04	43.71	41.03
20mシャトルラン (回)	25	全国	46.05	34.40	55.33	42.79	62.62	48.95
	26	千葉県	46.92	36.76	58.59	48.22	68.33	53.32
	26	市川市	42.35	31.96	50.38	39.08	61.73	47.69
	12	市川市	38.34	28.87	45.92	36.39	55.48	43.43
50m走 (秒)	25	全国	9.67	9.98	9.26	9.55	8.90	9.12
	26	千葉県	9.50	9.77	9.03	9.30	8.58	8.93
	26	市川市	9.80	10.06	9.39	9.64	8.91	9.23
	12	市川市	9.92	10.16	9.55	9.77	9.03	9.32
立ち幅跳び (cm)	25	全国	144.71	137.03	154.70	146.52	163.72	155.20
	26	千葉県	148.31	142.09	160.67	154.37	174.72	162.86
	26	市川市	141.36	134.20	150.77	143.18	165.98	156.20
	12	市川市	145.88	137.57	155.07	146.26	165.72	155.62
ソフトボール投げ (m)	25	全国	20.33	11.92	24.45	14.37	28.41	16.85
	26	千葉県	20.13	12.45	24.16	14.41	28.60	16.70
	26	市川市	18.70	11.30	22.11	13.24	26.28	15.22
	12	市川市	20.16	11.55	23.56	13.87	28.10	16.09

(2) 学年別体力平均(中学校)

種別	年度	学年 性	1		2		3	
			男	女	男	女	男	女
握力 (kg)	25	全国	24.64	21.93	29.93	24.35	35.70	25.48
	26	千葉県	23.84	21.49	29.34	24.29	34.80	25.83
	26	市川市	23.90	21.85	29.26	24.33	34.79	25.82
	12	市川市	25.27	22.49	31.40	25.04	37.12	26.71
上体起こし (回)	25	全国	25.11	21.00	28.67	23.45	30.78	24.60
	26	千葉県	25.26	22.28	28.84	24.95	31.34	26.13
	26	市川市	23.96	21.05	27.79	23.87	30.74	25.24
	12	市川市	22.77	18.27	25.50	20.04	27.78	20.66
長座体前屈 (cm)	25	全国	39.66	43.17	43.41	45.10	47.90	47.46
	26	千葉県	41.99	45.55	46.61	48.77	51.81	51.50
	26	市川市	42.19	45.21	47.68	48.15	51.20	51.31
	12	市川市	41.97	44.17	46.94	47.31	49.59	49.41
反復横とび (点)	25	全国	49.58	44.88	53.33	46.51	55.64	47.18
	26	千葉県	49.59	45.78	52.91	47.32	55.80	48.26
	26	市川市	49.32	45.08	52.40	46.48	54.92	47.32
	12	市川市	45.83	41.72	48.39	42.28	51.22	42.81
20mシャトルラン (回)	25	全国	73.84	52.62	90.07	59.73	96.84	62.43
	26	千葉県	71.08	53.75	87.79	62.26	94.75	60.96
	26	市川市	69.87	50.64	87.86	59.78	94.21	60.39
	12	市川市	62.95	44.91	77.64	51.28	85.23	52.81
50m走 (秒)	25	全国	8.40	8.96	7.85	8.75	7.44	8.60
	26	千葉県	8.40	8.93	7.79	8.63	7.38	8.57
	26	市川市	8.58	9.07	7.92	8.77	7.55	8.72
	12	市川市	8.72	9.24	8.11	8.97	7.71	8.92
立ち幅跳び (cm)	25	全国	183.10	165.54	200.13	169.81	214.56	174.04
	26	千葉県	180.75	164.45	198.57	172.99	214.50	175.99
	26	市川市	176.03	161.95	195.53	169.67	208.74	171.90
	12	市川市	180.40	162.85	197.75	169.15	215.02	173.29
ハンドボール投げ (m)	25	全国	18.82	12.24	21.88	13.76	24.76	14.70
	26	千葉県	17.91	11.63	21.13	13.33	24.00	14.19
	26	市川市	17.35	11.18	20.65	12.77	23.16	13.62
	12	市川市	18.65	11.94	21.63	13.56	24.18	14.13

Ⅱ-6 平成26年度 学校管理下における災害発生状況

スポーツ振興センター
災害共済給付制度申請状況より

(1) 学年別発生状況 (単位：人)						(2) 災害の種類別発生状況 (単位：人)							
区分	学年	男子	女子	合計	比率	区分	種類	人数	比率	区分	種類	人数	比率
小学校	1年	102	77	179	12.6	小学校	死亡	0	0.0	幼稚園	死亡	0	0.0
	2年	101	82	183	12.8		骨折	241	14.6		骨折	1	5.9
	3年	132	64	196	13.7		捻挫	297	18.0		捻挫	0	0.0
	4年	141	90	231	16.2		脱臼	33	2.0		脱臼	2	11.8
	5年	184	121	305	21.4		打撲	385	23.3		打撲	6	35.3
	6年	211	121	332	23.3		挫傷	266	16.1		挫傷	4	23.5
	小計	871	555	1,426	100.0		切傷	34	2.1		切傷	1	5.9
中学校	1年	205	115	320	33.8	裂傷	48	2.9	裂傷	1	5.9		
	2年	246	148	394	41.6	その他	350	21.2	その他	2	11.8		
	3年	154	79	233	24.6	小計	1,654	100.0	小計	17	100.0		
	小計	605	342	947	100.0	中学校	死亡	0	0.0	総合計	死亡	0	0.0
特別支援学校	小学	0	0	0	0.0		骨折	251	23.3		骨折	493	17.9
	中学	0	2	2	66.7		捻挫	275	25.5		捻挫	572	20.8
	高等	1	0	1	33.3		脱臼	12	1.1		脱臼	48	1.7
	小計	1	2	3	100.0		打撲	160	14.8		打撲	553	20.1
幼稚園	年小	1	1	2	14.3		挫傷	156	14.5		挫傷	426	15.5
	年長	9	3	12	85.7		切傷	20	1.9		切傷	55	2.0
	小計	10	4	14	100.0		裂傷	10	0.9		裂傷	59	2.1
総合計	1,487	903	2,390	100.0	その他		195	18.1	その他		549	19.9	
特別支援学校	死亡	0	0	0	0.0		小計	1,079	100.0		小計	2,755	100.0
	骨折	0	0	0	0.0	特別支援学校	死亡	0	0.0				
	捻挫	0	0	0	0.0		骨折	0	0.0				
	脱臼	1	20.0										
	打撲	2	40.0										
	挫傷	0	0.0										
	切傷	0	0.0										
	裂傷	0	0.0										
その他	2	40.0											
小計	5	100.0											

II-7 学校給食の実施状況

(平成27年4月1日現在)

学校番号	学校名	給食型	給食費 (月額)円	調理方式	給食室 面積(m ²)	開設 年月	備 考
1	市川小	完全A型	4,400	調理等業務委託方式	195	S38.1	
2	真間小	〃	〃	直営方式	250	S32.10	
3	中山小	〃	〃	直営方式	254	S36.5	
4	八幡小	〃	〃	調理等業務委託方式	263	S34.11	
5	国分小	〃	〃	調理等業務委託方式	780	S36.2	
6	大柏小	〃	〃	調理等業務委託方式	324	S38.3	
7	宮田小	〃	〃	直営方式	128	S36.11	
8	富貴島小	〃	〃	調理等業務委託方式	290	S31.5	
9	若宮小	〃	〃	調理等業務委託方式	291	S34.3	
10	国府台小	〃	〃	直営方式	336	S31.1	
11	平田小	〃	〃	調理等業務委託方式	328	S31.10	
12	鬼高小	〃	〃	調理等業務委託方式	302	S36.2	
13	菅野小	〃	〃	調理等業務委託方式	302	S32.10	
14	行徳小	〃	〃	調理等業務委託方式	302	S34.7	
15	信篤小	〃	〃	調理等業務委託方式	319	S34.5	
16	稲荷木小	〃	〃	調理等業務委託方式	247	S36.3	
17	南行徳小	〃	〃	直営方式	300	S37.3	
18	鶴指小	〃	〃	直営方式	201	S42.4	
19	宮久保小	〃	〃	調理等業務委託方式	277	S43.4	
20	二俣小	〃	〃	調理等業務委託方式	316	S45.5	
21	中国分小	〃	〃	調理等業務委託方式	252	S47.4	
22	曾谷小	〃	〃	調理等業務委託方式	295	S48.4	
23	大町小	〃	〃	調理等業務委託方式	277	S48.4	
24	北方小	〃	〃	直営方式	338	S49.5	
25	新浜小	〃	〃	調理等業務委託方式	300	S53.1	
26	百合台小	〃	〃	調理等業務委託方式	391	S52.4	
27	富美浜小	〃	〃	調理等業務委託方式	300	S53.5	
28	柏井小	〃	〃	調理等業務委託方式	300	S54.4	
29	大洲小	〃	〃	調理等業務委託方式	330	S54.4	
30	幸小	〃	〃	調理等業務委託方式	242	S54.4	
31	新井小	〃	〃	調理等業務委託方式	277	S55.4	
32	南新浜小	〃	〃	調理等業務委託方式	300	S55.4	
33	大野小	〃	〃	調理等業務委託方式	304	S56.5	
34	塩焼小	〃	〃	直営方式	313	S56.4	
35	稲越小	〃	〃	調理等業務委託方式	272	S56.4	
36	塩浜小	〃	〃	調理等業務委託方式	306	S56.5	
37	大和田小	〃	〃	調理等業務委託方式	300	S58.4	
38	福栄小	〃	〃	調理等業務委託方式	—	S60.4	福栄中調理場(親子方式)
39	妙典小	〃	〃	直営方式	431	H11.4	
1	第一中	完全A型	5,200	調理等業務委託方式	—	S52.1	国分小調理場(親子方式)
2	第二中	〃	〃	調理等業務委託方式	288	S52.1	
3	第三中	〃	〃	直営方式	—	S44.5	北方小調理場(親子方式)
4	第四中	〃	〃	調理等業務委託方式	—	S44.6	柏井小調理場(親子方式)
5	第五中	〃	〃	調理等業務委託方式	280	S39.1	
6	第六中	〃	〃	調理等業務委託方式	—	S47.1	大和田小調理場(親子方式)
7	第七中	〃	〃	調理等業務委託方式	476	S52.4	
8	第八中	〃	〃	調理等業務委託方式	—	S44.6	平田小調理場(親子方式)
9	下貝塚中	〃	〃	調理等業務委託方式	300	S44.6	
10	高谷中	〃	〃	調理等業務委託方式	—	S54.4	二俣小調理場(親子方式)
11	福栄中	〃	〃	調理等業務委託方式	302	S54.5	
12	東国分中	〃	〃	調理等業務委託方式	—	S55.4	百合台小調理場(親子方式)
13	大洲中	〃	〃	調理等業務委託方式	—	S57.4	大洲小調理場(親子方式)
14	塩浜中	〃	〃	調理等業務委託方式	—	S57.4	塩浜小調理場(親子方式)
15	南行徳中	〃	〃	調理等業務委託方式	299	S60.4	
16	妙典中	〃	〃	調理等業務委託方式	370	S63.4	
1	特別支援小	完全A型	4,400	調理等業務委託方式	—	S56.4	稲越小調理場で調理
2	特別支援中	〃	5,250	直営方式	78	S38.2	
	特別支援高	〃	5,250				

Ⅲ 生涯学習関係

Ⅲ-1 社会教育施設等一覧

施設名	住所	電話	備考(建築延面積等 m ²)
生涯学習センター (メディアパーク市川) 中央図書館 中央こども館 文学ミュージアム 教育センター 少年センター	鬼高1-1-4	(320) 3346 (320) 3337 (320) 3334 (320) 3335 (320) 3345	19,648.00
行徳図書館	末広1-1-31	(358) 9011	2,223.05
信篤図書館	高谷1-8-1	(328) 8831	912.6
南行徳図書館	相之川1-2-4	(357) 4188	360.00
市川駅南口図書館	市川南1-10-1 3F	(325) 6241	573.03
平田図書室	平田1-20-16	(321) 2243	256.02
中央公民館	八幡4-2-1	(334) 4279	602.21
鬼高公民館	鬼高2-12-23	(334) 2612	424.27
信篤公民館	高谷1-8-1	(327) 6807	1,392.91
東部公民館	本北方3-19-16	(337) 8886	2,633.23
柏井公民館	柏井町2-844	(338) 2988	630.00
大野公民館	南大野2-3-19	(339) 3400	1,073.03
若宮公民館	若宮2-15-8	(336) 7958	600.00
市川公民館	市川2-33-2	(321) 1171	1,944.41
西部公民館	中国分2-13-8	(373) 8175	2,386.47
市川駅南公民館	大洲4-18-3	(370) 3564	1,689.96
曾谷公民館	曾谷6-25-5	(372) 2871	2,783.82
行徳公民館	末広1-1-31	(356) 0763	3,142.44
本行徳公民館	本行徳12-8	(359) 1351	958.89
幸公民館	幸1-16-18	(398) 0481	693.64
南行徳公民館	相之川1-3-7	(356) 7371	1,986.80
菅野公民館	菅野3-24-2	(322) 7761	477.32
市川考古博物館	堀之内2-26-1	(373) 2202	1,513.68
市川歴史博物館	堀之内2-27-1	(373) 6351	2,001.57
市川自然博物館	大町284	(339) 0477	2,052.30
いちかわ市民キャンプ場	柏井町2-992-1	(337) 9802	33,161.00
市民プール	北方町4-2270-3	(338) 7346	管理棟 1,694.195
スポーツセンター	国府台1-6-4	(373) 3111	体育館 8,142.78
信篤市民体育館	高谷1-8-2	(327) 6336	1,124.90
塩浜市民体育館	塩浜4-9-1	(398) 2311	7,996.20
福栄スポーツ広場	福栄4-32-4	(398) 0606	33,100.00
少年自然の家	大町280-4	(337) 0533	3,731.00
中国分スポーツ広場	中国分4-25	(372) 5855	7,240.59

Ⅲ-2 史跡、文化財一覧

1 史跡の公有化

(27. 3. 31現在)

史跡名	指定年月日	指定面積	公有化面積	買収金額	買収年度
下総国分尼寺跡	昭42. 12. 27 平元. 3. 29 平14. 9. 20	6,615.49㎡	5,584.15㎡	954,547,463 円	昭42～44 平6～8. 10. 11. 15. 16 (10年)
姥山貝塚	昭42. 8. 17	22,772.81㎡	22,772.81㎡	231,664,810 円	昭43～48(6年)
堀之内貝塚	昭39. 7. 6 昭42. 6. 22 昭47. 2. 3	26,789.85㎡	25,738.62㎡	422,319,947 円	昭45～48(4年)
下総国分寺跡 附北下瓦窯跡	昭42. 12. 27 平14. 9. 20 平22. 8. 5	21,336.85㎡	4,343.99㎡	916,578,266 円	昭48. 平15. 16. 17. 23 (5年)
曾谷貝塚	昭54. 12. 22 平21. 7. 23	50,111.87㎡	32,321.98㎡	5,537,205,688 円	昭54～平17. 19～ 22. 24. 25. 26 (34年)
計		127,626.87㎡	90,761.55㎡	8,062,316,174 円	

() 内は、通算年
(27. 3. 31現在)

2 史跡の整備

史跡名	環境整備	備考
堀之内貝塚	昭和48～51、53、55、56、平成4、5年度 擁壁等崖地整備、巡回路、フェンス、張芝、植樹、ベンチ、説明板等 総事業費 55,779,350 円	49～51、56年度 国庫補助事業 32,290,000 円
姥山貝塚	昭和44、46、48、49、52～58年度、平成元年度 擁壁等崖地整備、フェンス、張芝、四阿、丸太ベンチ、説明板 標識、案内板、照明灯、園路、正門、通用門、くずかご、吸殻入れ 車止、植栽等 総事業費 186,973,830円	52～58年度 国庫補助事業 127,500,000 円
下総国分寺跡 附北下瓦窯跡	昭和50、51年度、平成18年度 公有地分整備、盛土、整地、張芝、パーゴラ、ベンチ、管理柵、車止 標識、照明灯等 総事業費 7,863,000 円	現状変更により整備
下総国分尼寺跡	昭和43、44、50、52年度 平成12、13年度 整地、張芝、植樹、ベンチ、管理柵、園路等 総事業費 18,091,000 円	現状変更により整備
曾谷貝塚	昭和56～平成15年度、平成17年度 管理柵、看板、張芝、説明板、ベンチ等 総事業費 40,058,730 円	現状変更により整備
計	308,765,910 円	

3 市内指定文化財数

(27. 3. 31現在)

種別 区分	有形文化財						天然記念物		史跡	民俗 文化財	無形 文化財	計
	絵画	彫刻	工芸	書跡	建造物	考古・歴史資料	昆虫	植物				
国指定	2		1	3	4			1	5			16
県指定	2	1	1						1		1	6
市指定		2	1	1	16	2	2	3	4	2		33
計	4	3	3	4	20	2	2	4	10	2	1	55

4 指定文化財一覧

(1) 国指定

番号	種別	名称	員数	所在地又は伝承地	所有者又は管理者	指定年月日	備考
1	国宝 (書跡)	立正安国論	1巻	中山2丁目10-1	法華経寺	昭和27年3月29日	
2	国宝 (書跡)	観心本尊抄 附添状・春日山蔭繪管	1帖 1巻、1合	中山2丁目10-1	法華経寺	昭和27年3月29日	
3	重要文化財 (建造物)	法華経寺五重塔	1基	中山2丁目10-1	法華経寺	大正5年5月24日	
4	重要文化財 (建造物)	法華経寺法華堂 附棟札	1棟 5枚	中山2丁目10-1	法華経寺	大正5年5月24日 昭和60年5月18日	
5	重要文化財 (建造物)	法華経寺四足門	1棟	中山2丁目10-1	法華経寺	大正5年5月24日 昭和30年6月22日	
6	重要文化財 (建造物)	法華経寺祖師堂 附棟札	1棟 11枚	中山2丁目10-1	法華経寺	昭和60年5月18日	
7	重要文化財 (絵画)	絹本着色十六羅漢像	1双	中山2丁目10-1	法華経寺	明治37年2月18日	
8	重要文化財 (絵画)	絹本着色日蓮聖人像	1幅	中山3丁目10-4	浄光院	昭和27年7月19日	
9	重要文化財 (工芸)	刀(無銘伝兼永)	1口		個人所有	昭和30年2月2日	
10	重要文化財 (書跡)	日蓮自筆遺文 附蔭繪聖教箱	56巻、4冊 1帖、3幅、2合	中山2丁目10-1	法華経寺	昭和42年6月15日 平成5年1月20日	
11	史跡	堀之内貝塚	26, 789. 85㎡	堀之内2丁目2899 ほか	市川市ほか	昭和39年7月6日 昭和42年6月22日 昭和47年2月3日	一部追加指定
12	史跡	姥山貝塚	22, 772. 81㎡	柏井町1丁目1212 ほか	市川市	昭和42年8月17日	
13	史跡	下総国分寺跡 附北下瓦窯跡	21, 336. 85㎡	国分3丁目1790-1 ほか	市川市ほか	昭和42年12月27日 平成14年9月20日 平成22年8月5日	一部追加指定
14	史跡	下総国分尼寺跡	6, 615. 49㎡	国分4丁目1966-1 ほか	市川市ほか	昭和42年12月27日 平成元年3月29日 平成14年9月20日	一部追加指定
15	史跡	曾谷貝塚	50, 111.87㎡	曾谷2丁目500-1 ほか	市川市ほか	昭和54年12月22日 平成21年7月23日	一部追加
16	天然記念物	千本公孫樹	1樹	八幡4丁目2-1	葛飾八幡宮	昭和6年2月20日	

(2) 県指定

番号	種別	名称	員数	所在地又は伝承地	所有者又は管理者	指定年月日	備考
1	有形文化財 (工芸)	梵鐘 (元亨元年在銘)	1口	八幡4丁目2-1	葛飾八幡宮	昭和34年4月24日	
2	無形文化財	茶道 式正織部流		国府台3丁目8-2	織部桔梗会	昭和30年12月15日	
3	史跡	須和田遺跡	7, 712㎡	須和田2丁目417ほか 須和田公園	市川市	平成6年2月22日	
4	有形文化財 (彫刻)	木造釈迦如来・多宝如来座像 附像内納入品	2軀	中山2丁目10-1	法華経寺	平成10年3月20日	
5	有形文化財 (絵画)	絹本着色十羅刹女像	1幅	中山3丁目10-4	浄光院	平成12年2月25日	
6	有形文化財 (絵画)	柴田是真画連句額	1面	菅野1丁目15-2	白幡天神社	平成18年3月14日	

(3) 市指定

番号	種別	名称	員数	所在地又は伝承地	所有者又は管理者	指定年月日	備考
1	有形文化財 (建造物)	常夜灯	1基	本行徳34番地先	市川市	昭和35年10月7日	
2	有形文化財 (建造物)	随神門	1棟	八幡4丁目2-1	葛飾八幡宮	昭和35年10月7日	
3	有形文化財 (建造物)	狩野浄天夫妻墓石・供養塔 附狩野浄天骨壺	3基 1個	香取1丁目16-26 市立市川歴史博物館	狩野一廣 市川市	昭和36年2月1日 昭和63年7月5日	
4	有形文化財 (建造物)	元弘の板碑	1基	高石神21-9	泰福寺	昭和36年2月1日	
5	有形文化財 (建造物)	法華経寺黒門 附太田資順筆扁額	1棟 1面	中山4丁目7地先	法華経寺	昭和36年11月9日	
6	有形文化財 (建造物)	本阿弥家分骨墓	3基	中山2丁目10-1	法華経寺	昭和36年11月9日	
7	有形文化財 (建造物)	明戸古墳石棺	2基	国府台3丁目67-5 里見公園内	市川市	昭和37年6月11日	
8	有形文化財 (建造物)	妙好寺山門	1棟	妙典1丁目11-10	妙好寺	昭和43年2月27日	
9	有形文化財 (建造物)	小笠原政信夫妻供養塔	2基	国府台3丁目10-1	総寧寺	昭和54年4月24日	
10	有形文化財 (建造物)	庚申五層塔	1基	柏井町3丁目654 子安神社	子安神社	昭和54年4月24日	
11	有形文化財 (建造物)	本阿弥光悦分骨墓	1基	中山2丁目10-1	法華経寺	昭和54年9月27日	
12	有形文化財 (建造物歴史資料)	真間万葉顕彰碑 附鈴木長頼蔵骨器及び墓誌	3基1個	真間4丁目4-9 真間4丁目6-11 真間4丁目7-24	亀井院・弘法寺 真間史蹟保存会	昭和54年9月27日	
13	有形文化財 (建造物)	鈴近江翁碑	1基	真間4丁目3	亀井院	昭和57年3月10日	
14	有形文化財 (建造物)	徳願寺山門	1棟	本行徳5-22	徳願寺	平成16年3月24日	
15	有形文化財 (建造物)	徳願寺鐘楼	1棟	本行徳5-22	徳願寺	平成16年3月24日	

16	有形文化財 (建造物)	徳願寺経蔵	1棟	本行徳5-22	徳願寺	平成16年3月24日	
17	有形文化財 (彫刻)	木彫日蓮坐像	1躰	柏井1丁目1696	唱行寺	昭和36年9月18日	
18	有形文化財 (彫刻)	浄光寺二王像	1躰	大野町3丁目1917	浄光寺	昭和40年3月2日	
19	有形文化財 (書跡)	光悦筆扁額 附「通本」	3面 1面	中山2丁目10-1	法華経寺	昭和36年11月9日 昭和54年9月27日	附
20	有形文化財 (考古資料)	鬼高遺跡出土一括遺物	1括	市立市川考古博物館	市川市	昭和56年4月17日	
21	有形文化財 (工芸)	誕生仏	1躰	市立市川考古博物館	市川市	昭和56年4月17日	
22	有形文化財 (歴史資料)	「ワートル薬性論」版木	8枚	市立市川歴史博物館	市川市	昭和61年11月3日	
23	民俗文化財	御奉謝		大野町4丁目2759 駒形大神社	駒形神社お奉謝部	昭和40年3月2日	
24	民俗文化財	国府台辻切り		国府台3丁目 (旧国府台地区)	国府台辻切り 保存会	昭和54年4月24日	
25	史跡	美濃輪台遺跡 -B地点-	1, 745㎡	本北方3丁目18	市川市	昭和50年1月8日	
26	史跡	須和田遺跡	5, 288㎡	須和田2丁目401ほか 須和田公園	市川市	昭和50年1月8日	
27	史跡	下総総社跡	1, 120. 5㎡	市川市スポーツセンター内	市川市	昭和50年1月8日	
28	史跡	鬼高遺跡	2, 479㎡	鬼高1丁目95-1	日本毛織(株)	昭和63年7月5日	
29	天然記念物	ヒメアカネ		大町公園自然観察園周辺	市川市	昭和51年6月12日	
30	天然記念物	ヒヌマイトトンボ		河原、稲荷木の江戸川河 岸の湿地帯	市川市	昭和51年6月12日	
31	天然記念物	伊弉諾神社ハリギリ	1樹	堀之内4丁目26-13	伊弉諾神社	昭和54年4月24日	
32	天然記念物	愛宕神社イチョウ	2樹	北国分1丁目12-24	愛宕神社	昭和58年11月3日	
33	天然記念物	禅照庵マキ	1樹	北国分4丁目13-24	禅照庵	昭和58年11月3日	

5 登録文化財

番号	種別	名称	員数	所在地又は伝承地	所有者又は管理者	登録年月日	備考
1	有形文化財 (建造物)	西洋館倶楽部(渡辺家住宅)	1棟	新田5丁目6-21	渡辺 俊司	平成11年7月8日	
2	有形文化財 (建造物)	日本福音ルーテル市川教会会堂	1棟	市川4丁目288-14	宗教法人 日本福音ルーテル教会	平成20年10月23日	
3	有形文化財 (建造物)	加藤家住宅主屋 加藤家住宅煉瓦塀	1棟 1基	本行徳6-1	個人所有	平成22年4月28日	
4	有形文化財 (建造物)	旧浅子神輿店店舗兼主屋	1棟	本行徳37-2	市川市	平成22年9月10日	
5	有形文化財 (建造物)	昭和学院創立記念館	1棟	東菅野2丁目1470-1ほか	学校法人 昭和学院	平成23年1月26日	
6	有形文化財 (建造物)	中村家住宅主屋 中村家住宅離れ 中村家住宅煉瓦蔵 中村家住宅土蔵 中村家住宅北蔵及び事務所 中村家住宅倉庫 中村家住宅稲荷社 中村家住宅防空壕 中村家住宅門及び石塀	1棟 1棟 1棟 1棟 1棟 1棟 1棟 1基 1基	鬼越2丁目200-1ほか 鬼越2丁目200-2 鬼越2丁目200-1 鬼越2丁目200-2 鬼越2丁目200-1 鬼越2丁目200-2 鬼越2丁目200-3 鬼越2丁目200-3 鬼越2丁目200-1	個人所有	平成26年10月7日	

IV 各種審議会等委員

○諮問機関等

- 1 市川市奨学生選考委員会委員
- 2 市川市幼児教育振興審議会委員
- 3 市川市立小中学校通学区審議会委員
- 4 市川市社会教育委員
- 5 市川市少年センター運営協議会委員
- 6 市川市公民館運営審議会委員
- 7 市川市文化財保護審議会委員
- 8 市川市教育支援委員会委員
- 9 市川市博物館協議会委員
- 10 市川市教育振興審議会委員

○各種団体等

- 1 家庭教育指導員
- 2 市川市青少年相談員
- 3 市川市少年補導員

○諮問機関等

1 市川市奨学生選考委員会委員

氏名	区分	役職名
奥野木 正彦	1号委員	不二女子高等学校校長
浅野 修一	2号委員	千葉県立市川南高等学校校長
神林 裕子	3号委員	市川市立南行徳中学校校長
村岡 秀明	4号委員	市川市PTA連絡協議会顧問
小黒 孝子	5号委員	市川市民生委員児童委員協議会会計
橋本 雅子	〃	市川市民生委員児童委員協議会(主任児童委員)
吉田 昭枝	6号委員	元市川市人権擁護委員
伊藤 恵津子	〃	元市川市立大洲中学校校長

任期：平成29年11月30日(5号委員を除く)

平成28年 2月 5日(5号委員のみ)

2 市川市幼児教育振興審議会委員

氏名	区分	役職名
高尾 公矢	1号委員	聖徳大学教授 心理・福祉学部長
鈴木 みゆき	〃	和洋女子大学教授
中村 よしお	〃	市川市議会議員
吉田 英生	〃	一般社団法人市川市医師会理事
緑谷 一樹	2号委員	市川市私立幼稚園協会会長
増田 実菜	〃	市川市私立幼稚園PTA連絡協議会理事
大塚 光子	〃	市川市立幼稚園園長
余瀬 佐和美	〃	市川市立幼稚園保護者
生田 やよい	3号委員	私立保育園園長
北原 友美子	〃	私立保育園保護者
羽原 智春	〃	市川市立保育園園長
松本 浩和	〃	市川市立保育園保護者
末廣 治彦	4号委員	市川市立小学校校長

任期：平成29年7月6日

3 市川市立小中学校通学区区域審議会委員

氏名	区分	役職名
桜井 雅人	1号委員	市川市議会議員
久保川 隆志	〃	市川市議会議員
中嶋 貞行	2号委員	市川少年文化推進会議 副会長
立川 和子	〃	市川市民生委員児童委員協議会 副会長
立原 充彦	〃	市川市PTA連絡協議会 会長
緒方 紀子	〃	市川市子ども会育成会連絡協議会 副会長
江間 實	〃	市川市自治会連合協議会 理事
堀 勝則	〃	市川市青少年相談員連絡協議会 副会長
高鍋 誠太郎	3号委員	市川市立第二中学校 校長
赤石 欣弥	〃	市川市立菅野小学校 校長
森田 敏裕	4号委員	街づくり部都市計画課 課長
中野 政夫	〃	道路交通部 次長

任期：平成29年7月3日

4 市川市社会教育委員

氏名	区分	団体等
横田 恒幸	1号委員	市川市内私立学校関係者
本城 学	〃	千葉県立高等学校長協会市川地区関係者
渡邊 晴美	〃	市川市立小中特別支援学校関係者
緒方 紀子	2号委員	市川市子ども会育成会連絡協議会関係者
天野 敏男	〃	NPO法人市川市ボランティア協会関係者
清水 輝和	〃	市川市体育協会関係者
立原 充彦	〃	市川市PTA連絡協議会関係者
原 由美	3号委員	家庭教育の向上に資する活動を行う者
寺内 理恵子	〃	家庭教育の向上に資する活動を行う者
石原 みさ子	4号委員	市議会環境文教委員長
滝沢 直樹	〃	市川市医師会関係者
成田 久江	〃	学識経験者
千坂 行雄	〃	学識経験者
長澤 成次	〃	学識経験者
野澤 順治	〃	学識経験者

任期：平成28年9月30日

5 市川市少年センター運営協議会委員

氏名	区分	役職名
亀井 正則	1号委員	市川市立小・中・特別支援学校長会(市川市立第五中学校長)
竹田 良男	〃	市川市立小・中・特別支援学校長会(市川市立大町小学校長)
本城 学	〃	市川・浦安地区高等学校警察連絡協議会(千葉県立国府台高等学校長)
中島 晴恵	2号委員	千葉県市川児童相談所児童福祉司
戸村 孝	〃	市川市民生委員児童委員協議会会長
齋藤 孝之	3号委員	千葉県市川警察署生活安全課長
齊藤 勝	〃	千葉県行徳警察署生活安全課長
岸 良範	4号委員	茨城大学大学院教育学研究科教授
飯田 勝子	5号委員	市川浦安地区保護司会会計
稲垣 カツ	〃	市川市自治会連合協議会副会長
五味 典有	〃	日本毛織株式会社 市川コルトンプラザ事業課営業販促チーフ
富田 勇人	〃	市川市PTA連絡協議会副会長
山中 右次	〃	市川市青少年相談員連絡協議会監事
高石 治一郎	〃	市川商工会議所議員
三部 ミヨ子	〃	市川市少年補導員連絡協議会会長

任期：平成29年7月16日

6 市川市公民館運営審議会委員

氏名	区分	役職名
早川 清	1号委員	市川市立小・中・特別支援学校長会連絡協議会 (市川市立百合台小学校校長)
安川 あい子	〃	市川市私立幼稚園協会理事
川添 茂	〃	市川市教育委員会初任者指導教員
湯淺 国匡	2号委員	市川市PTA連絡協議会副会長
井上 孝枝	〃	市川女性の集い連絡会広報委員長
伊与久 剛史	〃	NPO法人寺子屋副理事長
遠藤 淳子	3号委員	市川市子ども会育成会連絡協議会副会長
木村 太郎	〃	市川市青少年相談員連絡協議会副会長
小山 勝	4号委員	コミュニティクラブ推進会議南行徳中ブロックコミュニティクラブ代表
福井 茂子	〃	市川少年文化推進会議事務局長

任期：平成29年6月5日

7 市川市文化財保護審議会委員

氏名	役職名	選出分野
日塔 和彦	筑波大学非常勤講師	建築史
田中 愛子	行徳郷土文化懇話会会長	郷土史
田中 俊子	元日本女子大学大学院客員教授	服飾史
唐沢 孝一	特定非営利活動法人自然観察大学学長	鳥類生態学
萩原 法子	了徳寺大学非常勤講師	日本民俗学
熊野 正也	特定非営利活動法人博物館活動支援センター理事長	考古学
澤登 寛聡	法政大学文学部教授	日本近世史
黒川 廣子	東京芸術大学大学美術館准教授	近代美術工芸史
熊谷 宏尚	千葉県生物多様性センター副技監	植物生態学

任期：平成28年6月6日

8 市川市教育支援委員会委員

氏名	区分	役職名
吉岡 雅之	1号委員	心療内科医
小谷 貢一	〃	整形外科医
大野 京子	〃	小児科医
津山 弥生	〃	眼科医
岩川 善英	〃	小児科・児童精神科医
佐多 由紀	〃	耳鼻咽喉科医
辻 久美子	2号委員	市川児童相談所診断指導課長
杉本 和隆	〃	市川市立福栄小学校長
富田 利明	〃	市川市立大和田小学校教頭
高梨 治夫	3号委員	市川市立須和田の丘支援学校長
佐藤 小百合	〃	市川市立真間小学校教諭
國井 光男	〃	県立船橋特別支援学校長
牧野 英司	〃	県立市川特別支援学校教頭

任期：平成28年5月6日

9 市川市博物館協議会委員

氏名	区分	役職名
森 久人	1号委員	千葉商科大学附属高等学校長
黒須 敏夫	〃	市川市稲荷木小学校長
高橋 道夫	2号委員	家庭教育学級指導員(元大町小学校長)
富田 勇人	〃	市川市PTA連絡協議会 副会長
村松 勝美	〃	市川博物館友の会長
岩淵 令治	3号委員	学習院女子大学教授 近世史
松戸 種雄	〃	堀之内自治会長 民俗資料
白井 久美子	〃	千葉県房総のむら主任上席研究員 教育行政
片岡 玲子	〃	葛南教育事務所 理科指導主事
越川 重治	〃	県立船橋東高等学校教諭 生物・環境
酒井 清治	〃	駒澤大学教授 考古学・博物館学
菅根 幸裕	〃	千葉経済大学教授 民俗学・博物館学
鷹野 光行	〃	お茶の水女子大学大名誉教授 考古学・博物館学
山口 敏子	〃	(前)昭学院幼稚園長 教育行政
山崎 京美	〃	いわき短期大学教授 考古学

任期:平成29年7月4日

10 市川市教育振興審議会委員

氏名	区分	役職名
天笠 茂	1号委員	千葉大学教授
田中 孝一	〃	川村学園女子大学教授
渡邊 智子	〃	千葉県立保健医療大学教授
前田 泰弘	〃	和洋女子大学准教授
大嶋 章一	2号委員	市川市立第八中学校校長
齊藤 雅代	〃	市川市立大洲幼稚園園長
晒科 里美	3号委員	市川市立須和田の丘支援学校保護者
湯浅 国匡	〃	市川市立若宮小学校保護者
角谷 好枝	4号委員	コミュニティクラブ推進会議委員
中村 ふじ江	〃	前市川市教育委員会委員

任期:平成30年1月6日

○各種団体等

1. 家庭教育指導員 (平成27年4月1日現在)

No.	氏名	勤務場所	初委嘱日
1	八重樫 茂	社会教育課	H25. 4. 1
2	高橋 道夫		H25. 4. 1

2. 市川市青少年相談員 (平成27年10月1日現在)

No.	氏名	No.	氏名	No.	氏名	No.	氏名
1	石井 大吾	45	宮崎 将	89	富田 憲一	133	小高 一浩
2	坂下 茂樹	46	石塚 一典	90	細川 正亘	134	熊倉 康介
3	佐藤 美江	47	三澤 孝至	91	吉本 哲	135	的場 嘉雄
4	水木 睦子	48	菊池 啓明	92	伊藤 直之	136	大川 雅史
5	堀江 広美	49	二村 和広	93	皆川 嘉彦	137	上野 宣子
6	小川 修	50	三澤 聖	94	宮城 孝典	138	和田 卓靖
7	大久保 誠	51	下村 恭	95	本多 浩章	139	尾辻 浩
8	峠 裕之	52	松丸 浩実	96	松井 新	140	藤田 真之
9	山崎 真奈美	53	菊岡 厚史	97	中村 康隆	141	冬梅 誠
10	石川 潤	54	大場 美幸	98	佐野 大造	142	山影 聡香
11	小倉 進	55	金城 直子	99	石原 清孝	143	関口 利行
12	木村 洋介	56	飛田野 麻弓	100	大久保 高幸	144	大湾 哲
13	尾崎 えみ子	57	杉山 智章	101	竹下 惣一	145	糸井 正王
14	田中 教之	58	甲斐 雄二	102	石井 信広	146	田中 幸太郎
15	伊沢 充	59	橋本 和子	103	藤田 歩	147	轟 直美
16	上原 美保子	60	谷内 よしみ	104	堀田 真理子	148	矢田 桂一
17	河野 宏忠	61	木村 太郎	105	片平 和恵	149	矢田 ひろみ
18	杉本 勇次	62	吉田 拓巨	106	加藤 由香	150	北野 祥一
19	松塚 尚大	63	帖地 妙子	107	大山 大輔	151	東條 加津子
20	松永 鉄兵	64	高倉 里美	108	柏木 雄	152	涌井 寿久
21	村上 勝正	65	有村 知哲	109	柏木 梓	153	伊藤 諒
22	山崎 玲子	66	山中 右次	110	小畑 綾乃	154	古澤 慎介
23	宮原 啓子	67	藤澤 晶	111	梁井 裕美	155	望月 真奈美
24	鶴飼 喜周野	68	三谷 昌秀	112	上田 三葉	156	小高 一馬
25	内川 雅永	69	富田 嘉敬	113	岩崎 裕司	157	幸田 淑美
26	坂本 龍光	70	栗原 隆一	114	城島 愛	158	饗場 則人
27	薄衣 裕子	71	齋藤 直人	115	栗原 崇通	159	神山 万里子
28	永田 理江	72	吉田 剛	116	柏木 壮	160	水口 江利子
29	上總 美智子	73	水谷 彰孝	117	手塚 武彦	161	田代 友美
30	岡田 晴雄	74	成田 和彦	118	角田 勇司	162	小沼 豊
31	白井 英勝	75	松丸 正典	119	石川 知江里	163	谷口 顕義
32	大橋 亜希	76	大成 敦	120	秋山 弥広	164	佐藤 正典
33	浅田 景子	77	佐田 篤史	121	安東 賢一	165	三田村 恭子
34	工藤 有希	78	川崎 恵一郎	122	黒田 和宏	166	田中 靖志
35	伊原 こずえ	79	川崎 小百合	123	安野 晃造	167	成澤 智司
36	宮坂 真代	80	谷 勝憲	124	川上 義昭	168	奥林 将悟
37	渡邊 和佳子	81	石井 建	125	加藤 和美	169	水町 哲
38	諸橋 孝幸	82	神尾 晴彦	126	丹藤 秀士	170	藤村 美栄子
39	増田 好秀	83	石井 誠	127	堀 勝則	171	下飯屋 隆博
40	吉川 翔平	84	岡本 行弘	128	福田 秀人	172	石川 裕一
41	栗田 新平	85	木原 正彦	129	宮田 潤一	173	小室 忍
42	直井 幸太郎	86	遠藤 由典	130	齋藤 直美	174	木原 倫夫
43	池本 和子	87	中野 貴史	131	大嶋 陽子	175	池田 紀子
44	塚越 崇徳	88	時田 耕一	132	山内 嘉彦		

3. 市川市少年補導員

(平成27年10月1日現在)

No.	氏名	No.	氏名	No.	氏名	No.	氏名
1	三部 ミヨ子	45	中山 みゆき	89	佐川 栄子	133	竹本 雅子
2	堀川 睦子	46	市川 きみ子	90	永井 香陽子	134	平柳 聖子
3	形屋 栄江子	47	金子 明美	91	田中 京子	135	坂本 美和子
4	福田 とも枝	48	平林 敏夫	92	藤田 映子	136	荒井 友美
5	遠藤 淳子	49	森脇 郁子	93	佐藤 智子	137	田仲 謙
6	松尾 孝子	50	金 一恵	94	神野 和江	138	三橋 紀子
7	小林 俊之	51	飯沼 美子	95	山本 藍	139	長濱 真生
8	栗尾 秀也	52	貞重 よしえ	96	佐々木 みゆき	140	岡村 恵
9	平岡 綾子	53	佐久間 きみ子	97	菊地 絵里	141	寺田 快枝
10	大木 まち子	54	成田 珠奈	98	渡邊 麻美	142	忍足 るみ子
11	野口 成美	55	浦井 和子	99	上田 昭和	143	飯塚 正弘
12	大塚 典子	56	山岸 久美恵	100	関 由子	144	宇野澤 智香
13	本多 小百合	57	土井 雅代	101	山田 佳子	145	植松 仁美
14	田中 啓之	58	中山 貴邦	102	岡野谷 健仁	146	松丸 和敬
15	藤沼 玲子	59	羽田 洋子	103	杉澤 秀一	147	上原 佐知子
16	橋本 泉	60	浦住 美和	104	杉田 朋子	148	大木 視寿々
17	塚越 てい子	61	関口 みやこ	105	矢野 善美	149	宗像 謙一
18	中嶋 史江	62	米川 貴子	106	島村 みゆき	150	井邊 知子
19	太田 聡子	63	大滝 志津子	107	石井 三和子	151	吉田 智子
20	藤代 三千代	64	小野 美知子	108	沼田 紀子	152	橋本 竜一
21	白熊 和子	65	小林 早苗	109	藤 弥生	153	福岡 稔晃
22	堀口 晶子	66	吉野 けさ子	110	下村 恭	154	杉田 加奈子
23	松田 美鈴	67	鈴木 和子	111	蓮見 操	155	五十嵐 順子
24	内山 真由美	68	濱田 仁美	112	斉藤 望	156	小柴 尚美
25	田中 直子	69	渋谷 里美	113	前田 たか子	157	高本 昌代
26	竹内 喜代美	70	早田 啓子	114	宮本 好美	158	山田 祐子
27	松崎 功一	71	宍戸 有美	115	大高 美和	159	浅田 暢江
28	田中 英津子	72	磯積 恭子	116	竹澤 隆	160	穂積 みゆり
29	高島 みち子	73	古澤 紀子	117	渡邊 勝則		
30	笛吹 淳子	74	吉村 和明	118	池田 祐介		
31	小林 みゆき	75	坂本 牧子	119	長尾 美弥子		
32	佐藤 礼子	76	湯浅 国匡	120	鈴木 睦美		
33	高梨 久美子	77	小熊 浩子	121	鈴木 朋成		
34	本江 睦子	78	竹下 詠子	122	坂下 康幸		
35	伊藤 恵美子	79	西江 朋美	123	油谷 圭子		
36	杉本 勇次	80	鈴木 智恵子	124	矢嶋 優子		
37	阿部 順子	81	坂田 幸康	125	坂 智恵子		
38	沢村 珠美	82	立尾 りり子	126	水内 亜子		
39	谷口 美雪	83	秩父 ますみ	127	山本 美穂		
40	高野 昇二	84	森山 尚子	128	植村 英子		
41	渡辺 良子	85	佐藤 真知子	129	松本 陽子		
42	中村 房代	86	上山 美恵子	130	中川 悦子		
43	水口 隆史	87	永山 享子	131	伊藤 恵美		
44	斉藤 春枝	88	滝田 憲子	132	松下 理恵		

平成 27 年度版 市川市の教育

発行日 平成 27 年 12 月
編集発行 市川市教育委員会 生涯学習部 教育総務課
住 所 〒272-0023
千葉県市川市南八幡 1 丁目 17 番 15 号
電 話 047-334-1111 (代表) 047-383-9224 (直通)
U R L <http://www.city.ichikawa.lg.jp>

